

令和5年度第2回 常議員会資料

日 時 令和5年5月9日(火) 午後1時30分

場 所 黒石商工会議所 会頭室

黒石商工会議所

令和5年度スローガン

『 ともに語らい

さあ前進 』

次 第

1. 開 会

2. 会 頭 挨 拶

3. 議 案 審 議

議案第1号 令和4年度事業報告承認について

議案第2号 令和4年度各会計収支決算書承認について

4. 閉 会

令和 4 年度
事業報告書
収支決算書



自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

黒石商工会議所

目 次

・事業報告書

I 総括的概要	1
II 事項別状況	4
1. 定款及び規約等	
(1) 定 款	4
(2) 規約（規則、規定）	4
2. 組 織	
(1) 会 員	18
(2) 特 別 会 員	20
(3) 特定商工業者	20
(4) 役 員	20
(5) 議 員	21
(6) 部 会 長 等	24
(7) 委 員 長 等	24
(8) 女性会会長等	25
(9) 青年部会長等	25
(10) 顧問・参与等	26
3. 選挙及び選任	
(1) 議 員	27
(2) 役 員	29
4. 事 務 局	
(1) 事務局の機構	30
(2) 事務局職員	32
5. 庶 務	
(1) 文 書	33
(2) 表彰・受章(賞)	33
(3) 慶 弔	34
6. 会 議	
(1) 議 員 総 会	35
(2) 正副会頭会議	36
(3) 常 議 員 会	38
(4) 意 見 交 換 会	40
(5) 監 査 会	40
(6) 合 同 会 議	41
(7) 部 会	41
(8) 委 員 会	43
(9) 女 性 会	44

(10) 青 年 部	45
(11) その他の会議等	47
7. 事 業	
(1) 各種事業活動	48
(2) 意 見 活 動	55
(3) 調 査 研 究	57
(4) 広 報	57
(5) 証明・鑑定・検査	57
(6) 信 用 調 査	57
(7) 各 種 行 事	57
(8) 技術技能の普及検定	61
(9) 取引紹介(照会を含む)あっせん	62
(10) 取引紛争のあっせん・調停・仲裁 (クレーム相談も含む)	62
(11) 経営改善普及事業	63
(12) 企 業 診 断	66
(13) 受 託 事 業	67
8. 登 録	
(1) 法 定 台 帳	71
(2) 法定台帳の運用	71
9. 会館・事務所等	
(1) 土 地	72
(2) 建 物	72
(3) 施 設	72
10. 関係団体の加入及び連携	
(1) 日本商工会議所	73
(2) 東北六県商工会議所連合会	73
(3) 青森県商工会議所連合会	74
(4) 東北経済連合会	74
(5) その他の諸会議等	75
11. 関係団体との関係	
(1) 提 携 団 体	78
(2) 商工会議所又は会頭・副会頭が委嘱及び選任されている団体	79

・収支決算報告書

収支決算書

・監査報告書

監査意見書

令和4年度
事業報告書

I. 総 括 的 概 要

令和4年は、8月の津軽地方を中心とした大雨により河川の氾濫や土砂崩れ、りんご園地等への冠水など甚大な被害が見られました。当会議所の会員事業所においても土砂崩れによる事務所への土砂の流入など事業継続に影響を及ぼす被害に見舞われました。

また、2月のロシアによるウクライナへの侵攻からエネルギー価格が高騰し、加えて物流の停滞や急速な円安に伴う輸入コストの増加があらゆる原材料の価格高騰に繋がり、事業にかかる光熱費や仕入原価の高騰は事業経営にとって重く厳しい経営環境を強いられる1年となりました。

政府は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の減少を受け社会経済活動を回す政策方針に転換し、行動制限の解除や全国旅行支援事業が再開となりました。県内各地でまつりやイベントが規模を縮小し開催され、観光客も各地を訪れるようになるなど賑い創出が見られました。当市においてもさくらまつりやねぶたまつりが実施され、黒石よされ流し踊りも流し踊りコースを縮小しながらも3年ぶりの開催に漕ぎ着け盛り上がりを見ることができました。今後も会員事業者の支援と共に文化伝統の継承に参画して参ります。

厳しい地域経済環境の中、当会議所では様々な事業支援に取組みました。日本商工会議所の委託を受け、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける企業支援として、インボイス制度への対応や事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金等各種申請支援など経営相談に対応する「専門家による個別相談窓口」を開設し、事業者の経営支援を図りました。また、事業者の販路拡大を目指しサービス券付き市内飲食店パンフレット作成事業を実施したほか、本年10月からのインボイス制度導入に係るセミナーや個別相談の実施や日本政策公庫と連携した「一日公庫」の実施など会員事業所に寄り添った事業に取組みました。今後も事業者の事業経営にかかる各種相談等に積極的に取組んで参ります。

また、商工会議所としての意見具申のため、黒石市に対し「人口減少対策支援策と子育て世代への支援策充実」を最重点要望事項に掲げ、重点要望事項に福祉や商工業振興、都市環境、観光振興など9項目を要望いたしました。引き続き地域経済社会の代弁者として政策提言・要望活動等を積極的に展開して参ります。

当所では、11月に議員改選が行われ、新岡会頭・糸田副会頭の続投と新役員が承認されました。新体制の令和5年度は、“ともに語らい さあ前進”のスローガンのもと、会員事業所の持続的経営の実現に向け黒石市や関係機関と連携し、会員事業者のための伴走型支援に積極的に取組んで参ります。

令和4年度の7項目における重点事業目標を以下にご説明したい。

1. 中心市街地活性化協議会の機能強化を図り、中心市街地活性化基本計画の実現に繋げる。

会議所内に設置している黒石市中心市街地活性化協議会を開催し、黒石市中心市街地活性化基本計画の変更点や進捗状況、事業計画等について、黒石市より説明を受け情報共有を図った。また、役員改選では、新岡会頭の会長再任が承認された。

今後も会議所内に設置の中心市街地活性化特別委員会や中心市街地活性化協議会において、基本計画の進捗状況等の確認・意見交換を重ね、基本計画の実現に繋げていく。

2. 事業承継の円滑化を図るため、支援力の向上と関係機関との連携強化に取り組む。

事業承継に係る実態調査のため会員事業所約403社に対し事業承継診断シートを送付し、33社から回答があった。回答された事業承継診断シートを基に当所職員と青森県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し7事業所を訪問、事業承継計画作成支援を図った。

また、事業承継個別相談会（2日間）及び一日公庫を開催し事業承継に係る支援を図った。今後も定期的な訪問により進捗状況等を共有することとしている。

3. 経営発達支援計画の実施により、持続的経営を行うためのビジネスモデル再構築を全面的にサポートする。

経営発達支援計画に基づき、会員事業所の持続的経営に向けた小規模事業者持続化補助金対応経営計画作成支援オンラインセミナー・オンライン個別相談会を実施し、ウィズコロナを踏まえた経営計画作成等事業者支援を図った。

また、専門家による相談窓口の設置と事業所訪問による伴走型事業者支援を図った。

4. 農商工関係機関との連携及び各種団体との連絡協調を図る。

会員事業者の商品やサービスを域外への販路開拓支援として和歌山県橋本商工会議所と連携し、黒石市の収穫祭（りんご市）・橋本市の秋の収穫祭に出店した。

また、スポカルイン黒石を会場とした「黒石りんごまつり」の屋外会場において、輝くりんご市の会と連携し「りんご市」を開催した。

5. インボイス制度導入に伴う実務対策事業に実施とキャッシュレス決済の普及推進。

令和5年10月のインボイス制度導入は事業活動に直結する制度であり、事業訪問時の周知やセミナー、個別相談会を開催する他、専門家による経営相談窓口を設置し、インボイス制度に係る相談対応を図った。

6. 従業員の健康を経営資源として捉え、生産性向上・企業イメージ向上に繋げるための健康経営の普及促進を図る。

青森県の「健康経営認定制度」認定の第一歩となる「健康宣言」登録を会員事業所へ周知を図ってきたが、3月末時点で前年比10件増の37事業所（県全体では1,962事業所）にとどまった。従業員の健康を経営資源として捉え、従業員の定着や生産性・企業イメージ向上に繋げるため健康経営の普及活動に努めていく。

今後も青森県と健康経営の包括提携協定しているアクサ生命保険㈱と連携し、会員事業所に対し健康経営の普及促進活動を展開していく。

7. 商工会議所女性会・青年部への支援と、会員相互の親睦と連携を図る。

女性会並びに青年部は、黒石りんごまつり、黒石よされ、マッコ市等の各種イベントや会議所が実施する事業支援など協力体制にあります。今後も会議所と一体となった連携体制の強化に努めていく。

Ⅱ. 事 項 別 状 況

1. 定款及び規約等

(1) 定 款

当該年度において、定款の変更は行われなかった。

(2) 規 約（規則、規定）

- ① 令和4年5月9日開催の常議員会において、育児・介護休業等に関する規則の一部を次の通り改正した。

育児休業、子の看護休暇、育児のための所定外労働の制限、育児のための時間外労働及び深夜業の制限並びに育児短時間勤務等に関する規則

改 正 前	改 正 後
<p>(育児休業の対象者)</p> <p>第2条 育児のために休業することを希望する職員であつて、1歳に満たない子と同居し、養育する者は、この規則に定めるところにより育児休業をすることができる。ただし、有期契約職員にあつては、申出時点において、次のいずれにも該当する者に限り育児休業をすることができる。</p> <p>(1) 入所1年以上であること。</p> <p>(2) 子が1歳6ヶ月に達する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでないこと。</p> <p>2 1にかかわらず、次のいずれかに該当する職員は育児休業をすることができない。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 会議所と職員代表との間で締結された育児休業等に関する労使協定（以下「育児休業協定」という。）により育児休業の対象から除外することとされた次の職員</p> <p>① 省略</p> <p>② 申出の日から1年以内に雇用関係が終了することが明らかな職員</p> <p>③ 省略</p> <p>3 配偶者が職員と同じ日から又は職員より先に育児休業をしている場合、職員は、子が1歳2ヶ月に達するまでの間で、誕生日以後の産前産後休業期間と育児休業期間との合計が1年を限度として、育児休業をすることができる。</p> <p>4 次のいずれにも該当する職員は、子が1歳6ヶ月に達するまでの間で必要な日数について</p>	<p>(育児休業の対象者)</p> <p>第2条 育児のために休業することを希望する職員であつて、1歳に満たない子と同居し、養育する者は、この規則に定めるところにより育児休業をすることができる。ただし、有期契約職員にあつては、申出時点において、<u>子が1歳6ヶ月（6又は7の申出にあつては2歳）に達する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでない者に限り育児休業をすることができる。</u></p> <p>2 <u>1、3から7</u>にかかわらず、次のいずれかに該当する職員は育児休業をすることができない。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 会議所と職員代表との間で締結された育児休業等に関する労使協定（以下「育児休業協定」という。）により育児休業の対象から除外することとされた次の職員</p> <p>① 省略</p> <p>② 申出の日から1年（<u>4から7の申出にあつては6ヶ月</u>）以内に雇用関係が終了することが明らかな職員</p> <p>③ 省略</p> <p>3 配偶者が職員と同じ日から又は職員より先に育児休業<u>又は出生時育児休業</u>をしている場合、職員は、子が1歳2ヶ月に達するまでの間で、誕生日以後の産前産後休業期間、<u>育児休業期間及び出生時育児休業期間</u>との合計が1年を限度として、育児休業をすることができる。</p> <p>4 次のいずれにも該当する職員は、子が1歳6ヶ月に達するまでの間で必要な日数について</p>

<p>て育児休業をすることができる。なお、育児休業を開始しようとする日は、原則として子の1歳の誕生日に限るものとする。</p> <p>(1) 省略 (2) 省略</p>	<p>て育児休業をすることができる。なお、育児休業を開始しようとする日は、原則として子の1歳の誕生日に限るものとする。<u>ただし、配偶者が育児・介護休業法第5条第3項（本項）に基づく休業を子の1歳の誕生日から開始する場合は、配偶者の育児休業終了予定日の翌日以前の日を開始日とすることができる。</u></p> <p>(1) 省略 (2) 省略 (3) <u>子の1歳の誕生日以降に本項の休業をしたことがないこと</u></p> <p>5 <u>4にかかわらず、産前産後休業、出生時育児休業、介護休業又は新たな育児休業が始まったことにより1に基づく休業（配偶者の死亡等特別な事情による3回目以降の休業を含む）が終了し、終了事由である産前・産後休業等に係る子又は介護休業に係る対象家族が死亡等した職員は、子が1歳6ヶ月に達するまでの間で必要な日数について育児休業をすることができる。</u></p> <p>6 <u>次のいずれにも該当する職員は、子が2歳に達するまでの間で必要な日数について育児休業をすることができる。なお、育児休業を開始しようとする日は、原則として子の1歳6ヶ月の誕生日応当日に限るものとする。ただし、配偶者が育児・介護休業法第5条第4項（本項）に基づく休業を子の1歳6ヶ月の誕生日応当日から開始する場合は、配偶者の育児休業終了予定日の翌日以前の日を開始日とすることができる。</u></p> <p>(1) <u>職員又は配偶者が子の1歳6ヶ月の誕生日応当日の前日に育児休業をしていること</u></p> <p>(2) <u>次のいずれかの事情があること</u></p> <p>① <u>保育所等に入所を希望しているが、入所できない場合</u></p> <p>② <u>職員の配偶者であって育児休業の対象となる子の親であり、1歳6ヶ月以降育児に当たる予定であった者が、死亡、負傷、疾病等の事情により子を養育することが困難になった場合</u></p> <p>(3) <u>子の1歳6ヶ月の誕生日応当日以降に本項の休業をしたことがないこと</u></p> <p>7 <u>6にかかわらず、産前産後休業、出生時育児休業又は新たな育児休業が始まったことにより1、4又は5に基づく育児休業（再度の休業を含む）が終了又は介護休業が始まったことにより4又は5に基づく育児休業（再度の休業を含む）が終了し、終了事由である産前産後休業等に係る子又は介護休業に係る対象家族が死亡等した職員は、子が2歳に達するまでの間で必要な日数について育児休業をすることができる。</u></p>
--	--

<p>(育児休業の申出の手続き等)</p> <p>第3条 育児休業をすることを希望する者は、原則として育児休業を開始しようとする日（以下「育児休業開始予定日」という。）の1ヶ月前（第2条第4項に基づく1歳を超える休業の場合は、2週間前）までに、別に定める様式の育児休業申出書を会議所に提出することにより申し出るものとする。なお、育児休業中の有期契約職員が労働契約を更新するに当たり、引き続き休業を希望する場合には、更新された労働契約期間の初日を育児休業開始予定日として、育児休業申出書により再度の申出を行うものとする。</p> <p>2 申出は、特別の事情がない限り、一子につき1回限りとし、双子以上の場合もこれを一子とみなす。ただし、産後休業をしていない職員が、子の誕生日又は出産予定日のいずれか遅い方から8週間以内にした最初の育児休業については、1回の申出にカウントしない。</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p>	<p>(育児休業の申出の手続き等)</p> <p>第3条 育児休業をすることを希望する者は、原則として育児休業を開始しようとする日（以下「育児休業開始予定日」という。）の1ヶ月前（第2条第4項から第7項に基づく1歳及び1歳6ヶ月を超える休業の場合は、2週間前）までに、別に定める様式の育児休業申出書を会議所に提出することにより申し出るものとする。なお、育児休業中の有期契約職員が労働契約を更新するに当たり、引き続き休業を希望する場合には、更新された労働契約期間の初日を育児休業開始予定日として、育児休業申出書により再度の申出を行うものとする。</p> <p>2 申出は、次のいずれかに該当する場合を除き、一子につき2回までとする。</p> <p>(1) <u>第2条第1項に基づく休業をした者が1後段の申出をしようとする場合</u></p> <p>(2) <u>配偶者の死亡等特別の事情がある場合</u></p> <p>3 <u>第2条第4項又は第5項に基づく休業の申出は、次のいずれかに該当する場合を除き、一子につき1回限りとする。</u></p> <p>(1) <u>第2条第4項又は第5項に基づく休業をした者が1後段の申出をしようとする場合</u></p> <p>(2) <u>産前産後休業、出生時育児休業、介護休業又は新たな育児休業が始まったことにより第2条第4項又は第5項に基づく育児休業が終了したが、終了事由である産前産後休業等に係る子又は介護休業に係る対象家族が死亡等した場合</u></p> <p>4 <u>第2条第6項又は第7項に基づく休業の申出は、次のいずれかに該当する場合を除き、一子につき1回限りとする。</u></p> <p>(1) <u>第2条第6項又は第7項に基づく休業をした者が1後段の申出をしようとする場合</u></p> <p>(2) <u>産前産後休業、出生時育児休業、介護休業又は新たな育児休業が始まったことにより第2条第6項又は第7項に基づく育児休業が終了したが、終了事由である産前産後休業等に係る子又は介護休業に係る対象家族が死亡等した場合</u></p> <p>5 省略</p> <p>6 省略</p> <p>7 省略</p>
<p>(育児休業の申出の撤回等)</p> <p>第4条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 育児休業の申出を撤回した者は、特別の事情がない限り同一の子については再度申出をすることができない。ただし、第2条第1項に基づく休業の申出を撤回した者であって</p>	<p>(育児休業の申出の撤回等)</p> <p>第4条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 <u>第2条第1項に基づく休業の申出の撤回は、撤回1回につき1回休業したものとみなす。第2条第4項又は第5項及び第6項又は第7項に基づく休業の申出を撤回した者は、</u></p>

<p>も、同条第4項に基づく休業の申出をすることができる。</p> <p>4 省略</p>	<p><u>特別の事情がない限り同一の子については再度申出をすることができない。ただし、第2条第1項に基づく休業の申出を撤回した者であっても、同条第4項又は第5項及び第6項又は第7項に基づく休業の申出をすることができ、第2条第4項又は第5項に基づく休業の申出を撤回した者であっても、同条第6項又は第7項に基づく休業の申出をすることができる。</u></p> <p>4 省略</p>
<p>(育児休業の期間等)</p> <p>第5条 育児休業の期間は、原則として、子が1歳に達するまで(第2条第3項及び第4項に基づく休業の場合は、それぞれ定められた時期まで)を限度として育児休業申出書に記載された期間とする。</p> <p>2 省略</p> <p>3 職員は、別に定める様式の育児休業期間変更申出書により会議所に、育児休業開始予定日の1週間前までに申し出ることにより、育児休業開始予定日の繰上げ変更を、又、育児休業を終了しようとする日(以下「育児休業終了予定日」という。)の1ヶ月前(第2条第4項に基づく休業をしている場合は、2週間前)までに申し出ることにより、育児休業終了予定日の繰下げ変更を行うことができる。育児休業開始予定日の繰上げ変更及び育児休業終了予定日の繰下げ変更とも、原則として1回に限り行うことができるが、第2条第4項に基づく休業の場合には、第2条第1項に基づく休業とは別に、子が1歳から1歳6ヶ月に達するまでの期間内で、1回、育児休業終了予定日の繰下げ変更を行うことができる。</p> <p>4 省略</p> <p>5 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、育児休業は終了するものとし、当該育児休業の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 育児休業に係る子が1歳に達した場合等</p> <p>子が1歳に達した日(第2条第3項に基づく休業の場合を除く。第2条第4項に基づく休業の場合は、子が1歳6ヶ月に達した日。)</p> <p>(3) 申出者について産前産後休業、介護休業又は新たな育児休業期間が始まった場合</p> <p>産前産後休業、介護休業又は新たな育児休業の開始日の前日</p>	<p>(育児休業の期間等)</p> <p>第5条 育児休業の期間は、原則として、子が1歳に達するまで(第2条第3項<u>から第7項</u>に基づく休業の場合は、それぞれ定められた時期まで)を限度として育児休業申出書に記載された期間とする。</p> <p>2 省略</p> <p>3 職員は、別に定める様式の育児休業期間変更申出書により会議所に、育児休業開始予定日の1週間前までに申し出ることにより、育児休業開始予定日の繰上げ変更を、又、育児休業を終了しようとする日(以下「育児休業終了予定日」という。)の1ヶ月前(第2条第4項<u>から第7項</u>に基づく休業をしている場合は、2週間前)までに申し出ることにより、育児休業終了予定日の繰下げ変更を行うことができる。育児休業開始予定日の繰上げ変更及び育児休業終了予定日の繰下げ変更とも、原則として<u>第2条第1項に基づく休業1回につき1回に限り行うことができるが、第2条第4項から第7項に基づく休業の場合には、第2条第1項に基づく休業とは別に、子が1歳から1歳6ヶ月に達するまで及び1歳6ヶ月から2歳に達するまでの期間内で、それぞれ1回、</u>育児休業終了予定日の繰下げ変更を行うことができる。</p> <p>4 省略</p> <p>5 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、育児休業は終了するものとし、当該育児休業の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 育児休業に係る子が1歳に達した場合等</p> <p>子が1歳に達した日(第2条第3項に基づく休業の場合を除く。第2条第4項<u>又は第5項</u>に基づく休業の場合は、子が1歳6ヶ月に達した日。<u>第2条第6項又は第7項に基づく休業の場合は、子が2歳に達した日。</u>)</p> <p>(3) 申出者について産前産後休業、<u>出生時育児休業、</u>介護休業又は新たな育児休業期間が始まった場合</p> <p>産前産後休業、<u>出生時育児休業、</u>介護休</p>

<p>(4) 第2条第3項に基づく休業において、出生日以後の産前産後休業期間と育児休業期間との合計が1年に達した場合 当該1年に達した日</p> <p>6 省略</p>	<p>業又は新たな育児休業の開始日の前日</p> <p>(4) 第2条第3項に基づく休業において、出生日以後の産前産後休業期間と育児休業<u>(出生時育児休業含む)</u>期間との合計が1年に達した場合 当該1年に達した日</p> <p>6 省略</p>
	<p><u>(出生時育児休業の対象者)</u></p> <p><u>第6条 育児のために休業することを希望する職員であつて、産後休業をしておらず、子の出生日又は出産予定日のいずれか遅い方から8週間以内の子と同居し、養育する者は、この規則に定めるところにより出生時育児休業をすることができる。ただし、有期契約従業員にあつては、申出時点において、子の出生日又は出産予定日のいずれか遅い方から8週間を経過する日の翌日から6ヶ月を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかでない者に限り、出生時育児休業をすることができる。</u></p> <p><u>2 1にかかわらず、次のいずれかに該当する職員は育児休業をすることができない。</u></p> <p><u>(1) 日雇職員</u></p> <p><u>(2) 会議所と職員代表との間で締結された育児休業協定により除外することとされた次の職員</u></p> <p><u>① 入所1年未満の職員</u></p> <p><u>② 申出の日から8週間以内に雇用関係が終了することが明らかな職員</u></p> <p><u>③ 1週間の所定労働日数が2日以下の職員</u></p>
	<p><u>(出生時育児休業の申出の手続等)</u></p> <p><u>第7条 出生時育児休業をすることを希望する職員は、原則として出生時育児休業を開始しようとする日（以下「出生時育児休業開始予定日」という。）の2週間前までに、別に定める様式の出生時育児休業申出書を会議所に提出するものとする。なお、出生時育児休業中の有期契約職員が労働契約を更新するに当たり、引き続き休業を希望する場合には、更新された労働契約期間の初日を出生時育児休業開始予定日として、出生時育児休業申出書により再度の申出を行うものとする。</u></p> <p><u>2 第6条第1項に基づく休業の申出は、一子につき2回まで分割できる。ただし、2回に割する場合は2回分まとめて申し出ることとし、まとめて申し出なかった場合は後の申出を拒む場合がある。</u></p> <p><u>3 会議所は、出生時育児休業申出書を受け取るに当たり、必要最小限度の各種証明書の提出を求めることがある。</u></p> <p><u>4 出生時育児休業申出書が提出されたときは、会議所は速やかに当該出生時育児休業申出書を提出した者（以下「申出者」という。）</u></p>

	<p>に対し、別に定める様式の出生時育児休業取扱通知書を交付する。</p> <p>5 申出の日後に申出に係る子が出生したときは、申出者は、出生後2週間以内に会議所に別に定める様式の出生時育児休業対象児出生届を提出しなければならない。</p>
	<p>(出生時育児休業の申出の撤回等)</p> <p>第8条 申出者は、出生時育児休業開始予定日の前日までは、別に定める様式の出生時育児休業申出撤回届を会議所に提出することにより、出生時育児休業の申出を撤回することができる。</p> <p>2 出生時育児休業申出撤回届が提出されたときは、会議所は速やかに当該出生時育児休業申出撤回届を提出した者に対し、出生時育児休業取扱通知書を交付する。</p> <p>3 第6条第1項に基づく休業の申出の撤回は、撤回1回につき1回休業したものとみなし、みなし含め2回休業した場合は同一の子について再度申出をすることができない。</p> <p>4 出生時育児休業開始予定日の前日までに、子の死亡等により申出者が休業申出に係る子を養育しないこととなった場合には、出生時育児休業の申出はされなかったものとみなす。この場合において、申出者は、原則として当該事由が発生した日に、会議所にその旨を通知しなければならない。</p>
	<p>(出生時育児休業の期間等)</p> <p>第9条 出生時育児休業の期間は、原則として、子の出生後8週間以内のうち4週間（28日）を限度として出生時育児休業申出書に記載された期間とする。</p> <p>2 1にかかわらず、会議所は、育児・介護休業法の定めるところにより出生時育児休業開始予定日の指定を行うことができる。</p> <p>3 職員は、別に定める様式の出生時育児休業期間変更申出書により会議所に、出生時育児休業開始予定日の1週間前までに申し出ることにより、出生時育児休業開始予定日の繰上げ変更を休業1回につき1回、また、出生時育児休業を終了しようとする日（以下「出生時育児休業終了予定日」という。）の2週間前までに申し出ることにより、出生時育児休業終了予定日の繰り下げ変更を休業1回につき1回行うことができる。</p> <p>4 出生時育児休業期間変更申出書が提出されたときは、会議所は速やかに当該出生時育児休業期間変更申出書を提出した者に対し、出生時育児休業取扱通知書を交付する。</p> <p>5 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、出生時育児休業は終了するものとし、当該出生時育児休業の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 子の死亡等出生時育児休業に係る子を</p>

	<p><u>養育しないこととなった場合</u> <u>当該事由が発生した日（なお、この場合において本人が出勤する日は、事由発生の日から2週間以内であって、会議所と本人話し合いの上決定した日とする。）</u></p> <p>(2) <u>子の出生日の翌日又は出産予定日の翌日のいずれか遅い方から8週間を経過した場合</u> <u>子の出生日の翌日又は出産予定日の翌日のいずれか遅い方から8週間を経過した日</u></p> <p>(3) <u>子の出生日（出産予定日後に出生した場合は、出産予定日）以後に出生時育児休業の日数が28日に達した場合</u> <u>子の出生日（出産予定日後に出生した場合は、出産予定日）以後に出生時育児休業の日数が28日に達した日</u></p> <p>(4) <u>申出者について、産前産後休業、育児休業、介護休業又は新たな出生時育児休業期間が始まった場合</u> <u>産前産後休業、育児休業、介護休業又は新たな出生時育児休業の開始日の前日</u></p> <p>6 5 (1)の事由が生じた場合には、申出者は原則として当該事由が生じた日に会議所にその旨を通知しなければならない。</p>
<p>(給与等の取扱い)</p> <p>第6条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p>	<p>(給与等の取扱い)</p> <p>第10条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p>
<p>(社会保険料の取扱い)</p> <p>第7条 育児休業中の職員は、育児休業期間中の社会保険料の被保険者負担分の免除の申出をする場合は、「健康保険・厚生年金保険育児休業保険料免除申出書」により、会議所に申し出るものとする。但し、申出が行われない場合は、会議所は、各月に会議所が納付した額を翌月25日までに職員に請求するものとし、職員は会議所が指定する日までに支払うものとする。</p>	<p>(社会保険料の取扱い)</p> <p>第11条 育児休業中の職員は、育児休業期間中の社会保険料の被保険者負担分の免除の出をする場合は、「<u>健康保険・厚生年金保険育児休業等取得者申出書</u>」により、会議所に申し出るものとする。但し、申出が行われない場合は、会議所は、各月に会議所が納付した額を翌月25日までに職員に請求するものとし、職員は会議所が指定する日までに支払うものとする。</p>
	<p>(円滑な取得及び職場復帰支援)</p> <p>第12条 <u>会議所は、職員から本人又は配偶者が妊娠・出産等したこと又は本人が対象家族介護していることの申出があった場合は、当該職員に対して、円滑な休業取得及び職場復帰を支援するために、以下(1)の措置を実施する。また、育児休業及び出生時育児休業の申出が円滑に行われるようにするため、(2)の措置を実施する。</u></p> <p>(1) <u>当該職員に個別に育児休業に関する制度等（育児休業、出生時育児休業、パパ・ママ育休プラス、その他の両立支援制度、育児休業等の申出先、育児・介護休業給付に関すること、休業期間中の社会保険料の</u></p>

	<p><u>取扱いなど）の周知及び制度利用の意向確認を実施する。</u></p> <p><u>(2) 育児休業に関する相談体制を整備する。</u></p>
<p>(復職後の取扱い)</p> <p>第8条 省略</p> <p>2 省略</p>	<p>(復職後の取扱い)</p> <p>第13条 省略</p> <p>2 省略</p>
<p>(年次有給休暇)</p> <p>第9条 省略</p>	<p>(年次有給休暇)</p> <p>第14条 省略</p>
<p>(育児のための所定外労働の制限)</p> <p>第10条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 申出しようとする者は、1回につき、1ヶ月以上1年以内の期間（以下この条において「制限期間」という。）について、制限を開始しようとする日（以下この条において「制限開始予定日」という。）及び制限を終了しようとする日を明らかにして、原則として、制限開始予定日の1ヶ月前までに、別に定める様式の育児のための所定外労働制限申出書を会議所に提出するものとする。この場合において、制限期間は、第13条第3項に規定する制限期間と重複しないようにしなければならない。</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 省略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の開始日の前日</p> <p>8 省略</p>	<p>(育児のための所定外労働の制限)</p> <p>第15条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 申出しようとする者は、1回につき、1ヶ月以上1年以内の期間（以下この条において「制限期間」という。）について、制限を開始しようとする日（以下この条において「制限開始予定日」という。）及び制限を終了しようとする日を明らかにして、原則として、制限開始予定日の1ヶ月前までに、別に定める様式の育児のための所定外労働制限申出書を会議所に提出するものとする。この場合において、制限期間は、第18条第3項に規定する制限期間と重複しないようにしなければならない。</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 省略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業の開始日の前日</p> <p>8 省略</p>
<p>(育児のための深夜業の制限)</p> <p>第11条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 省略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業</p>	<p>(育児のための深夜業の制限)</p> <p>第16条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 省略</p> <p>7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 申出者について、産前産後休業、育児休業</p>

業又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の 開始日の前日	業、 <u>出生時育児休業</u> 又は介護休業が始まっ た場合 産前産後休業、育児休業、 <u>出生時育児休業</u> 又は介護休業の開始日の前日
8 省略	8 省略
(育児短時間勤務) 第12条 省略 2 省略 3 省略 4 省略 5 省略 6 省略	(育児短時間勤務) 第17条 省略 2 省略 3 省略 4 省略 5 省略 6 省略
(育児のための時間外労働の制限) 第13条 省略 2 省略 3 申出しようとする者は、1回につき、1ヶ 月以上1年以内の期間（以下この条において 「制限期間」という。）について、制限を開始 しようとする日（以下この条において「制限 開始予定日」という。）及び制限を終了しよ うとする日を明らかにして、原則として、制限 開始予定日の1ヶ月前までに、別に定める様 式の育児のための時間外労働制限申出書を会 議所に提出するものとする。この場合におい て、制限期間は、第10条第3項に規定する 制限期間と重複しないようにしなければならない。 4 省略 5 省略 6 省略 7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた 場合には制限期間は終了するものとし、当該 制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とす る。 (1) 省略 (2) 省略 (3) 申出者について、産前産後休業、育児休 業又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の 開始日の前日	(育児のための時間外労働の制限) 第18条 省略 2 省略 3 申出しようとする者は、1回につき、1ヶ 月以上1年以内の期間（以下この条において 「制限期間」という。）について、制限を開始 しようとする日（以下この条において「制限 開始予定日」という。）及び制限を終了しよ うとする日を明らかにして、原則として、制限 開始予定日の1ヶ月前までに、別に定める様 式の育児のための時間外労働制限申出書を会 議所に提出するものとする。この場合におい て、制限期間は、 第15条 第3項に規定する 制限期間と重複しないようにしなければならない。 4 省略 5 省略 6 省略 7 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた 場合には制限期間は終了するものとし、当該 制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とす る。 (1) 省略 (2) 省略 (3) 申出者について、産前産後休業、育児休 業、 <u>出生時育児休業</u> 又は介護休業が始まっ た場合 産前産後休業、育児休業、 <u>出生時育児休 業</u> 又は介護休業の開始日の前日
8 省略	8 省略
(子の看護休暇) 第14条 省略 2 省略 3 省略 4 省略 5 省略	(子の看護休暇) 第19条 省略 2 省略 3 省略 4 省略 5 省略
(法令との関係) 第15条 省略	(法令との関係) 第20条 省略
(禁止行為) 第16条 省略	(禁止行為) 第21条 省略

<p>(懲戒)</p> <p>第17条 次の各号に掲げる場合に应じ、当該各号に定める懲戒処分を行う。</p> <p>(1) 第16条(1)から(3)の行為を行った場合 職員就業規則第39条第2項(1)から(4)までに定めるけん責、減給、出勤停止又は降格</p> <p>(2) 省略</p>	<p>(懲戒)</p> <p>第22条 次の各号に掲げる場合に应じ、当該各号に定める懲戒処分を行う。</p> <p>(1) 第21条(1)から(3)の行為を行った場合 職員就業規則第39条第2項(1)から(4)までに定めるけん責、減給、出勤停止又は降格</p> <p>(2) 省略</p>
<p>(相談及び苦情への対応)</p> <p>第18条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 事務局長は、問題解決のための措置として、第17条による懲戒の他、行為者の異動等被害者の労働条件及び就業環境を改善するために必要な措置を講じる。</p> <p>6 省略</p>	<p>(相談及び苦情への対応)</p> <p>第23条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 事務局長は、問題解決のための措置として、第22条による懲戒の他、行為者の異動等被害者の労働条件及び就業環境を改善するために必要な措置を講じる。</p> <p>6 省略</p>
<p>(再発防止の義務)</p> <p>第19条 省略</p>	<p>(再発防止の義務)</p> <p>第24条 省略</p> <p>附 則 <u>本規則の改正事項は令和4年5月9日から施行する。</u></p>

介護休業、介護休暇、介護のための所定外労働の制限、介護のための時間外労働及び深夜業の制限並びに介護短時間勤務等に関する規則

改 正 前	改 正 後
<p>(介護休業の対象者)</p> <p>第2条 要介護状態にある家族を介護する職員は、この規則に定めるところにより介護休業をすることができる。ただし、有期契約職員にあっては、申出時点において、次のいずれにも該当する者に限り介護休業をすることができる。</p> <p>(1) 入所1年以上であること。</p> <p>(2) 介護休業を開始しようとする日（以下、「介護休業開始予定日」という。）から93日経過日から6ヶ月を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかなこと。</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p>	<p>(介護休業の対象者)</p> <p>第2条 要介護状態にある家族を介護する職員は、この規則に定めるところにより介護休業をすることができる。ただし、有期契約職員にあっては、申出時点において、<u>介護休業を開始しようとする日（以下、「介護休業開始予定日」という。）から93日経過日から6ヶ月を経過する日までに労働契約期間が満了し、更新されないことが明らかな者に限り介護休業をすることができる。</u></p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p>
<p>(介護休業の期間等)</p> <p>第5条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、介護休業は終了するものとし、当該介護休業の終了日は当該各号に掲げる日と</p>	<p>(介護休業の期間等)</p> <p>第5条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、介護休業は終了するものとし、当該介護休業の終了日は当該各号に掲げる日と</p>

<p>する。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業又は新たな介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は新たな介護休業の開始日の前日</p> <p>6 省略</p>	<p>する。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は新たな介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は新たな介護休業の開始日の前日</p> <p>6 省略</p>
<p>(介護のための深夜業の制限)</p> <p>第11条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の開始日の前日</p> <p>7 省略</p>	<p>(介護のための深夜業の制限)</p> <p>第11条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業の開始日の前日</p> <p>7 省略</p>
<p>(介護のための時間外労働の制限)</p> <p>第13条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の開始日の前日</p> <p>7 省略</p>	<p>(介護のための時間外労働の制限)</p> <p>第13条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業の開始日の前日</p> <p>7 省略</p>
<p>(介護のための所定外労働の制限)</p> <p>第14条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業</p>	<p>(介護のための所定外労働の制限)</p> <p>第14条 省略</p> <p>2 省略</p> <p>3 省略</p> <p>4 省略</p> <p>5 省略</p> <p>6 次の各号に掲げるいずれかの事由が生じた場合には、制限期間は終了するものとし、当該制限期間の終了日は当該各号に掲げる日とする。</p> <p>(1) 省略</p> <p>(2) 申出者について、産前産後休業、育児休業</p>

<p>業又は介護休業が始まった場合 産前産後休業、育児休業又は介護休業の 開始日の前日</p> <p>7 省略</p>	<p>業、<u>出生時育児休業</u>又は介護休業が始まっ た場合 産前産後休業、育児休業、<u>出生時育児休 業</u>又は介護休業の開始日の前日</p> <p>7 省略</p> <p><u>附 則</u> 本規則の改正事項は令和4年5月9日から施 行する。</p>
---	--

- ② 令和4年6月23日開催の常議員会において、黒石商工会議所議員選挙及び選任規約の一部
を次の通り改正した。

改 正 前	改 正 後
<p>第1章 総則 (目的並びに定数)</p> <p>第1条 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 前2号の外1号議員及び2号議員が選 任した詮衡委員によって会員の中から選 任された議員(3号議員という)6人 合計 60人</p>	<p>第1章 総則 (目的並びに定数)</p> <p>第1条 省略</p> <p>(2) 省略</p> <p>(3) 前2号の外1号議員及び2号議員が選 任した<u>選考</u>委員によって会員の中から選 任された議員(3号議員という)6人 合計 60人</p>
<p>第2章 1号議員の選挙 第1節 選挙権及び被選挙権 (選挙権)</p> <p>第3条 会員及び会員以外の特定商工業者は すべて1号議員の選挙権を有する。</p> <p>2 選挙人名簿確定日までに会費又は負担金 を納入しない者は、前項の選挙権を有しな い。</p> <p>3 会員である特定商工業者は会員としての 1号議員の選挙権のみ行使することができる。 (被選挙権)</p> <p>第4条 会員はすべて議員の被選挙権を有す る。但し次の各号の1に該当する者は被選 挙権を有しない。</p> <p>(1) 成年被後見人又は被保佐人</p> <p>(2) 破産者で復権を得ない者</p> <p>(3) 未成年者</p> <p>(4) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を 終るまでの者又はその執行を受けること がなくなるまでの者</p> <p>(5) 選挙人名簿確定日までに会費を納めな い者</p>	<p>第2章 1号議員の選挙 第1節 選挙権及び被選挙権 (選挙権)</p> <p>第3条 会員及び会員以外の特定商工業者は すべて1号議員の選挙権を有する。</p> <p>2 選挙人名簿確定日までに会費又は負担金 を納入しない者は、前項の選挙権を有しな い。</p> <p>3 会員である特定商工業者は会員としての 1号議員の選挙権のみ行使することができる。 (被選挙権)</p> <p>第4条 会員はすべて1号議員の被選挙権を 有する。<u>ただし、選挙人名簿確定日までに 会費を納入しない者は、被選挙権を有しな い。</u></p>
<p>第3章 2号議員の選任 (議員候補者と詮衡委員)</p> <p>第48条 3号議員の選任は選挙人名簿確定 日の現在においてそれに登録された会員 の中から1号議員及び2号議員が選任した 詮衡委員によってこれを選任する。 3号議員の選任に必要な会議は選挙長が これを招集する。</p>	<p>第3章 2号議員の選任 (議員候補者と<u>選考</u>委員)</p> <p>第48条 3号議員の選任は選挙人名簿確定 日の現在においてそれに登録された会員 の中から1号議員及び2号議員が選任した<u>選 考</u>委員によってこれを選任する。 3号議員の選任に必要な会議は選挙長が これを招集する。</p>

2 前項により3号議員を選任したときは詮衡委員長は直ちに選任された者の承諾書を添えて書類をもってその旨選挙長に通知する。	2 前項により3号議員を選任したときは <u>選考</u> 委員長は直ちに選任された者の承諾書を添えて書類をもってその旨選挙長に通知する。
(選任議事録の作成) 第50条 詮衡委員長は3号議員選任に関する議事録を作成し、議事録署名者2人以上と共に署名捺印の上選挙長に提出しなければならない。	(選任議事録の作成) 第50条 <u>選考</u> 委員長は3号議員選任に関する議事録を作成し、議事録署名者2人以上と共に署名捺印の上選挙長に提出しなければならない。 附 則 <u>本規則の改正事項は令和4年6月23日から施行する。</u>

- ③ 令和4年6月23日開催の常議員会において、黒石商工会議所嘱託及び臨時職員就業規則の一部を次の通り改正した。

改 正 前	改 正 後
(給与) 第16条 嘱託の給与は報酬とし、その額は職務内容、技能、知識、職務遂行能力等を考慮して決める。ただし、再雇用嘱託職員の報酬は、退職時給料月額の60パーセント以内とする。 2 省略 3 省略 4 省略	(給与) 第16条 嘱託の給与は報酬とし、その額は職務内容、技能、知識、職務遂行能力等を考慮して決める。ただし、再雇用嘱託職員の報酬は、退職時給料月額の <u>70</u> パーセント以内とする。 2 省略 3 省略 4 省略 附 則 <u>本規則の改正事項は令和4年4月1日から施行する。</u>

- ④ 令和4年11月21日開催の常議員会において、「黒石商工会議所中心市街地活性化特別委員会」設置規則」の期限について延長した。

黒石商工会議所中心市街地活性化特別委員会設置規則

〔 平成29年7月20日
規 則 第 1 号 〕

(目的)

第1条 中心市街地における都市機能の増進と魅力あるまちづくりの推進を図ることを目的に、本商工会議所に中心市街地活性化特別委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 魅力あるまちづくりを推進するため、都市機能、商店街の基盤整備に関する具体策を検討し、関係機関へ提言、要望する。

(組織)

第3条 委員会は、地域商業とまちづくりに造詣のある15名以内の委員で構成し、会頭が常議員会の承認を受けて委嘱する。

2 委員会に、委員長・副委員長各1名を置き、委員長には会頭があたり副委員長は、委員のうちから会頭が指名する。

3 委員長は、委員会を統括し、会議の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(小委員会の設置)

第4条 委員会の中に小委員会を設置することができる。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を要請し、意見を聞くことができる。

(処理)

第6条 会議の結果は、事務局が取りまとめ提言、要望その他の方法により関係機関へ働きかけるなど検討内容の具体化に努める。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、振興課に置く。

附 則

この規則は、平成29年7月20日から施行し、平成31年10月31日限り、その効力を失う。

附 則

この規則は、令和4年10月31日限り、その効力を失う。

附 則

この規則は、令和7年10月31日限り、その効力を失う。

2. 組 織

(1) 会 員

① 会 員 数

区 分	前年度末会員数	新規加入者数	脱 退 数	移 動		本年度末会員数
個 人	539	48	24	法人より 0	法人へ 3	560
法 人	354	6	11	個人より 3	個人へ 0	352
計	893	54	35			912

② 口数別会員数

口 数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11～15	16以上	計
個 人	63	460	22	10	5	0	0	0	0	0	0	0	560
総口数	63	920	66	40	25	0	0	0	0	0	0	0	1,114
法 人	79	215	19	8	18	1	0	2	0	8	0	2	352
総口数	79	430	57	32	90	6	0	16	0	80	0	40	830

③ 部 会

部 会 名	業 種	会員数
食 品 商 業	各種食料品、酒、食肉、鮮魚、乾物、野菜・果実、菓子・パン、米穀類、惣菜、その他の飲食料品小売業。りんご、食料・飲料、その他の農畜産物・水産物卸売業。畜産食料品、水産食料品、調味料、菓子・パン、その他の食品製造業、精穀・製粉業。清涼飲料製造業、醸造業、製氷業。食品賃加工業。その他上記各業種に係る関連業種。	91
生 活 文 化 商 業	呉服・服地・寝具、男子服、婦人・子供服、靴・履物、その他の織物・衣服・身の回り品小売業。家具、金物・荒物、陶磁器・ガラス器、家庭用機械器具、その他のじゅう器小売業。自転車小売業。化粧品、苗・種子、燃料、書籍・文房具、スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器、写真機・写真材料、時計・眼鏡・光学機械、中古品、貴金属製品、花・植木、肥料・飼料小売業。写真業。ビデオ・CDレンタル業。貸植木業。家具修理業、洋服類仕立て直し業。事務用機械器具、家庭用機械器具、精密機械器具卸売業。繊維製品、衣服身の回り品卸売業。家具・じゅう器等、化粧品等、紙・紙製品、荒物、肥料・飼料、スポーツ用品・娯楽用品・がん具、たばこ、貴金属卸売業。電気業。ガス業。その他上記各業種に係る関連業種。	84
工 業	繊維製品製造業。木材・木製品製造業。紙・紙加工品製造業。印刷業。化学工業。石油製品製造業。プラスチック製品製造業。金属製品製造業。一般機械器具製造業。電気機械器具製造業。陶器、漆器製造業。非金属鉱業。廃棄物処理業。再生資源卸売業。農業用機械器具、自動車卸売業。農業用機械器具、自動車小売業。自動車整備業。林業。その他上記各業種に係る関連業種。	108

部 会 名	業 種	会員数
建 設	一般土木建築、土木、舗装、建築、木造建築工事業。大工、とび・土工・コンクリート、鉄骨・鉄筋、石工・れんが・タイル・ブロック、左官、板金・金物、内装、その他の職別工事業。電気、管、さく井、その他の設備工事業。土木建築サービス業。建設機械賃貸業。下水道業。セメント・同製品、砕石・石工品等製造業。建具、畳製造業。建築材料、塗料、金属材料卸売業。建築材料、塗料、金属材料小売業。かじ業、表具業。のこ目立て業。溶接業。その他上記各業種に係る関連業種。	271
観光・交通・サービス	旅館。食堂・レストラン、そば・うどん店、すし店、喫茶店、その他の一般飲食店。料亭、バー・キャバレー・ナイトクラブ、酒場・ビヤホール。料理品（仕出し）小売業。コンパニオン紹介所。結婚式場。鉄道業。道路旅客運送業。道路貨物運送業。倉庫業。こん包業。旅行業。映画館、劇場・興業場、スポーツ施設提供業、遊技業、その他の娯楽業。映画・ビデオ製作供給業。こけし製作、観光土産品小売業。その他上記各業種に係る関連業種。	194
理 財 ・ 情 報 産 業	銀行。信用金庫、信用組合。労働金庫。貸金業、クレジット業・割賦金融業。信用保証機関。生命保険業、損害保険業、共済事業、保険代理業。不動産取引業。法律事務所・特許事務所、公証人役場・司法書士事務所、公認会計士事務所・税理士事務所、社会保険労務士事務所、行政書士事務所。電気通信業。ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、ニュース供給業、興信所。デザイン業、著述家、芸術業、個人教授所、学習塾、フィットネスクラブ。新聞業、出版業。各種学校。広告代理業。駐車場業。建物サービス業、警備業、看板業。職別専門サービス業。その他上記各業種に係る関連業種。	75
厚 生 ・ 福 祉	理容業、美容業、洗濯業、公衆浴場業、寝具消毒・乾燥業。病院、医院・診療所、歯科診療所、療術業、歯科技工所。老人福祉事業。家政婦・看護婦紹介所。医薬品卸売業。医薬品小売業。葬儀業、冠婚葬祭互助会。貸衣装業。宗教団体。その他上記各業種に係る関連業種。	89
7 部 会		912

④ 委員会(特別委員会を含む)

委 員 会 名	委員数	主 な 審 議 事 項	委 員 会 名	委員数	主 な 審 議 事 項
総 務	7名	総務全般に関する事項	観 光	8名	観光対策事項
産 経	6名	商工振興対策事項	広 報 特 別	8名	広報紙発行
労 働	7名	労働厚生に関する事項	中心市街地活性化特別	13名	中心市街地のまちづくり推進
税 務	8名	税務対策事項			
金 融	8名	金融対策事項			

(2) 特別会員

区 分	会 員 数	摘 要
個 人	301	
法 人	41	
計	342	

(3) 特定商工業者

区 分	特定商工業者数	内 訳	
		会 員	非 会 員
個 人	0	0	0
法 人	414	296	118
計	414	296	118

(4) 役 員

① 役員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
会 頭	1	1	
副 会 頭	4人以内	1	
専 務 理 事	1	1	
常 議 員	20	20	
監 事	3	3	
計	29人以内	26人	

② 役員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

役 職 名	氏 名	企業の名称及び企業上の地位	企 業 の 業 種
会 頭	新岡 常雄	(有)新岡材木店 代表取締役	建材販売
副 会 頭	糸田 泰孝	(株)エクシェリール 代表取締役	洗濯業
専 務 理 事	工藤 和明		
常 議 員	中村 公成	(株)黒石日産自動車商会 代表取締役	自動車販売・整備
〃	工藤 英麿	(有)ジャストサービス 代表取締役	福祉用具貸与
〃	佐藤 洵一	(株)マルサ佐藤製作所 代表取締役社長	金属製品製造業
〃	花田 守正	(株)青森銀行黒石支店 支店長	金融
〃	工藤 秀樹	(株)みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
〃	石岡 育子	青い森信用金庫黒石支店 支店長	金融
〃	中村 公生	社会福祉法人報徳会 施設長	社会福祉事業
〃	小山内 慎一	(株)おはよう賛 代表取締役	新聞販売
〃	加藤 正彦	(有)加藤技建 代表取締役	建設
〃	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
〃	葛西 利治	黒石ガス(株) 取締役総務部長	ガス燃料販売
〃	鳴海 信宏	(株)鳴海醸造店 代表取締役社長	酒造
〃	福士 拓弥	(株)ツガルサイコー 代表取締役社長	観光施設
〃	宇野 正行	(有)宇野自動車 代表取締役	自動車販売・整備
〃	佐川 伸男	(有)佐川自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
〃	村上 慈人	(有)レストラン御幸 代表取締役	飲食店、仕出し
〃	徳田 祐之	(株)徳田工業 代表取締役	建築板金
〃	西谷 孝雄	(株)西谷造花店 代表取締役社長	葬祭
〃	村上 拓世	旭冷機工業(株) 専務取締役	建設
〃	千葉 晃大	千葉電気設備(株) 代表取締役	電気・通信工事
監 事	中澤 和行	東奥信用金庫黒石支店 支店長	金融
〃	村岡 寿一	(有)村岡熔接工業 代表取締役会長	建築・鋼構造物工事
〃	飯田 大貴	青森県信用組合黒石支店 支店長	金融

(5) 議 員

① 各号議員の定数及び実数

区 分	定 数	実 数	備 考
1 号 議 員	36	35	
2 号 議 員	18	17	
3 号 議 員	6	6	
計	60	58	

② 議員の氏名、企業の名称及び企業上の地位、企業の業種

a 1号議員 35名

氏 名	企業の名称及び企業上の地位	企 業 の 業 種
山田 広巳	山田サイン工業 代表	看板
佐々木 直樹	(有)ダスキン黒石 代表取締役	清掃用品レンタル
佐藤 慎司	(有)マルサでんき 代表取締役	家電・OA機器販売
小山内 慎一	(株)おはよう賛 代表取締役	新聞販売
伊藤 忠志	(株)グリーンパレス松安閣 代表取締役	仕出し、貸席
濱田 公一	北砲興発(株) 専務取締役	建設
北山 正之	(株)津軽新報社 代表取締役社長	新聞発行・総合印刷
中村 公生	社会福祉法人報徳会 施設長	社会福祉事業
増田 邦春	(有)黒石スクラップセンター 代表取締役	再生資源処理
宇野 正行	(有)宇野自動車 代表取締役	自動車販売・整備
柴田 聡	青森県りんごジュース(株) 取締役総務部長	清涼飲料製造
葛西 利治	黒石ガス(株) 取締役総務部長	ガス燃料販売
富士 拓弥	(株)ツガルサイコー 代表取締役社長	観光施設
泉 充彦	(有)泉バッテリー 代表取締役	自動車整備
小倉 善博	(有)稲部電気商会 代表取締役	電気工事
福原 真一	(有)福原建業 代表取締役	建築
佐川 伸男	(有)佐川自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
三上 勝久	(株)サンカツ 代表取締役	食品製造
宇野 純子	(株)とがわ建設 専務取締役	建設
千葉 清光	青山鉄工(株) 代表取締役	鉄工
中村 公成	(株)黒石日産自動車商会 代表取締役	自動車販売・整備
高樋 治	高樋建設(株) 取締役社長	建設
富樫 渉	アクサ生命保険(株) 黒石分室長	生命保険
松村久美子	(有)松葉堂まつむら 代表取締役	製菓小売
宮本 敦	管電工業(株) 取締役副社長	建設
對馬 学	黒石塗装工業(株) 代表取締役	塗装工事
高田 英樹	(株)黒石架設 代表取締役	足場架設工事
三上 修平	(有)マルケン土木 代表取締役	建設
桑田 泰孝	(株)エクシェリール 代表取締役	洗濯業
村岡 功聖	(有)村岡建設 代表取締役	建築
村上 慈人	(有)レストラン御幸 代表取締役	飲食店、仕出し
石岡 育子	青い森信用金庫黒石支店 支店長	金融
富士 悟	(有)富士コンリート建設 代表取締役	土木工事
中村 健一	(有)南黒地域交通 営業所長	旅客輸送
佐藤 敏春	佐藤電化 代表	電化製品販売・修理

b 2号議員 17名

部 会 名	氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
厚 生 ・ 福 祉	西谷 孝雄	(株)西谷造花店 代表取締役社長	葬祭
	八木橋 旬一	(有)つがる介護 専務取締役	社会福祉事業
建 設	加藤 正彦	(有)加藤技建 代表取締役	建設
	徳田 祐之	(株)徳田工業 代表取締役	建築板金
	千葉 晃大	千葉電気設備(株) 代表取締役	電気・通信工事
	長内 俊	長内サッシ工業(株) 代表取締役社長	サッシ製造・販売
	村上 拓世	旭冷機工業(株) 専務取締役	建設
観 光 ・ 交 通 ・ サ ー ビ ス	阿保 六知秀	阿保こけしや 代表	こけし製造
	三浦 一真	黒石貨物自動車(株) 専務取締役	貨物輸送
	長峰 徹吏	青荷温泉(株) 代表取締役社長	旅館
生 活 文 化 商 業	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
	工藤 豊秀	工藤寝具店 代表	寝具販売
工 業	野呂 貴憲	(有)御幸自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
	小川 秀則	オートパーツセンター黒石 代表	自動車用品販売・整備
理 財 ・ 情 報 産 業	花田 守正	(株)青森銀行黒石支店 支店長	金融
	工藤 秀樹	(株)みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
食 品 商 業	鳴海 信宏	(株)鳴海醸造店 代表取締役	酒造

c 3号議員 6名

氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
新岡 常雄	(有)新岡材木店 代表取締役	建材販売
館 正伸	(株)ホクエイ東北 代表取締役	建設機械レンタル・販売
工藤 英麿	(有)ジャストサービス 代表取締役	福祉用具貸与
佐藤 洵一	(株)マルサ佐藤製作所 代表取締役社長	金属製品製造業
松井 浩之	(株)ワカバ 代表取締役社長	医薬品販売
三上 一	三上一税理士事務所 所長	税理士事務所

(6) 部 会 長 等

部 会 名	役 職 名	氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
食 品 商 業	部 会 長	村上 照幸	(株)むらかみ 代表取締役	食料品販売
	副部会長	鳴海 信宏	(株)鳴海醸造店 代表取締役社長	酒造
生 活 文 化 商 業	部 会 長	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
	副部会長	工藤 豊秀	工藤寝具店 代表	寝具販売
	副部会長	大溝 雅昭	フラワーデザインFlowers 代表	生花販売
工 業	部 会 長	宇野 正行	(有)宇野自動車 代表取締役	自動車販売・整備
	副部会長	野呂 貴憲	(有)御幸自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
	副部会長	泉 充彦	(有)泉バッテリー 代表取締役	自動車整備
建 設	部 会 長	加藤 正彦	(有)加藤技建 代表取締役	建設
	副部会長	徳田 祐之	(株)徳田工業 代表取締役	建築板金
	副部会長	千葉 晃大	千葉電気設備(株) 代表取締役	電気・通信工事
観 光 ・ 交 通 ・ サ ー ビ ス	部 会 長	阿保六知秀	阿保こけしや 代表	こけし製造
	副部会長	須藤 秀光	(株)アップル観光バス 代表取締役	旅客輸送
	副部会長	長峰 徹吏	青荷温泉(株) 代表取締役社長	旅館
理 財 ・ 情 報 産 業	部 会 長	花田 守正	(株)青森銀行黒石支店 支店長	金融
	副部会長	工藤 秀樹	(株)みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
	副部会長	富樫 渉	アクサ生命保険(株) 黒石分室長	生命保険
厚 生 ・ 福 祉	部 会 長	工藤 英麿	(有)ジャストサービス 代表取締役	福祉用具貸与
	副部会長	中村 公生	社会福祉法人報徳会 施設長	社会福祉事業
	副部会長	八木橋 旬一	(有)つがる介護 専務取締役	介護保険事業

(7) 委 員 長 等

委 員 会 名	役 職 名	氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
総 務	委 員 長	中村 公成	(株)黒石日産自動車商会 代表取締役	自動車販売・整備
	副委員長	伊藤 忠志	(株)グリーンパレス松安閣 代表取締役	仕出し、貸席
産 経	委 員 長	佐川 伸男	(有)佐川自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
	副委員長	盛 孝	㊤もり仕出し店 代表	仕出し
労 働	委 員 長	千葉 晃大	千葉電気設備(株) 代表取締役	電気・通信工事
	副委員長	千葉 清光	青山鉄工(株) 代表取締役	鉄工
税 務	委 員 長	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
	副委員長	鳴海 浩二	(株)山与呉服店 代表取締役	呉服・衣料品販売
金 融	委 員 長	花田 守正	(株)青森銀行黒石支店 支店長	金融
	副委員長	工藤 秀樹	(株)みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
観 光	委 員 長	福士 拓弥	(株)ツガルサイコー 代表取締役社長	観光施設
	副委員長	石澤 照代	(有)黒石観光ホテル 代表取締役	旅館
広 報 特 別	委 員 長	北山 正之	(株)津軽新報社 代表取締役社長	新聞発行・総合印刷
	副委員長	野呂 英子	李紗羅 店長	雑貨販売
中心市街地活性化特別	委 員 長	新岡 常雄	(有)新岡材木店 代表取締役	建材販売
	副委員長	寺山 正幸	黒石商店街協同組合 理事長	協同組合

(8) 女性会会長等

役 職 名	氏 名	企 業 の 名 称
会 長	松村 久美子	(有)松葉堂まつむら
副 会 長	渋谷 麗子	(株)渋谷製菓
副 会 長	端田 裕花	藤パートナーズ
直 前 会 長	高橋 幸江	喫茶たかはし
相 談 役	三浦 ツエ	黒石貨物自動車(株)
理 事	木村 優美子	木村自動車
理 事	李 若冰	アイピーコンフィグ(株)
理 事	斎藤 甲	(株)サイトウ企画
理 事	野呂 英子	李紗羅
理 事	神 真奈美	(有)ひさお庵
理 事	盛 純子	㊦もり仕出し店
理 事	糸田 広子	(株)エクシェリール
理 事	大溝 千秋	フラワーデザインFlowers
監 事	石黒 きよの	(有)シャロン甘洋堂
監 事	井元 タマエ	アクサ生命保険(株)

(9) 青年部会長等

役 職 名	氏 名	企 業 の 名 称
会 長	齊藤 工	(有)サイトウ自動車
直 前 会 長	佐川 武士	(有)佐川自動車整備工場
副 会 長	徳田 祐之	(株)徳田工業
副 会 長	高橋 晃司	高橋造園
副 会 長	柴田 賢治	個性心理学研究所
専 務 理 事	村上 慈人	(有)レストラン御幸
専 務 理 事 補 佐	瓜田 健太郎	Plus value(株)
総 務 委 員 長	佐々木 辰徳	(有)佐々木設備社
総 務 副 委 員 長	松村 定世	(有)松葉堂まつむら
交 流 委 員 長	浅利 有里	浅利司法書士事務所
交 流 副 委 員 長	加藤 さおり	はなまる
地域活性化委員長	八木橋 雄介	(有)エフ・デンコー
地域活性化副委員長	松井 元博	(有)大丸松井商店
監 事	三上 修平	(有)マルケン土木
監 事	棟方 清崇	棟方商事(有)
相 談 役	八木橋 旬一	(有)つがる介護
相 談 役	村上 拓世	旭冷機工業(株)
相 談 役	村上 照幸	(株)むらかみ

(1 0) 顧問・参与等

① 顧 問

黒石市長	高樋 憲
衆議院議員	木村 次郎
青森県議会議員	鳴海 恵一郎
黒石市議会議長	佐々木 隆
元黒石商工会議所会頭	北山 肇
前黒石商工会議所会頭	村上 信吾

② 参 与

黒石公共職業安定所	
(一社)黒石地区労働基準協会	
青森県立黒石高等学校	
元黒石商工会議所専務理事	佐藤 哲郎
元黒石商工会議所専務理事	佐藤 忠征
前黒石商工会議所事務局長	三上 謙二

３．選挙及び選任

（１）議 員

① １号議員(定数３６名)

令和４年１０月１１日の１号議員立候補届最終日までに３６名の立候補があつたが、定数を超えなかつたので選挙長は議員選挙及び選任規約第３５条第２項の規定により、全員の無投票当選を決定した。

氏 名	企業の名称及び企業上の地位	企 業 の 業 種
山田 広巳	山田サイン工業 代表	看板
佐々木 直樹	(有)ダスキン黒石 代表取締役	清掃用品レンタル
佐藤 慎司	(有)マルサでんき 代表取締役	家電・ＯＡ機器販売
小山内 慎一	(株)おはよう賛 代表取締役	新聞販売
伊藤 忠志	(株)グリーンパレス松安閣 代表取締役	仕出し、貸席
濱田 公一	北砲興発(株) 専務取締役	建設
北山 正之	(株)津軽新報社 代表取締役社長	新聞発行・総合印刷
中村 公生	社会福祉法人報徳会 施設長	社会福祉事業
増田 邦春	(有)黒石スクラップセンター 代表取締役	再生資源処理
宇野 正行	(有)宇野自動車 代表取締役	自動車販売・整備
柴田 聡	青森県りんごジュース(株) 取締役総務部長	清涼飲料製造
葛西 利治	黒石ガス(株) 取締役総務部長	ガス燃料販売
福士 拓弥	(株)ツガルサイコー 代表取締役社長	観光施設
泉 充彦	(有)泉バッテリー 代表取締役	自動車整備
小倉 善博	(有)稲部電気商会 代表取締役	電気工事
福原 真一	(有)福原建業 代表取締役	建築
佐川 伸男	(有)佐川自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
三上 勝久	(株)サンカツ 代表取締役	食品製造
比内 和雄	(有)エスエス商事 取締役	食料品販売
宇野 純子	(株)とがわ建設 専務取締役	建設
千葉 清光	青山鉄工(株) 代表取締役	鉄工
中村 公成	(株)黒石日産自動車商会 代表取締役	自動車販売・整備
高樋 治	高樋建設(株) 取締役社長	建設
富樫 渉	アクサ生命保険(株) 黒石分室長	生命保険
松村久美子	(有)松葉堂まつむら 代表取締役	製菓小売
宮本 敦	管電工業(株) 取締役副社長	建設
對馬 学	黒石塗装工業(株) 代表取締役	塗装工事
高田 英樹	(株)黒石架設 代表取締役	足場架設工事
三上 修平	(有)マルケン土木 代表取締役	建設
桑田 泰孝	(株)エクシエリール 代表取締役	洗濯業
村岡 功聖	(有)村岡建設 代表取締役	建築
村上 慈人	(有)レストラン御幸 代表取締役	飲食店、仕出し
石岡 育子	青い森信用金庫黒石支店 支店長	金融
福士 悟	(有)福士コンリート建設 代表取締役	土木工事
中村 健一	(有)南黒地域交通 営業所長	旅客輸送
佐藤 敏春	佐藤電化 代表	電化製品販売・修理

② 2号議員(定数18名)

令和4年9月26日から10月11日までの間に7部会が開催され、18名の2号議員が選任された。

部 会 名	氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
厚生・福祉	西谷 孝雄	(株)西谷造花店 代表取締役社長	葬祭
	八木橋 旬一	(有)つがる介護 専務取締役	社会福祉事業
建設	加藤 正彦	(有)加藤技建 代表取締役	建設
	徳田 祐之	(株)徳田工業 代表取締役	建築板金
	千葉 晃大	千葉電気設備(株) 代表取締役	電気・通信工事
	長内 俊	長内サッシ工業(株) 代表取締役社長	サッシ製造・販売
	村上 拓世	旭冷機工業(株) 専務取締役	建設
観光・交通・サービス	阿保 六知秀	阿保こけしや 代表	こけし製造
	三浦 一真	黒石貨物自動車(株) 専務取締役	貨物輸送
	長峰 徹吏	青荷温泉(株) 代表取締役社長	旅館
生活文化商業	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
	工藤 豊秀	工藤寝具店 代表	寝具販売
工業	野呂 貴憲	(有)御幸自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
	小川 秀則	オートパーツセンター黒石 代表	自動車用品販売・整備
理財・情報産業	花田 守正	(株)青森銀行黒石支店 支店長	金融
	工藤 秀樹	(株)みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
食品商業	鳴海 信宏	(株)鳴海醸造店 代表取締役	酒造
	齋藤 春仁	(株)青森食研 代表取締役	食品加工

③ 3号議員(定数6名)

令和4年10月24日の3号議員選任会議において、1号議員と2号議員の中から選任された選考委員により6名の3号議員が選任された。

氏 名	企業の名称及び企業場の地位	企 業 の 業 種
新岡 常雄	(有)新岡材木店 代表取締役	建材販売
館 正伸	(株)ホクエイ東北 代表取締役	建設機械レンタル・販売
工藤 英麿	(有)ジャストサービス 代表取締役	福祉用具貸与
佐藤 洵一	(株)マルサ佐藤製作所 代表取締役社長	金属製品製造業
松井 浩之	(株)ワカバ 代表取締役社長	医薬品販売
三上 一	三上一税理士事務所 所長	税理士事務所

(2) 役員

- ① 佐藤柳成常議員辞任に伴う補欠選任について、令和4年5月27日開催の通常議員総会において、花田守正氏（㈱青森銀行黒石支店）を選任した。
- ② 佐藤賢治監事辞任に伴う補欠選任について、令和4年7月15日開催の臨時議員総会において、飯田大貴氏（青森県信用組合黒石支店）を選任した。
- ③ 任期満了に伴う役員改選について、令和4年11月1日に臨時議員総会を開催し、常議員20名と監事3名を選任した。

役職名	氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種
常議員	中村 公成	㈱黒石日産自動車商会 代表取締役	自動車販売・整備
〃	工藤 英麿	(有)ジャストサービス 代表取締役	福祉用具貸与
〃	佐藤 洵一	㈱マルサ佐藤製作所 代表取締役社長	金属製品製造業
〃	花田 守正	㈱青森銀行黒石支店 支店長	金融
〃	工藤 秀樹	㈱みちのく銀行黒石支店 支店長	金融
〃	石岡 育子	青い森信用金庫黒石支店 支店長	金融
〃	中村 公生	社会福祉法人報徳会 施設長	社会福祉事業
〃	小山内 慎一	㈱おはよう賛 代表取締役	新聞販売
〃	加藤 正彦	(有)加藤技建 代表取締役	建設
〃	後藤 英輝	(有)紀文 代表取締役	事務機器・事務用品販売
〃	葛西 利治	黒石ガス㈱ 取締役総務部長	ガス燃料販売
〃	鳴海 信宏	㈱鳴海醸造店 代表取締役社長	酒造
〃	福士 拓弥	㈱ツガルサイコー 代表取締役社長	観光施設
〃	宇野 正行	(有)宇野自動車 代表取締役	自動車販売・整備
〃	佐川 伸男	(有)佐川自動車整備工場 代表取締役	自動車販売・整備
〃	村上 慈人	(有)レストラン御幸 代表取締役	飲食店、仕出し
〃	徳田 祐之	㈱徳田工業 代表取締役	建築板金
〃	西谷 孝雄	㈱西谷造花店 代表取締役社長	葬祭
〃	村上 拓世	旭冷機工業㈱ 専務取締役	建設
〃	千葉 晃大	千葉電気設備㈱ 代表取締役	電気・通信工事
監事	中澤 和行	東奥信用金庫黒石支店 支店長	金融
〃	村岡 寿一	(有)村岡熔接工業 代表取締役会長	建築・鋼構造物工事
〃	飯田 大貴	青森県信用組合黒石支店 支店長	金融

- ④ 任期満了に伴う役員改選について、令和4年11月1日に臨時議員総会を開催し、会頭、副会頭、専務理事を選任した。

役職名	氏名	企業の名称及び企業上の地位	企業の業種
会頭	新岡 常雄	(有)新岡材木店 代表取締役	建材販売
副会頭	糸田 泰孝	㈱エクシェリール 代表取締役	洗濯業
専務理事	工藤 和明		

4. 事 務 局

(1) 事務局の機構

部 課 名	分 掌 事 務	職員数
総 務 課	(1) 定款その他諸規程に関する事項 (2) 秘書に関する事項 (3) 儀礼、交際及び渉外に関する事項 (4) 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項 (5) 議員総会、常議員会及びその他会議に関する事項 (6) 公印の管理に関する事項 (7) 役員、議員の選任及び選挙に関する事項 (8) 広報の発行、その他印刷物の刊行配布に関する事項 (9) 収支予算及び決算に関する事項 (10) 会費、負担金、過怠金その他徴収に関する事項 (11) 現金、預金及び有価証券の出納管理に関する事項 (12) 物品の調達及び保管に関する事項 (13) 財産の管理運営に関する事項 (14) 経理及び帳簿の整理保管に関する事項 (15) 人事及び給与に関する事項 (16) 特定商工業者に関する事項 (17) I T（情報技術）機器及び情報の管理に関する事項 (18) 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属さない事項	6 (嘱託職員を含む)
業 務 課	(1) 商工業に係る証明、鑑定、紹介、斡旋に関する事項 (2) 商工業に係る技術技能の普及及び検定に関する事項 (3) 商工業者の信用調査に関する事項 (4) 展示会等物産の出品及び販路開拓に関する事項 (5) 講習会、講演会、懇談会及び見学・視察に関する事項 (6) 商工統計及び調査に関する事項 (7) 観光事業に関する事項 (8) 発明考案に関する事項 (9) 委託団体の事務に関する事項 (10) 労働保険事務組合に関する事項 (11) 会議所共済制度及び社会保険に関する事項 (12) その他商工業の振興に関する事項	

部 課 名	分 掌 事 務	職員数
中小企業相談所 振 興 課	(1) 国及び地方自治体が行う中小企業施策に関する事項 (2) 技術の向上改善及び企業診断に関する事項 (3) 商工関係法等法律一般に関する事項 (4) 各種調査及び情報の収集提供に関する事項 (5) 前各号に係る講習会及び講演会等の開催に関する事項 (6) その他経営振興に関する事項	8 (嘱託職員を含む)
中小企業相談所 相 談 課	(1) 金融及び信用保証に関する事項 (2) 税務の相談及び指導に関する事項 (3) 経理の相談及び指導に関する事項 (4) 労務及び社会保険の相談、指導に関する事項 (5) 商取引の相談及び斡旋に関する事項 (6) その他各種相談に関する事項	

(2) 事務局職員

① 主な職員の役職・氏名

事務局 長 三 上 昌 一 中小企業相談所 長 三 上 昌 一

総務課長兼業務課長 三 上 昌 一 中小企業相談所 古 川 稚 子
事務 取 扱 相談課長兼振興課長

総務課係長兼業務課係長 小 笠 原 綾 子 中小企業相談所 豊 巻 英 知
相談 課 長 補 佐

中小企業相談所 西 沢 弘
相談 課 係 長

中小企業相談所 鳴 海 淳 一 郎
振 興 課 係 長

中小企業相談所 寺 口 将 太
振 興 課 係 長

② 職員数

区分	一般職員	経営指導員	補助員	記帳専任職員	その他	計
男	1	2	2	1	0	6
女	3	1	0	2	2	8
計	4	3	2	3	2	14

5. 庶 務

(1) 文 書

月 別	受 信			発 信		
	国 内	国 外	計	国 内	国 外	計
令和 4年4月	3 0	0	3 0	1 0	0	1 0
5月	4 6	0	4 6	6	0	6
6月	3 9	0	3 9	1 9	0	1 9
7月	3 8	0	3 8	3	0	3
8月	3 8	0	3 8	5	0	5
9月	3 7	0	3 7	1 2	0	1 2
10月	3 1	0	3 1	6	0	6
11月	3 6	0	3 6	1 2	0	1 2
12月	3 4	0	3 4	1 8	0	1 8
令和 5年1月	3 0	0	3 0	8	0	8
2月	3 3	0	3 3	7	0	7
3月	3 1	0	3 1	1 0	0	1 0
計	4 2 3	0	4 2 3	1 1 6	0	1 1 6

(2) 表彰・受章（賞）

① 表 彰

第57回永年勤続優良従業員表彰式

開催日時 令和5年1月24日

開催場所 黒石市乙徳兵衛町34 「グリーンパレス松安閣」

被表彰者

勤 続 年 数	被表彰者数	勤 続 年 数	被表彰者数
10年以上15年未満	8名	25年以上30年未満	3名
15年以上20年未満	6名	30年以上	18名
20年以上25年未満	7名	合 計	42名

② 受 章(賞)

東北六県商工会議所連合会会長表彰（表彰規定第2条）

受賞日 令和4年7月12日

受賞者 中小企業相談所振興課係長 鳴海 淳一郎

(3) 慶 弔

開催日	名 称	開催場所	出席者
4月 4日 19日	糸田家通夜(黒石商工会議所 副会頭 糸田泰孝 ご尊父) 黒石商工会議所青年部令和4年度通常総会懇親会	メモリアルホールにしや グリーンパレス松安閣	新岡会頭 新岡会頭他
5月30日	こみせ通り商店街振興組合令和4年度通常総会後の懇親会	レストラン御幸	新岡会頭他
6月14日 18日 18日 27日	大森建設(株)黒石倉庫新築工事 地鎮祭並びに安全祈願祭 第51代青森県手踊名人「山本祐華」受賞記念祝賀会 第15回古都ひろさき花火の集い 令和3年度特定非営利活動法人横町十字まちそでて会 通常総会懇親会	大森建設(株)黒石倉庫建設地 グリーンパレス松安閣 弘前市岩木川河川敷運動公園 レストラン御幸	新岡会頭 新岡会頭 村岡監事他 糸田副会頭
7月 1日 30日	(株)黒石日産自動車商会創立60周年記念ゴルフコンペ 黒石ねぶた祭り審査	びわの平ゴルフ倶楽部 富田通り	工藤専務理事 糸田副会頭
9月 9日 10日 18日 20日 22日	黒石こみせまつり出店者との交流会 第37回黒石こみせまつり開会式 黒石ライオンズクラブ結成60周年記念式典 津軽鳥城焼 三筋工房 世界最長103m登り窯火入れ式 黒石神社『御神忌三六〇年祭』	レストラン御幸 黒石神明宮 グリーンパレス松安閣 津軽鳥城焼窯元 黒石神社	新岡会頭 新岡会頭他 糸田副会頭 新岡会頭 新岡会頭
10月14日 15日	徳田家通夜(黒石商工会議所 議員 徳田祐之 ご尊父) 第32回全国産業教育フェア青森大会式典総合開会式	なごみホール黒石 新青森県総合運動公園マエダアリーナ	齊藤青年部会長 新岡会頭
11月 3日 7日	令和4年度黒石市表彰式 奈良県五條市・和歌山県橋本市との交流会	グリーンパレス松安閣 津軽伝承工芸館	新岡会頭 新岡会頭
12月 2日 18日 23日	黒石地区産業安全衛生大会 青森商工会議所副会頭 故奈良秀則様「お別れの会」 令和4年叙勲・県褒賞受章記念式	グリーンパレス松安閣 ホテル青森 グリーンパレス松安閣	新岡会頭他 工藤専務理事 新岡会頭
1月 5日 12日 17日 25日	令和5年新年互礼会 黒石ロータリークラブ第55回新年会 2023年黒石商工会議所女性会・新春会員大会 (公社)黒石青年会議所2023年度新年祝賀会	グリーンパレス松安閣 赤提灯 蔵よし グリーンパレス松安閣	新岡会頭他 新岡会頭 新岡会頭他 糸田副会頭
2月11日	第35回全日本ずぐり回し選手権大会by冬のこみせ開会式	松の湯交流館駐車場	新岡会頭他
3月 7日 12日 21日 31日	黒石地区溶接協会総会 2022～2023年度 国際ロータリー第2830地区 西第2グループインターシティミーティング 青森県議会議員選挙 鳴海恵一郎総決起大会 青森県議会議員選挙 鳴海恵一郎出陣式ならびに第一声街頭演説会	赤提灯 こみせの宿 ホテル逢春他 津軽伝承工芸館 鳴海恵一郎後援会事務所前他	糸田副会頭 工藤専務理事 新岡会頭 新岡会頭

6. 会 議

(1) 議員総会

① 通常議員総会

- a 開催日時 令和4年5月27日（金）午後5時00分
開催場所 黒石市袋富山72-1 「津軽伝承工芸館」
出席者 役議員・14名（委任状行使者43名） 事務局・5名
議案審議 議案第1号 令和3年度事業報告承認について
議案第2号 令和3年度各会計収支決算承認について
議案第3号 常議員欠員に伴う補欠選任について

議事の概要

工藤専務理事開会を宣言。新岡会頭挨拶のあと議長となり議事に入る。1号議案については工藤専務理事、三上事務局長が配付資料に基づき説明。議長が諮り原案通り決定した。村上監事が監査結果を報告。2号議案については三上事務局長、古川課長、豊巻課長補佐、小笠原係長が配布資料に基づき説明。議長が諮り原案通り決定した。3号議案については花田守正氏（榊青森銀行黒石支店）を選任した。

- b 開催日時 令和5年3月29日（水）午後3時00分
開催場所 黒石市市ノ町5-2「黒石市産業会館 大会議室」
出席者 役議員・13名（委任状行使者41名） 事務局・7名
議案審議 議案第1号 令和5年度事業計画（案）について
議案第2号 令和4年度一般会計収支補正予算（案）及び令和4年度
中小企業相談所特別会計収支補正予算（案）について
議案第3号 令和5年度各会計収支予算（案）について
議案第4号 借入れ最高限度額決定について

議事の概要

工藤専務理事開会を宣言。新岡会頭挨拶のあと議長となり議事に入る。1～3号議案については工藤専務理事、三上事務局長、古川課長、西沢係長・小笠原係長が配布資料に基づき説明。議長が諮りそれぞれ原案通り決定した。4号議案については限度額を2,000万円と決定した。

② 臨時議員総会

- a 開催日時 令和4年7月15日（金）午前11時00分
開催場所 黒石市横町15-4 「こみせの宿 ホテル逢春」
出席者 役議員・15名（委任状行使者39名） 事務局・5名
議案審議 議案第1号 監事の選任について
議案第2号 議員選挙及び選任日程（案）について
議案第3号 部会に対する2号議員の割り当て数（案）について
議案第4号 議員選挙及び選任に伴う特別会計収支予算（案）について

議事の概要

工藤専務理事開会を宣言。新岡会頭挨拶のあと議長となり議事に入る。1号議案については飯田大貴氏（青森県信用組合黒石支店）を選任した。2～4号議案については三上事務局長が配布資料に基づき説明。議長が諮りそれぞれ原案通り決定した。

- b 開催日時 令和4年11月1日（火）午後5時00分
 開催場所 黒石市乙徳兵衛町34「㈱グリーンパレス松安閣」
 出席者 役議員・25名（委任状行使者32名） 事務局・6名
 議案審議 議案第1号 会頭選任の件
 議案第2号 副会頭選任に伴う同意を求める件
 議案第3号 専務理事選任に伴う同意を求める件
 議案第4号 監事選任の件
 議案第5号 常議員選任の件

議事の概要

工藤専務理事職務執行者開会を宣言。新岡会頭職務執行者挨拶のあと議長となり議事に入る。1号議案については新岡常雄氏を選任した。2号議案については条田泰孝氏を選任した。3号議案については工藤和明氏を選任した。4号議案については中澤和行氏、村岡寿一氏、飯田大貴氏の3名を選任した。5号議案については中村公成氏、工藤英麿氏、佐藤洵一氏、花田守正氏、工藤秀樹氏、石岡育子氏、中村公生氏、小山内慎一氏、加藤正彦氏、後藤英輝氏、葛西利治氏、鳴海信宏氏、福士拓弥氏、宇野正行氏、佐川伸男氏、村上慈人氏、徳田祐之氏、西谷孝雄氏、村上拓世氏、千葉晃大氏の20名を選任した。

（2）正副会頭会議（12回）

開催日時	開催場所	出席者数	議 題
4月 1日 午前 9時00分	会 頭 室	4名	1. 令和4年度正副会頭担当職務について 2. 健康経営優良法人認定について 3. 常議員会開催日程について 4. 黒石よされ実行委員会役員会開催日程について 5. 令和4年度県連要望事項について 6. 役員スケジュールについて
5月 2日 午前 9時00分	会 頭 室	4名	1. 令和3年度事業報告・収支決算について 2. 県連幹事会報告 3. 議員選挙及び選任日程について 4. 共催依頼（100万人のキャンドルナイト@KUROISHI CITY2022・黒養ワークトレーニング社）について 5. 黒石よされ実行委員会役員会の開催日時について 6. 役員スケジュールについて 7. その他 ① 日本商工会議所創立100周年記念式典について ② 日本商工会議所創立100周年特設サイトへの会頭メッセージおよびアンケートについて

6月 1日 午前 8時40分	会 頭 室	5名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常議員会上程案件について 2. 臨時議員総会開催日程について 3. 県連幹事会報告 4. 黒石よされ実行委員会役員会の開催日時について 5. 役員スケジュールについて
7月 5日 午前 9時00分	会 頭 室	5名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒石よされについて 2. 黒石商工会議所役議員改選に伴う体制づくりについて 3. 黒石市長への表敬訪問について 4. 後援依頼（第4回くろいしの短歌コンテスト）について 5. 役員スケジュールについて
8月 2日 午前 9時00分	会 頭 室	5名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒石よされについて 2. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本商工会議所会員総会並びに創立100周年記念式典等について ② 第55回北海道・東北商工会議所連絡会議について ③ 当所職員の新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に該当したことの報告 3. 役員スケジュールについて
9月 6日 午前 9時05分	会 頭 室	5名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒石よされ終了に伴う市長表敬訪問について 2. 令和4年度第1回三役・部会長・委員長会議開催日程について 3. 役員改選に伴う体制確認について 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 豪雨被害を受けられた会員事業所への対応について ② 日本商工会議所通常会員総会並びに創立100周年記念式典について ③ 黒石こみせまつり開会式及び歓迎会について ④ 当所職員の新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に該当したことの報告 ⑤ 当所顧問の名刺作成について 5. 役員スケジュールについて
10月 4日 午前 9時00分	会 頭 室	5名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒石よされ終了に伴う市長訪問並びに黒石よされ実行委員会役員会開催日程について 2. 役員改選に伴う議員及び常議員等の選考について 3. 後援依頼（黒石菊花展）について 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 嘱託職員継続雇用について ② 当所職員の新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に該当したことの報告 5. 役員スケジュールについて
11月 8日 午前 9時00分	会 頭 室	4名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正・副会頭の担当職務（委任）について 2. 小規模事業者経営改善資金審査会の委員選任について 3. 各委員会委員長の選任について 4. 常議員会開催日程について 5. 令和4年度第1回三役・部会長・委員長会議開催日程について 6. 県連幹事会報告 7. その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 日商創立100周年特設サイトへのメッセージ投稿について ② 登記事項に係る実印及び印鑑証明書の取得について

			③ 黒石よされ実行委員会役員会及び総会開催日程について ④ 黒石よされ流し踊り参加者数等について 8. 役員スケジュールについて
12月6日 午前 9時00分	会 頭 室	4名	1. 新春会員大会について 2. 常議員会上程案件について 3. 県連役員の書面表決等について 4. 役員スケジュールについて
1月4日 午前 9時30分	会 頭 室	4名	1. 黒石市に対する要望事項の精査について 2. その他 ① 税制改正に伴う税制調査会での発言依頼について 3. 役員スケジュールについて
2月8日 午前 9時00分	会 頭 室	4名	1. 令和4年度補正予算について 2. 常議員会開催日程について 3. 県連幹事会報告 4. 役員スケジュールについて
2月27日 午前 9時15分	会 頭 室	4名	1. 令和5年度事業計画（案）・収支予算（案）について 2. 常議員会の定期開催の検討及びDXの推進について 3. その他 ① 黒石よされについて 4. 役員スケジュールについて

（３）常議員会（９回）

開 催 日 時	開 催 場 所	出席者数	議 題
4月19日 午後 1時30分	会 頭 室	8名	1. 青森県商工会議所連合会会員大会で上程する要望事項について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 2. 常議員欠員に伴う補欠選任について ◇内容を審議し、原案通り通常議員総会へ提案することに決定した。 3. 通常議員総会等の開催日時について ◇監査会、常議員会、通常議員総会の日時を決定した。 4. 新入会員の承認について ◇23事業所の入会を承認した。 報告事項 ① 小規模企業振興委員委嘱について報告した。 ② 交通量調査結果について報告した。 ③ 令和3年度補助事業実施内容について報告した。 { a 青森県中小企業者等事業継続支援金給付事業、 b くろいしプレミアム付き商品券発行事業、c 青森県事業者支援体制特別強化事業、d 新型コロナ ウイルス感染症対応経営相談体制強化事業、 e 黒石エールマーケットプロジェクト支援事業、 f 制度改正に伴う専門家派遣等事業、g 伴走型 小規模事業者支援推進事業、h エキスパートバ ンク制度事業、i 事業復活支援金、j 黒石市創 業相談ルーム管理運営事業、k 持続化補助金・ ものづくり補助金・事業再構築補助金 } ④ 事務局組織・業務分担一覧について報告した。

5月9日 午後 3時00分	会 頭 室	9名	1. 令和3年度事業報告承認について ◇内容を審議し、原案通り通常議員総会へ提案することに決定した。 2. 令和3年度各会計収支決算書承認について ◇内容を審議し、原案通り通常議員総会へ提案することに決定した。 3. 育児・介護休業等に関する規則の改正(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。
6月23日 午後 2時00分	会 頭 室	7名	1. 黒石商工会議所議員選挙及び選任規約の一部改正(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 2. 黒石商工会議所嘱託及び臨時職員就業規則の一部改正(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 3. 監事の選任について ◇内容を審議し、原案通り臨時議員総会へ提案することに決定した。 4. 議員選挙及び選任日程(案)について ◇内容を審議し、原案通り臨時議員総会へ提案することに決定した。 5. 部会に対する2号議員の割り当て数(案)について ◇内容を審議し、原案通り臨時議員総会へ提案することに決定した。 6. 議員選挙及び選任に伴う特別会計収支予算(案)について ◇内容を審議し、原案通り臨時議員総会へ提案することに決定した。 7. 臨時議員総会の開催日時について ◇臨時議員総会の日時を決定した。 8. 新入会員の承認について ◇26事業所の入会を承認した。 報告事項 ① 令和4年度正職員採用について報告した。
10月12日 午後 3時00分	会 頭 室	5名	1. 臨時議員総会（組織会・11月1日）への提出案件について ◇内容を審議し、原案通り臨時議員総会へ提案することに決定した。 2. 新入会員の承認について ◇3事業所の入会を承認した。
11月21日 午後 1時30分	会 頭 室	12名	1. 各委員会委員長委嘱(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 2. 顧問・参与委嘱(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 3. 中心市街地活性化特別委員会設置継続について ◇内容を審議し、原案通り決定した。 報告事項 ① 小規模事業者経営改善資金審査委員委嘱について報告した。 ② 県内商工会議所改選状況について報告した。 ③ 常議員会開催日時に関する意向調査結果について報告した。
12月14日 午後 1時30分	会 頭 室	14名	1. 各委員会副委員長・委員委嘱(案)について ◇内容を審議し、原案通り決定した。

			<p>2. 黒石市への要望事項（案）策定について ◇内容を審議した。</p> <p>報告事項 ① 総務委員会より新春会員大会について報告した。 黒石市総務課より「大黒跡地（仮称）市民サービス施設の進捗状況」について説明</p>
1月17日 午前11時00分	会 頭 室	9名	<p>1. 黒石市への要望事項（案）策定について ◇内容を審議し、原案通り決定した。</p> <p>2. 新入会員の承認について ◇2事業所の入会を承認した。</p> <p>報告事項 ① 各分会・委員会活動について報告した。 アクサ生命保険(株)青森支社より「黒石商工会議所共済福祉制度」について説明</p>
2月21日 午前11時00分	会 頭 室	9名	<p>1. 令和4年度一般会計収支補正予算（案）について ◇内容を審議し、原案どおり通常議員総会へ提案することに決定した。</p> <p>2. 令和4年度中小企業相談所特別会計収支補正予算（案）について ◇内容を審議し、原案どおり通常議員総会へ提案することに決定した。</p> <p>報告事項 ① 各分会・委員会、青年部・女性会活動について報告した。 ② 県連幹事会について報告した。</p>
3月 6日 午後 1時30分	会 頭 室	12名	<p>1. 令和5年度事業計画（案）審議について ◇内容を審議し、原案どおり通常議員総会へ提案することに決定した。</p> <p>2. 令和5年度各会計収支予算（案）について ◇内容を審議し、原案どおり通常議員総会へ提案することに決定した。</p> <p>3. 借り入れ最高限度額決定について ◇2,000万円に決定した。</p> <p>報告事項 ① 事業環境変化対応型支援事業について報告した。 ② 各分会・委員会活動について報告した。</p>

（４）意見交換会（１回）

開 催 日 時	開 催 場 所	出席者数	議 題
3月27日 午前11時00分	黒 石 市 役 所 市 長 室	4名	<p>1. 「令和5年度黒石市に対する要望事項」に対する黒石市からの回答書受取 ◇要望事項に対する意見交換</p>

（５）監査会（３回）

開 催 日 時	開 催 場 所	出席者数	議 題
4月25日 午前10時00分	会 頭 室	3名	1. 各会計諸帳簿及び関係書類の監査
9月26日 午前10時00分	会 頭 室	2名	1. 各会計諸帳簿及び関係書類の監査

1月25日 午前10時00分	会 頭 室	3名	1.各会計諸帳簿及び関係書類の監査
-------------------	-------	----	-------------------

(6) 合同会議 (2回)

開 催 日 時	開 催 場 所	出席者数	議 題
□三役・部会長・委員長合同会議			
11月29日 午後1時30分	会 頭 室	11名	1.令和5年度要望事項(案)策定について 2.令和5年度事業計画(案)策定について
1月11日 午後1時30分	会 頭 室	9名	1.黒石市への要望事項(案)策定について ◇各部会・委員会より提出された要望事項を精査し、 提案することとした。

(7) 部会 (15回)

開 催 日 時	開 催 場 所	出席者数	議 題
□食品商業部会			
9月29日 午前11時00分	会 頭 室	48名 委任状 含む	1.2号議員(2名)の選任について ◇(株)鳴海醸造店、(株)青森食研を選任した。 2.部会長、副部会長(2名)の選任について ◇部会長に村上照幸氏、副部会長に齋藤春仁氏と鳴海信 宏氏を選任した。 3.令和5年度要望事項(案)について 4.令和5年度事業計画(案)について 5.その他
□生活文化商業部会			
4月25日 午後1時30分	会 頭 室	7名	正副部会長会議 1.令和4年度「くろいし健康マイレージ」事業について 2.その他
6月15日 午後6時00分	スポカルイン黒石 メインアリーナ	34名	ラージボール教室①
9月28日 午後1時30分	会 頭 室	39名 委任状 含む	1.2号議員(2名)の選任について ◇(有)紀文、工藤寝具店を選任した。 2.部会長、副部会長(2名)の選任について ◇部会長に後藤英輝氏、副部会長に工藤豊秀氏と大溝雅 昭氏を選任した。 3.令和5年度「黒石市への要望事項」について 4.ラージボール教室について 5.その他
11月16日 午後6時00分	スポカルイン黒石 メインアリーナ	30名	ラージボール教室②
□工業部会			
9月28日 午後7時00分	会 頭 室	54名 委任状 含む	1.2号議員(2名)の選任について ◇(有)御幸自動車整備工場、オートパーツセンター黒石を 選任した。 2.部会長、副部会長(2名)の選任について ◇部会長に宇野正行氏、副部会長に野呂貴憲氏と泉充彦 氏を選任した。 3.令和5年度要望事項(案)の策定について 4.本年度事業活動及び次年度事業計画(案)について

□建設部会			
9月27日 午前11時00分	会 頭 室	82名 委任状 含む	1. 2号議員（5名）の選任について ◇(有)加藤技建、徳田板金工業所、千葉電気設備(株)、長内 サッシ工業(株)、旭冷機工業(株)を選任した。 2. 部会長、副部会長（2名）の選任について ◇部会長に加藤正彦氏、副部会長に徳田祐之氏と千葉晃 大氏を選任した。 3. 令和5年度事業計画（案）について 4. 関係機関等への要望事項について
1月30日 午前10時30分	ミーティングルーム	5名	正副部会長会議 1. 会員親睦ゴルフコンペ開催要項（案）について
□観光・交通・サービス部会			
5月11日 午後2時00分	会 頭 室	69名 委任状 含む	1. サービス券付き市内飲食店パンフレットの作成について
6月21日 午後2時00分	会 頭 室	63名 委任状 含む	1. サービス券付き市内飲食店パンフレットの作成について
9月27日 午後2時00分	会 頭 室	64名 委任状 含む	1. 2号議員（3名）の選任について ◇阿保こけしや、黒石貨物自動車(株)、青荷温泉(株)を選任 した。 2. 部会長、副部会長（2名）の選任について ◇部会長に阿保六知秀氏、副部会長に須藤秀光氏と長峰 徹吏氏を選任した。 3. 令和5年度要望事項（案）の策定について 4. 令和5年度事業計画（案）の策定について
□理財・情報産業部会			
9月29日 午前11時00分	4階大会議室	39名 委任状 含む	1. 部会長、副部会長（2名）の選任について ◇部会長に花田守正氏、副部会長に神晃一郎氏と寺田和 仁氏を選任した。 2. 2号議員（2名）の選任について ◇(株)青森銀行黒石支店、(株)みちのく銀行黒石支店を選任 した。 3. 令和5年度要望事項（案）の策定について 4. 来年度事業活動及び次年度事業計画（案）について
12月21日 午前10時30分	会 頭 室	8名	1. ホームページ開設助成金審査会 ◇4社に対しホームページ開設助成を決定した。
□厚生・福祉部会			
9月26日 午後7時00分	会 頭 室	45名 委任状 含む	1. 2号議員（2名）の選任について ◇(株)西谷造花店、(有)つがる介護を選任した。 2. 部会長、副部会長（2名）の選任について ◇部会長に工藤英磨氏、副部会長に中村公生氏と八木橋 旬一氏を選任した。 3. 黒石市等に対する要望事項について 4. 本年度事業活動及び次年度事業計画（案）について
3月8日 午後7時00分	会 頭 室	32名 委任状 含む	1. 献血事業（4月16日(日)開催予定）について 2. その他

(8) 委員会 (11回)

開催日時	開催場所	出席者数	議題
□総務委員会			
12月22日 午前11時00分	会頭室	5名	1. 令和5年度関係機関等への要望事項について 2. 令和5年度事業計画(案)策定について ◇各種事業計画(案)について、総体的に協議した。 3. 2023年新春会員大会について ◇新春会員大会開催内容について協議した。
1月16日 午前11時00分	会頭室	5名	1. 令和5年度関係機関等への要望事項について ◇黒石市への要望事項(案)策定について、総体的に協議した。 2. 令和5年度事業計画(案)策定について ◇各種事業計画(案)について、総体的に協議した。
□産経委員会			
12月21日 午後6時00分	会頭室	3名	1. 令和5年度事業計画(案)策定について ◇商工振興事業について協議し、13項目を提案することとした。 2. 黒石市に対する要望事項について 3. 成人式の準備について 4. その他
1月7日 午後1時00分	スポカルイン黒石 メインアリーナ	3名	成人式会場準備作業
□労働委員会			
12月21日 午後1時30分	会頭室	5名	1. 令和5年度関係機関等への要望事項について 2. 令和5年度事業計画(案)策定について ◇労働対策事業について協議し、6項目を提案することとした。
□税務委員会			
12月22日 午後7時00分	赤提灯	5名	1. 令和5年度事業計画(案)策定について ◇税務対策事業について協議し、4項目を提案することとした。 2. その他
□金融委員会			
12月21日 午前11時00分	会頭室	8名	1. 4月～9月(上半期)融資制度活用状況について 2. 令和5年度事業計画(案)について ◇金融対策事業について協議し、7項目を提案することとした。 3. 令和5年度要望事項の策定について
□観光委員会			
12月16日 午前11時00分	会頭室	5名	1. 「津軽くろいし みんなの雪だるま2023」について 2. 令和5年度要望事項(案)の策定について 3. 令和5年度事業計画(案)の策定について ◇観光対策事業について協議し、10項目を提案することとした。
2月24日 午前11時00分	会頭室	6名	1. 「津軽くろいし みんなの雪だるま・私の雪だるまコンテスト2023」審査について ◇入賞・入選作品を決定した。
3月2日 ～3月7日	松の湯交流館		「津軽くろいし みんなの雪だるま・私の雪だるまコンテスト2023」展示

3月 3日 午後 5時30分	松の湯交流館	14名	1.「津軽くろいし みんなの雪だるま・私の雪だるまコンテスト2023」表彰式 ◇入賞・入選作品製作者を表彰した。
-------------------	--------	-----	---

(9) 女性会

開催日	主な事業・会議等	開催場所	出席者数
4月 5日	青森県商工会議所女性会連合会正副会長会議	オンライン	2名
13日	第1回役員会	黒石商工会議所	8名
19日	黒石商工会議所青年部通常総会	グリーンパレス松安閣	1名
19日	黒石商工会議所青年部通常総会 懇親会	グリーンパレス松安閣	1名
26日	監査会	黒石商工会議所	4名
5月 11日	第2回役員会	黒石商工会議所	5名
23日	青森県商工会議所女性会連合会	書面決議	
24日	通常総会	グリーンパレス松安閣	17名
6月 1日	第3回役員会	黒石商工会議所	5名
16日	青森県商工会議所女性会連合会総会むつ大会 講演会	むつグランドホテル	8名
16日	青森県商工会議所女性会連合会総会むつ大会 懇親会	むつグランドホテル	8名
7月 7日	東北六県商工会議所女性会連合会総会弘前大会 講演会	フォルトーナ	4名
7日	東北六県商工会議所女性会連合会総会弘前大会 懇親会	フォルトーナ	4名
7日	東北六県商工会議所女性会連合会総会弘前大会	オンライン	4名
9月 7日	第4回役員会	黒石商工会議所	10名
8日	黒石地区エネルギー問題懇談会施設見学会	澄川地熱発電所他	4名
10月 7日	全国商工会議所女性会連合会福島全国大会 懇親会	磐梯熱海温泉 旅館 四季彩一カ	4名
8日	全国商工会議所女性会連合会福島全国大会 記念講演会	ビッグパレットふくしま	4名
19日	第5回役員会	黒石商工会議所	6名
11月 1日	第6回役員会	黒石商工会議所	8名
18日	第80回国民スポーツ大会黒石市準備委員会設立総会及び第1回総会	スポカルイン黒石	1名
19日	第31回黒石りんごまつり「女性会コーヒー販売」	スポカルイン黒石	14名
～20日			
12月 1日	第7回役員会	黒石商工会議所	11名
27日	公開教養講座「お正月花 フラワーアレンジメント講習会」	松の湯交流館	22名
1月 10日	第8回役員会	黒石商工会議所	9名
17日	新春会員大会	蔵よし	17名
24日	黒石商工会議所2023年新春会員大会	グリーンパレス松安閣	6名
2月 7日	第9回役員会	黒石商工会議所	7名
20日	黒石商工会議所サロン片付け	黒石商工会議所	9名
3月 7日	第10回役員会	黒石市産業会館 小会議室	11名

(10) 青年部

開催日	主な事業・会議等	開催場所	出席者数
4月 5日	令和4年度監査会	黒石商工会議所	2名
5日	令和4年度第1回役員会	黒石商工会議所	14名
11日	十日会歓送迎会	割烹富士見館	2名
12日	弘前商工会議所青年部令和4年度通常総会懇親会	ホテルニューキャッスル	4名
14日	黒石よされ実行委員会令和4年度第2回役員会	黒石商工会議所	1名
14日	令和4年度第1回総務委員会	黒石商工会議所	3名
23日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第1回役員会	(株)宮城県管工事会館	1名
27日	令和4年度第2回総務委員会	黒石商工会議所	3名
27日	令和4年度第1回交流委員会	レストラン御幸	7名
28日	日本商工会議所青年部 全国会長会議	オンライン	1名
30日	令和4年度黒石さくらまつり事業	東公園	18名
5月 6日	令和4年度第1回地域活性化委員会	黒石商工会議所	3名
10日	令和4年度第2回役員会	黒石商工会議所	14名
14日	Aライン協議会通常総会	むつ来さまい館	2名
21日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第1回委員会	弘前商工会議所会館	4名
21日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第1回役員会	弘前商工会議所会館	6名
21日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度通常総会	弘前商工会議所会館	6名
23日	黒石よされ実行委員会令和4年度第3回役員会	黒石商工会議所	1名
28日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第2回役員会	ホテルグランドパレス塩釜	3名
28日	東北ブロック商工会議所青年部連合会通常総会	ホテルグランドパレス塩釜	3名
28日	東北ブロック商工会議所青年部連合会会長会議	ホテルグランドパレス塩釜	1名
30日	こみせ通り商店街振興組合令和4年度通常総会	レストラン御幸	1名
31日	令和4年度第2回地域活性化委員会	黒石商工会議所	3名
6月 6日	令和4年度第3回役員会	黒石商工会議所	12名
7日	青森Y E Gとの意見交換会	レストラン御幸	7名
11日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第2回委員会	八戸プラザホテル	3名
11日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第2回役員会	八戸プラザホテル	4名
14日	日本Y E G 令和4年度企画委員長菊池孝一君激励会	プラザマリュウ五所川原	3名
24日	6月定例会講師例会	赤提灯	24名
27日	黒石こみせまつり実行委員会総会	黒石市産業会館	1名
7月 5日	令和4年度第4回役員会	黒石商工会議所	9名
9日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第3回役員会	二本松御苑	1名
11日	十日会7月例会	グリーンパレス松安閣	1名
12日	黒石商工会議所青年部シニア倶楽部夏季ビアガーデン	グリーンパレス松安閣	8名
14日	令和4年度第2回交流委員会	レストラン御幸	8名
15日	日本Y E G 第97回会員総会	オンライン	1名
29日	黒石よされ実行委員会令和4年度第5回役員会	ホテル逢春	1名
8月 6日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第4回役員会	湯沢グランドホテル	2名
9日	令和4年度第5回役員会	黒石商工会議所	8名

10日	十日会8月例会（歓送迎会及び納涼会）	豪雨のため中止（折詰料理配布）	1名
9月 2日	令和4年度第3回交流委員会	レストラン御幸	7名
6日	令和4年度第6回役員会	黒石商工会議所	10名
9日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第5回役員会	ベリーノホテルー関	3名
9日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第1回臨時総会	ベリーノホテルー関	3名
10日	東北ブロック大会岩手いちのせき大会	一関文化センター	5名
24日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第3回委員会	青森商工会議所会館	3名
24日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第3回役員会	青森商工会議所会館	5名
24日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第1回臨時総会	青森商工会議所会館	5名
29日	9月定例会（県内Y E Gとの交流会）	スポカルイン黒石	42名
10月 4日	令和4年度第7回役員会	黒石商工会議所	11名
7日	令和4年度第3回総務委員会	赤提灯	3名
9日	久慈地方産業まつり	久慈市民文化センター	2名
11日	十日会10月例会	グリーンパレス松安閣	1名
14日	共済福祉制度懇談会	レストラン御幸	3名
14日	黒石よされ実行委員会令和5年度第1回役員会	黒石商工会議所	1名
17日	令和4年度第1回臨時総会	レストラン御幸	16名
17日	10月定例会講師例会	レストラン御幸	15名
21日	令和4年度第4回交流委員会	レストラン御幸	8名
22日	令和5年度青森県連会長及び日本Y E G 青森県連代表理事就任を応援する会	ホテル青森	3名
26日	黒石市長との意見交換会	黒石商工会議所	1名
11月 4日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第6回役員会	オンライン	1名
6日	青森県商工会議所青年部連合会第15回県連会員大会	弘前パークホテル	6名
8日	令和4年度第8回役員会	黒石商工会議所	11名
11日	Y E Gの日クリーン大作戦	黒石市市ノ町周辺	3名
12日	日本Y E G 全国研修会	大阪府寝屋川市立市民会館	2名
18日	第80回国民スポーツ大会黒石市準備委員会設立総会及び第1回総会	スポカルイン黒石	1名
30日	日本Y E G 40周年記念事業	両国国技館	3名
12月 2日	令和4年度第9回役員会	黒石商工会議所	9名
3日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第4回委員会	ホテル逢春	5名
3日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第4回役員会	ホテル逢春	12名
6日	令和4年度第5回交流委員会	R e i r a	6名
11日	12月定例会（クリスマス家族例会）	津軽伝承工芸館	30名
1月 6日	令和4年度第10回役員会	レストラン御幸	8名
17日	2023年黒石商工会議所女性会・新春会員大会	蔵よし	1名
24日	黒石商工会議所2023年新春会員大会	グリーンパレス松安閣	12名
25日	（公社）黒石青年会議所2023年度新春祝賀会	グリーンパレス松安閣	1名
2月 4日	青森県商工会議所青年部連合会令和5年度第1回役員予定者会議	ホテル青森	4名
4日	黒石ねふたまつり懇談会	黒石市産業会館	1名
5日	旧正マッコ市振舞い事業	黒石市横町	1名
7日	令和4年度第11回役員会・第1回役員予定者会議	黒石市産業会館	8名

9 日	令和4年度第4回総務委員会	黒石商工会議所	3 名
1 1 日	第35回全国ずぐり回し選手権大会by冬のこみせ	松の湯交流館	2 名
1 8 日	日本Y E G 第42回全国大会美の国あきた大会	秋田県立武道館	4 名
2 4 日	令和4年度第2回臨時総会	グリーンパレス松安閣	2 8 名
2 4 日	2月定例会講師例会	グリーンパレス松安閣	1 4 名
3 月 7 日	令和4年度第12回役員会・第2回役員予定者会議	黒石商工会議所	8 名
1 1 日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第5回委員会	五所川原市民学習情報センター	2 名
1 1 日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第2回役員予定者会議	五所川原市民学習情報センター	4 名
1 1 日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第5回役員会	五所川原市民学習情報センター	5 名
1 1 日	青森県商工会議所青年部連合会令和4年度第2回臨時総会	五所川原市民学習情報センター	5 名
2 2 日	3月定例会卒業証書授与式	レストラン御幸	2 9 名
2 5 日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第8回役員会	弘前商工会議所会館	5 名
2 5 日	東北ブロック商工会議所青年部連合会第2回役員予定者会議	弘前商工会議所会館	1 名
3 0 日	令和4年度第6回交流委員会	赤提灯	7 名

(1 1) その他の会議等

小規模事業者経営改善資金審査会関連会議

黒石よされ実行委員会関連会議

黒石こみせまつり実行委員会関連会議

黒石りんごまつり実行委員会関連会議

7. 事 業

(1) 各種事業活動

① 黒石よされ

当初は例年通り、組踊り、流し踊り、廻り踊り等すべて開催する予定でしたが、年が明けても新型コロナウイルス感染症の感染拡大が治まらず、変異株「オミクロン株」も発生した。全国的に「まん延防止等重点措置」が適用され、4月には「第7波」となるなど開催内容決定について役員会で苦慮する状況が続いた。

結果的に、今年も寄付金、協賛金はお願ひすることなく、市の補助金予算内で実施できる企画とし、例年より会場等も縮小した流し踊りのみ実施することで決定された。

5月31日付で、県の危機対策本部より「イベント開催制限の考え方について」発表され、前年より緩和された内容となっていたため、流し踊り実施運営方法について協議を重ね準備を進めることとなった。

その後、観光庁より感染対策支援事業として「環境に配慮した持続可能な周遊観光促進事業」の公募が始まったため、実行委員会として申請することになり、250万円程の補助金交付が決定された。

黒石よされ開催初日は生憎の雨予想でしたが、警報は発表されていなかったため、三役会で最終確認し予定通り開催することで決定された。

予報通り雨となりましたが、参加者の中で帰る人は無く3年ぶりに流し踊りがスタートした。しかし、45分経過したあたりで風が吹き始め豪雨になってしまったため中断することになった。

二日目は小雨がありましたが、おどりはだりまで踊り続け、皆さん3年ぶりの黒石よされを満喫していた。

② 黒石こみせまつり

第37回黒石こみせまつりは9月10日～11日の2日間、中町・前町の通称「こみせ通り」と横町を会場に開催した。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「感染防止安全計画」を作成し、会場内に6ヶ所の検温所を設置した。イベントについては、AOMORI花嵐桜組の演舞や津軽三味線の演奏など第35回開催時には中止としたイベントを復活させ、コロナ禍前の規模で開催した（第36回は中止）。

今回も会場をエリア分けし、中町は風情を楽しむエリア、前町は手づくり品のエリア、横町は食のエリアとした。

中町では狐の嫁入り行列や正調黒石ねぷたばやしの演奏、烏城組有志会のねぷたの展示、ねぷた絵師の会（黒昇會）による30枚のねぷた絵の展示を実施した。ねぷた絵の展示については、雨や風を防ぐためアクリル板を使用し、夜

間はライトアップも行い、来場者は藩政時代の雰囲気を楽しんでいた。

前町では手づくり品を販売するテントが第35回より14店増え、30店が出店した。また、黒石神明宮において安全祈願祭、オープニングセレモニー、上十川獅子踊り、紅白もちの無料配布を実施した。

横町では県外から岩手県宮古市の蒸し牡蠣、秋田県大仙市のホルモン焼きが出店した。また、キッチンカーの出店も増え、いずれも人気であった。

両日快晴となり初日の入込数は5,516人、2日目の入込数は6,946人、2日間合計で12,462人となり第35回を1,000人ほど上回った。

黒石市中町地区の「こみせ」は伝統的建造物としての評価が高いうえに、昭和61年に「手づくり郷土賞」を受け、その通りは昭和62年に「日本の道百選」にも選定され、認識が高まっている。さらに、黒石市が平成17年1月に中町こみせ通りを伝統的建造物群保存地区として指定し、平成17年7月に文部科学大臣が重要伝統的建造物群保存地区に選定した。平成18年6月にはその都市景観とそこを舞台とした市民活動が積極的であることが認められ「美しいまちなみ優秀賞」を受賞している。

平成20年より黒石こみせまつり実行委員会の事業として開催している「全日本ずぐり回し選手権大会 by 冬のこみせ」は、令和5年2月11日に快晴の中、中町の「松の湯交流館駐車場」で開催し、35回目を数えた。また、今回も大会前に「ずぐり回し講習会」を開催し、大会本番への参加者の増加を図った。大会は、競技に先立ち、ホイドーズの鉄マンがずぐりの唄「ズグリング」で盛り上げ、全国各地から参加した約150人が津軽の伝統的な冬の遊びに興じた。競技終了後のデモンストレーションでは、「全日本独楽回しの会」が妙技を披露し、大会に華を添えた。

また、「津軽くろいし みんなの雪だるま」、「黒石市雪のうまい利用コンクール」、「雪の降るさと2023」も同時期に開催されており、全市的に雪を活用したイベント一色となった。

③ ふるさと産業展

前年度に屋外開催のみの形式で2年ぶりに開催した黒石りんごまつりについて、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を注視しつつ、開催可否について関係各団体からの意見を集約した。

その結果を踏まえ、7月6日(木)の黒石りんごまつり実行委員会総会にて、感染症対策を講じた上で屋内・屋外ともに例年通り開催に向けて準備し、感染状況を踏まえて10月上旬に臨時総会を行い、開催可否の最終判断を行うこととした。

その後、10月11日(火)の実行委員会臨時総会にて、11月19日(土)・20日(日)の2日間、スポカルイン黒石の屋内・屋外会場ともに開催するこ

とが決議された。

当所は祭事の一部門「ふるさと産業展」を担当し、16事業所が出店した。その他、3年ぶりに屋内会場においてステージイベントが開催された。

りんご市では、りんごをはじめとした農産物の販売のほか、新たに入会した飲食店による出店も行われ、主に市内からのお客様で早期完売する出店者が相次ぎ盛況で終える事ができた。また会場内に発送ブース(ヤマト運輸㈱と提携)を設置しており、りんご箱の発送件数は2日間で1,143箱と昨年を上回る数であった。

④ 会員大会

1月24日、グリーンパレス松安閣に約120名が出席し、例年行っている講演会を行わず、令和4年度永年勤続優良従業員表彰と新年祝賀会のみとして、十分な感染防止対策をとった上で、新春会員大会が開催された。

新潟会頭は挨拶の中で、永年勤続優良従業員表彰受賞者に対し、これまでの経験を活かして後進の指導・育成に注力され、黒石市全体の経済活性化にご尽力いただくことをお願いし、長年の功労を称えた。コロナ禍に加え県内各地で記録的大雨による甚大な被害や、世界規模でのインフレやロシアのウクライナ侵攻など経済活動へも大きな影響を与える中、当商工会議所では、会員の皆さまの事業の継続と安定を最優先と考え、職員一丸となって、経営相談や各種支援策の情報提供に努めるほか、全国の商工会議所や各支援機関と協力し、中小・小規模企業に対する迅速な支援施策の実現に取り組んでいることを述べた。

今年度の永年勤続優良従業員表彰では30年勤続の社会福祉法人五輪会、山口優美氏他20名の方々にご出席いただき、延べ42名が表彰され、新潟会頭より表彰状および記念品が贈呈された。

新年祝賀会では来賓を代表して、黒石市長代理として副市長 有馬喜代史氏より祝辞を頂戴した。また、中村公成総務委員長より令和5年度スローガン「ともに語らい さあ前進」と宣言があり、続いて青森県議会議員 鳴海恵一郎氏が音頭をとり地酒で乾杯した。2年ぶりの開催ということもあり、終始賑やかな会員大会となった。

⑤ 津軽くろいし みんなの雪だるま

中心商店街の活性化と雪国の魅力を全国にアピールするため平成12年から実施している市民総参加のイベントで23回目を迎えた。市民にもっと身近なイベントとして感じてほしいとの思いから、「津軽くろいし 日本一の雪だるま」の名称を変更して11年目となった。

さらに、19年前から「写真で審査 私の雪だるまコンテスト」も実施し、

多くの市民に自慢の雪だるまを披露する機会を設け、雪だるまを作品にまで高める効果を生み、イベントに厚みを加えている。応募作品は26点で前年に比べて増加し、家族の温かさや仲間との結束力が窺える作品も多く、趣向を凝らした作品や工夫して撮影した作品など思わず見入ってしまう魅力があった。

雪だるま写真展は、3月3日に表彰式を行い、3月2日から7日まで中町「松の湯交流館」にて展示した。マスコミの取材もあり、写真出展者はもちろん、買い物客や通勤・通学者が足を止めている姿が見られた。

⑥ サービス券付き市内飲食店パンフレット作成事業

【作成目的】

新型コロナウイルス感染症の影響により外出自粛が2年以上続いているが、ワクチン接種や治療薬の開発による今後の社会経済活動の回復を見据え、当事業を実施することによって、市内飲食業者・宿泊業者の事業継続、地域経済の発展につなげることを目的とし事業を実施した。

【事業効果】

黒石ねふた祭り開催前にパンフレットが完成したことから、掲載店舗は、観光客はもちろん近隣市町村の住民に対しても自店のPRが可能となり、コロナ禍であっても消費喚起策を講ずることができた。さらに、黒石よされ本部にて、ポスターを掲示し、パンフレットを配布したことによって、観光客に広くPRすることができた。

また、新聞記事に掲載されたことにより、電話での問い合わせが約30件あった。複数の掲載店舗から、特典を利用するお客さんが多く、すぐにパンフレットの在庫がなくなったとの声が聞かれた。

【作成部数】

5,000部

【仕 様】

フルカラー A5 全20ページ

【サービス券】

サービス券（パンフレット）持参者に対し、それぞれの店舗でサービスを実施する。サービス券の使用期限は2023年6月30日。

【配布範囲】

黒石市役所、黒石商工会議所、黒石観光協会、津軽伝承工芸館、津軽こけし



館、津軽こみせ駅、松の湯交流館、市内金融機関、市内公民館、市内スーパー、近隣市町村道の駅・観光施設、パンフレット掲載店など

※掲載店には30部発送

- ・黒石市産業振興補助金 1,287,250円

⑦ 伴走型小規模事業者支援推進事業

【事業の背景】

当事業は日本商工会議所の伴走型小規模事業者支援推進事業費補助金を活用し経営発達支援事業の一部を実施したもの（令和2年3月に経営発達支援計画の認定を受けた）

【事業内容】

- ・支援システムの導入：令和4年8月～令和5年2月

支援システム「BIZミル」のローカルベンチマーク機能を活用し、事業者と共に課題抽出、事業計画の策定を行った。事業者が画面を見ながら財務状況等の経年変化を確認できたため、現状把握が進み自社の課題に対応した有効な方策を検討することができた。

また、職員向けに「ローカルベンチマークを活用した経営支援に関する研修会」（日本商工会議所の制度改正等の課題解決環境整備事業を活用）を開催し、支援ノウハウの定着を図った。

- ・伴走型小規模事業者支援推進事業補助金 343,200円

⑧ 経営・技術強化支援事業（エキスパートバンク事業）事業

【事業目的】

専門的知識を有する者を事業所に派遣して経営課題に対する具体的・実践的指導を行うことにより、事業者の経営・技術力を強化することを目的とする。当事業は経営コンサルタントの少ない地域の事業者にとって、個別に専門家の助言・ヒントを得る契機ともなり、経営改善や経営計画の策定といった支援につなげる。

新型コロナウイルスの影響で社会のニーズが大きく変化していることや制度改正等への対応で、厳しい経営環境に置かれている小規模事業者も多いことから一層の支援に努める。

【事業内容】

経営・技術強化支援事業（旧エキスパートバンク）

・指導条件

エキスパートを年1回まで無料で派遣（1回3時間）

※経費の一部をご負担いただくことで指導を継続することが可能

・対象

県内商工会議所地域の小規模事業者（常時使用する従業員が、製造業
その他は20人以下、商業・サービス業は5人以下）

【利用実績】

2件（第一種動物取扱業者1件、自動車部品販売業1件）

・補助金 60,000円

⑨ 中心市街地活性化事業（黒石市中心市街地活性化協議会）

【第1回協議会】

開催日時 令和4年5月16日（月）

内 容 ①令和3年度事業報告並びに収支決算承認について
②令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）審議について
③任期満了に伴う委員、役員、会計監事の改選について
④令和3年度黒石市中心市街地活性化基本計画の変更について
⑤令和3年度定期フォローアップ報告について
⑥その他（国土交通省、経済産業省）

出席者数 委員25名（26名中）

⑩ 交流と情報交換の場「十日会」

「十日会」は昭和32年2月12日に官公庁の代表者と少数の商工業者の親睦団体「黒石経済懇談会」として、当時黒石商工会議所山下良作専務理事の発案で誕生した。その後、名称を「十日会」と改め現在に至っている。現在は会員26名（官公庁6名、金融機関5名、経済団体の長3名、報道機関3名、組合1名、その他商工業者8名）で構成され、異業種間の交流・親睦と情報交換の場として、存在意義は高い。

商工会議所会頭が代表幹事となり、毎月10日に定例会を開催し、地域振興のための情報や意見の交換があり大いに成果が上がっている。

(開催内容)

月	演 題	卓話者役職	卓話者氏名
4 月	歓送迎会及び昼食会		
5 月	我が国を取り巻く戦略環境と陸上自衛隊の取り組み ～国防の基本は「郷土」を守ること～	第 3 9 普通科連隊長兼弘前駐屯地 司令 1 等陸佐	天内 明弘
6 月	黒石に開業をして	㈱緑の大地・浜直卸商 海次郎 代表取締役	松山 三治
7 月	黒石市立図書館について	黒石市教育委員会 社会教育課 課長補佐	徳田 智樹
8 月	歓送迎会及び納涼会 ※豪雨のため中止		
9 月	東北初ダイヤモンド「半導体・オブ・ザ・イヤー2022 受賞」について	アダマンド並木精密宝石㈱ 代表取締役社長	並木里也子
10 月	現在の活動と今後の展望について	黒昇會 会長	今井 秋行
11 月	健康経営の取組について	アクサ生命保険㈱青森支社 支社長	大森 賢二
12 月	歓送迎会及び昼食会		
1 月	黒石に住んで感じたこと	黒石市国際交流員	キャメロン・ブリッド
2 月	統合そしてさらなる発展を目指して	青森県立黒石高等学校 校長	小野 淳美
3 月	東北電力の状況等について	東北電力㈱弘前営業所 所長	柴田 博靖

(2) 意見活動

月 日	陳情・要望、意見書提出先	陳 情 ・ 要 望 内 容
4月28日	青森県商工会議所連合会から青森県知事	1. 小規模事業対策予算及び中小企業連携組織対策予算の拡充・強化について
6月21日	青森県商工会議所連合会から青森県知事	1. 中小企業対策 (1) 新型コロナウイルス感染症拡大・長期化に伴う総合的な経済対策について (2) 中小企業対策の拡充強化について 2. 総合的な交通体系の整備促進 (1) 高規格幹線道路の建設促進並びに国道・主要地方道の整備促進について (2) 鉄道の整備促進について (3) 空港の整備促進について (4) 港湾施設の整備促進について 3. 街づくりの推進 (1) 中心市街地活性化をはじめとした総合的な街づくりの推進について 4. 観光振興 (1) 観光産業振興の推進について 5. 科学技術関連産業の振興
7月 (郵送対応)	東北六県商工会議所連合会から復興庁、国土交通省、経済産業省、農林水産省、文部科学省、財務省、厚生労働省、法務省、環境省、内閣府、外務省	1. 東日本大震災・原子力災害からの一日も早い復興の完遂を (1) 復興が完遂するまでの政府機関による継続支援 (2) 福島再生・原子力災害の克服と産業復興・地域再生の確実な推進 2. アフターコロナを見すえた東北経済の力強い再生を (1) 東北地域に根差した中小企業の再生支援 (2) 産業振興の原動力である労働力の確保への支援 (3) 観光振興など交流人口拡大に向けた支援強化 (4) 広域経済交流圏の構築に向けたインフラ整備の推進 (5) 東北地域における主要プロジェクトの推進
9月 2日	青森県商工会議所連合会から北海道旅客鉄道(株)代表取締役社長及び執行役員函館支社長	[重点要望項目] 1. 北海道新幹線の青函共用走行区間における更なる高速化と安全確保について 2. ポストコロナに向けた誘客の強化について 3. 北海道新幹線の輸送サービスの維持と利便性向上について 4. 北海道新幹線へのアクセス等の利便性向上について [要望項目] 1. 北海道新幹線における料金について 2. JR北海道の本県内への拠点の設置について
9月 5日	青森県商工会議所連合会から東日本旅客鉄道(株)代表取締役社長	[重点要望項目] 1. 豪雨災害からの早期普及について 2. 輸送サービスの維持について 3. ポストコロナに向けた誘客の強化と利用者サービスの向上について 4. 東北新幹線・北海道新幹線の更なる高速化について 5. 東北新幹線・北海道新幹線へのアクセス等の利便性向上について

		<p>[要望項目]</p> <p>1. 奥羽本線の利便性向上と早期復旧について</p> <p>2. 大湊線の利便性向上について</p>
1月18日	東日本大震災沿岸部被災地区商工会議所連絡会から日本商工会議所会頭	<p>1. 東日本大震災・原子力災害からの復興の完遂を</p> <p>(1) 復興が完遂するまでの政府機関による継続支援</p> <p>(2) 福島再生・原子力災害の克服と産業復興・地域再生の確実な推進</p> <p>2. 逆境に強い東北経済の構築を</p> <p>(1) 東北の中小企業の再生支援</p> <p>(2) 産業振興の原動力である労働力確保への支援</p> <p>(3) 観光振興など交流人口拡大に向けた支援強化</p> <p>(4) 広域経済交流圏の構築に向けたインフラ整備の推進</p> <p>(5) 東北地域における主要プロジェクトの推進</p>
2月 3日	黒石商工会議所から黒石市長	<p>[最重点要望事項]</p> <p>1. 黒石市人口減少対策支援策のさらなる周知及び住宅新築・購入に係る一部経費を補助する制度の創設、子育て世代への支援策の充実について</p> <p>[重点要望事項]</p> <p>1. 新型コロナワクチン接種副反応による後遺症患者のためのサポート窓口の設置並びに高齢者や障害者等が罹患した際の体制づくりについて</p> <p>2. 黒石市制度融資保証料の増額について</p> <p>3. マイナンバーカードの利便性を高める自治体サービスについて</p> <p>4. 原油価格の高騰に対する支援金等の給付について</p> <p>5. 創業、事業承継支援について</p> <p>6. ふるさと納税返礼品の充実及び企業版ふるさと納税への周知・協力について</p> <p>7. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について</p> <p>8. 黒石市内の観光地における無料の公衆無線LANの設置について</p>
3月 8日	東北六県商工会議所連合会から渡辺復興大臣	<p>東日本大震災からの「復興・創生」に関する要望</p> <p>1. 「創造的復興」の実現に向けた取組の加速・深化</p> <p>2. 福島再生・原子力災害の克服</p>

(3) 調査研究

調査時期	件 名	内 容
9月15日(木) 9月18日(日)	通行量調査	市内主要地点における車輛(18地点)及び歩行者(7地点)の通行量を把握し、経営相談指導の基礎資料とすることを目的に実施した。

(4) 広 報

① 刊 行

定期刊行物

・商工くろいし 通算349号(令和5年3月現在)

発行部数 33,800部

配布範囲 会員、関係機関及び団体、来所者、一般市民

② 放送・映画作成等

なし

(5) 証明・鑑定・検査

① 証 明

a 貿易関係証明 5件

b 国内取引関係証明 なし

c 検定合格証明書(簿記検定) なし

d 検定合格証明書(珠算検定) なし

② 鑑 定

なし

③ 検 査

なし

(6) 信用調査

なし

(7) 各種行事

① 永年勤続優良従業員表彰式

開 催 日 1月24日

開催場所 グリーンパレス松安閣

内 容 会員事業所に勤務している従業員を対象に、10年、15年、20年、25年、30年以上の5段階の区分で42名の優良従業員を表彰した。

出 席 者 約120名

② 旧正マッコ市

開催日 2月5日

内容 商店街等で早朝5時に各商店が一斉に開店。買い物客には商品の値引きの他、各商店オリジナルのマッコが贈られた。主催は黒石商店街協同組合で商工会議所は後援している。

参加人員 約6万2千名

③ 金融懇談会

開催日 3月24日

開催場所 黒石商工会議所会頭室

内容 黒石市商工観光部、市内金融機関、県信用保証協会、会頭及び副会頭、専務理事、小規模事業者経営改善資金審査会委員が参加し、令和5年度黒石市小口資金特別保証制度要綱（案）、令和5年度黒石市事業活性化資金特別保証制度要綱（案）並びに令和5年度黒石市中小企業信用保証料補給金交付要綱（案）について協議し、原案通り決定した。その後、最近の金融情勢等について意見交換した。

出席者 18名

④ 観光行事

a 黒石よされ

開催日 8月15日～16日

開催場所 市内中心市街地

参集人員 約5千人

b 黒石こみせまつり

開催日 9月10日～11日

開催場所 中町・前町・横町

参集人員 約1万2千人

c 黒石りんごまつり

開催日 11月19日～20日

開催場所 スポカルイン黒石

参集人員 約7千人

d 全日本ずぐり回し選手権大会 by 冬のこみせ

開催日 2月11日

開催場所 中町

参集人員 約2百人

⑤ 講演会

新春会員大会

開催日 1月24日（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演会を省略）

⑥ 講習会・説明会

開催日	名称	講師	出席人数
4月26日 ～1月27日	専門家による経営相談会	(株)マネジメントパートナー・アオモリ 代表取締役 千葉 裕仁 氏 行政書士おさないよろず法務事務所 代表 長内 康之 氏 鈴木社会保険労務士・行政書士 事務所 代表 鈴木 清公 氏	260名
7月13日	夏の一泊公庫・ 事業承継個別相談会・融資相談会	青森県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター 齋藤 拓也 氏 青森県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター 神 昭光 氏 (株)日本政策金融公庫弘前支店 上席課長代理 若松 大輔 氏 (株)日本政策金融公庫弘前支店 課長代理 高山 航誓 氏	15名
8月23日	「消費税インボイス制度 基礎の基礎」【1回目】	三上一税理士事務所 税理士 三上 一 氏	20名
9月14日	「消費税インボイス制度 基礎の基礎」【2回目】	三上一税理士事務所 税理士 三上 一 氏	21名
10月27日	小規模事業者持続化補助金対応 経営計画作成支援オンライン セミナー	コンサルティング・シスト 代表 伊藤 慎悟 氏	8名
11月 9日	冬の一泊公庫・ 事業承継個別相談会・融資相談会	青森県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター 齋藤 拓也 氏 青森県事業承継・引継ぎ支援センター エリアコーディネーター 神 昭光 氏 (株)日本政策金融公庫弘前支店 上席課長代理 若松 大輔 氏	7名
11月18日	小規模事業者持続化補助金 経営計画作成支援オンライン 個別相談会	コンサルティング・シスト 代表 伊藤 慎悟 氏	4名
1月13日	「消費税インボイス制度」 セミナー	黒石税務署 上席国税調査官 中井 信哉 氏	15名
1月18日	「消費税インボイス制度」 個別相談会【1回目】	三上一税理士事務所 税理士 三上 一 氏	5名
1月24日	「消費税インボイス制度」 個別相談会【2回目】	三上一税理士事務所 税理士 三上 一 氏	3名
1月28日	黒石こみせまつり実行委員会 ずぐり回し講習会	ずぐり回し大会審判長 相馬 大輔 氏	40名
3月 3日	税理士会による税務支援	東北税理士会弘前支部所属 税理士 三上 一 氏	44名

⑦ 視 察

開催日 9月8日

場 所 秋田県鹿角市

内 容 澄川地熱発電所訪問し、施設内容や管理体制等について説明を受け、意見交換を行った。

参加者 黒石地区エネルギー問題懇談会会員12名が参加。

⑧ 親善・福祉

当該年度において、親善・福祉は行われなかった。

⑨ 後援・協賛行事

開 催 日	名 称	備 考
4月 1日	第4回くろいしの短歌コンテスト（～11月2日）	後 援
2 3日	第27回東公園さくら山桜植樹	協 賛
6月 1 1日	こでんてんin黒石こみせ 手しごとアート展（～12日）	共 催
1 8日	第15回古都ひろさき花火の集い	協 賛
2 6日	1,000,000人のキャンドルナイト@KUROISHI CITY 2022	共 催
7月 2 0日	令和4年度第1回創業支援セミナー	共 催
9月 5日	黒養ワークトレーニング社(模擬会社)（～16日）	共 催
1 0月 3 1日	令和4年度黒石菊花展（～11月3日）	協 賛
1 2月 1 3日	新入・若手社員スキルアップ オンラインセミナー（～16日）	後 援
1 4日	令和4年度第2回創業支援セミナー	共 催
2 0日	第62回黒石市民福祉大会	協 賛
2月 1 1日	第35回全日本ずぐり回し選手権大会by冬のこみせ	協賛・後援
3月 1 0日	令和4年度黒石市事業承継セミナー	共 催

(8) 技術技能の普及検定

① 検 定

a 珠算検定

回 次	実施月日	人数	1級	準1級	2級	準2級	3級	準3級	4級	5級	6級	7級	8級	9・10級	合計
下級検定	4月10日	受験者数	-	1	-	0	-	0	0	1	1	3	7	0	13
		合格者数	-	1	-	0	-	0	0	1	1	3	7	0	13
第225回	6月26日	受験者数	5	2	4	3	5	2	2	1	3	8	2	0	37
		合格者数	4	1	4	3	5	0	1	1	3	8	2	0	32
下級検定	8月 7日	受験者数	-	0	-	1	-	0	4	0	4	3	1	0	13
		合格者数	-	0	-	1	-	0	4	0	4	3	1	0	13
第226回	10月23日	受験者数	1	2	1	1	1	2	4	4	6	3	0	0	25
		合格者数	1	2	1	1	1	2	4	4	6	3	0	0	25
下級検定	12月11日	受験者数	-	3	-	3	-	0	1	0	5	3	2	0	17
		合格者数	-	2	-	1	-	0	1	0	5	3	2	0	14
第227回	2月12日	受験者数	3	2	4	2	6	0	4	7	3	0	0	0	31
		合格者数	3	2	3	2	6	0	4	7	3	0	0	0	30
合 計		受験者数	9	10	9	10	12	4	15	13	22	20	12	0	136
		合格者数	8	8	8	8	12	2	14	13	22	20	12	0	127

b 暗算検定

実施月日	人数	1級	準1級	2級	準2級	3級	準3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	合計
4月10日	受験者数	0	2	1	2	1	0	2	3	4	0	0	0	0	15
	合格者数	0	2	1	2	1	0	2	3	4	0	0	0	0	15
6月26日	受験者数	0	1	1	2	2	0	3	0	7	0	0	0	0	16
	合格者数	0	1	1	2	2	0	3	0	7	0	0	0	0	16
8月 7日	受験者数	0	2	0	0	3	0	2	1	2	1	0	0	0	11
	合格者数	0	2	0	0	3	0	2	1	2	1	0	0	0	11
10月23日	受験者数	1	2	0	1	0	0	4	6	6	1	0	0	0	21
	合格者数	1	2	0	1	0	0	4	6	6	1	0	0	0	21
12月11日	受験者数	0	1	3	2	5	0	2	1	0	0	0	0	0	14
	合格者数	0	0	3	2	5	0	2	1	0	0	0	0	0	13
2月12日	受験者数	3	2	2	4	2	2	6	5	1	2	0	0	0	29
	合格者数	3	2	2	4	2	2	6	5	1	2	0	0	0	29
合 計	受験者数	4	10	7	11	13	2	19	16	20	4	0	0	0	106
	合格者数	4	9	7	11	13	2	19	16	20	4	0	0	0	105

c 段位認定

回 次	実施月日	人数	準初段	初段	準2段	2段	準3段	3段	4段	5段	計
第 1 3 5 回	6 月 2 6 日	受験者数									3
		合格者数		1	1	1					3
第 1 3 6 回	1 0 月 2 3 日	受験者数									0
		合格者数									0
第 1 3 7 回	2 月 1 2 日	受験者数									2
		合格者数		1		1					2
合 計		受験者数									5
		合格者数		2	1	2					5

d 簿記検定

回 次	実施月日	人数	1級	2級	3級	計
第 1 6 1 回	6 月 1 2 日	受験者数	2	6	16	24
		合格者数	0	1	9	10
第 1 6 2 回	1 1 月 2 0 日	受験者数	4	3	11	18
		合格者数	0	1	2	3
第 1 6 3 回	2 月 2 6 日	受験者数	－	2	9	11
		合格者数	－	1	4	5
合 計		受験者数	6	11	36	53
		合格者数	0	3	15	18

e 商工会議所ネット試験

なし

(9) 取引紹介(照会を含む)あっせん

- ① 国内取引 なし
- ② 国外取引 なし

(10) 取引紛争のあっせん・調停・仲裁 (クレーム相談も含む)

なし

(1 1) 経営改善普及事業

① 巡回指導、窓口指導（年間件数）

業 種	指導対象 企業数	巡回指導									
		経営 革新	経営 一般	情報 化	金融	税 務	労 働	取引	環境 対策	その 他	計
製造業	4	0	6	0	0	0	0	0	0	1	7
建設業	29	0	58	9	8	63	6	0	0	16	160
小売業	46	0	83	0	9	81	13	0	0	6	192
卸売業	6	0	13	0	0	11	1	0	0	1	26
サービス業	40	1	79	8	23	93	4	0	0	5	213
その他	9	0	68	0	0	24	7	0	0	5	104
創業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	134	1	307	17	40	272	31	0	0	34	702

業 種	指導対象 企業数	窓口指導（通信等によるものを含む。）									
		経営 革新	経営 一般	情報 化	金融	税 務	労 働	取引	環境 対策	その 他	計
製造業	8	0	32	0	3	7	9	0	0	0	51
建設業	78	3	94	32	24	195	47	0	0	8	403
小売業	76	0	131	0	16	140	43	0	0	9	339
卸売業	9	0	14	0	5	14	4	0	0	0	37
サービス業	67	0	106	12	24	75	47	1	0	3	268
その他	13	0	26	0	1	14	8	0	0	4	53
創業	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
計	253	3	405	44	73	445	158	1	0	24	1,153

② 講習会等の開催による指導(年間件数)

	経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
集団指導回数	0	1	0	0	3	0	0	0	0	4
集団指導人数	0	8	0	0	56	0	0	0	0	64
個別指導回数	0	1	0	2	2	0	0	0	0	5
個別指導人数	0	4	0	22	8	0	0	0	0	34

③ 金融のあっせん

区 分		あっせん件数	あっせん金額（千円）	貸付決定件数	貸付決定金額（千円）
日本政策金融公庫	マル経	9	44,500	9	44,500
	創 業	0	0	0	0
	事業承継	0	0	0	0
	その他	10	103,200	8	83,200
合計		19	147,700	17	127,700

④ 小規模事業者経営改善資金審査会

審査委員長 桑田泰孝

審査委員 盛 孝、中村公成、三上 一、宇野正行、三上昌一

審査会開催数 2回

⑤ 一日日本政策金融公庫相談

開催日 7月13日、11月9日

開催場所 黒石商工会議所相談室他

相談員 (株)日本政策金融公庫弘前支店、青森県事業承継・引継ぎ支援センター

相談件数 22件

⑥ 記帳指導

記帳専任職員	3人
同記帳指導回数	603回
指導対象小規模事業者数	133事業所

⑦ 小規模納税者に対する税務支援

開催日 3月3日

開催場所 黒石商工会議所相談室

相談員 三上 一税理士

相談件数 44件

⑧ 社会保険の事務代行

代行事務の種類	委託事業者数	対象従業員数
労働保険事務	92件	482人

※小規模企業共済加入者数 85人

※経営セーフティ共済加入者数 18人

⑨ 小規模企業振興委員

村元慎治 (㈲ムラモト自動車工業)

大溝千秋 (フラワーデザイン Flowers)

長内康之 (行政書士おさない よろず法務事務所)

福士裕康 (BookShop かえで)

⑩ 小規模企業振興委員連絡会議

開催日時	開催場所	出席者数	議 題
10月20日 午後1時30分	会頭室	8名	① 上半期の活動について ② 各業界の動向、景況感について ③ その他
3月23日 午後1時30分	会頭室	8名	① 下半期の活動について ② 各業界の動向、景況感について ③ その他

⑪ 黒石市創業相談ルーム

開催日 第1・3木曜日

開催場所 黒石商工会議所相談室

相談員 公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター 齋藤拓也 I M

相談件数 38件

創業件数 2件

(12) 企業診断

なし

(13) 受託事業

① 事業環境変化対応型支援事業

- ・委託団体名 日本商工会議所
- ・業務の内容

新型コロナウイルス感染症や最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入、物価高騰等の影響を受ける中小企業・小規模事業者からの経営相談や各種申請等の対応を行うため、相談員を配置し、窓口での相談対応や相談会の開催、企業派遣等を行う事業を実施した。

相談会名	専門家による経営相談会	
コンサルタント名（団体名）	①株式会社マネジメントパートナー・アオモリ 代表取締役 千葉 裕仁 氏 ②行政書士おさないよろず法務事務所 代表 長内 康之 氏 ③鈴木社会保険労務士・行政書士事務所 代表 鈴木 清公 氏	
開催年月日	令和4年 4月 26・27・28日 令和4年 5月 6・10・11・13・17・18・20・24・25・27・31日 令和4年 6月 1・ 3・ 7・ 8・10・14・15・17・21・22・24・28・29日 令和4年 7月 1・ 5・ 6・ 8・12・13・15・19・20・22・26・27・29日 令和4年 8月 2・ 3・ 5・ 9・10・12・16・17・19・23・24・26・30・31日 令和4年 9月 2・ 6・ 7・ 9・13・14・16・20・21・27・28・30日 令和4年10月 4・ 5・ 7・11・12・18・19・21・25・26・28日 令和4年11月 1・ 2・ 4・ 8・ 9・10・11・15・16・18・22・25・30日 令和4年12月 2・ 5・ 6・ 7・ 9・13・14・16・20・21・23・27・28日 令和5年 1月 4・ 6・10・11・13・17・18・20・24・26・27日 【各38日 合計114日間】 相談時間：午前9時30分～午後4時30分（昼休憩1時間）	
開催場所	黒石商工会議所内 相談室	
受講料	無料	
相談者数	延べ260名 (相談数)	
制度内容	1	【インボイス制度】 (14名)
	2	【小規模事業者持続化補助金】 (26名)
	3	【事業再構築補助金】 (39名)
	4	【経営力向上計画】 (1名)
	5	【労働基準法関連】 (33名)
	6	【社会保険・年金関連】 (11名)
	7	【建設業決算等届出関連】 (10名)
	8	【事業復活支援金】 (42名)
	9	【あおもり飲食店感染防止対策認証制度】 (1名)
	10	【中小企業者等燃料価格高騰対策支援金】 (19名)
	11	【その他】事業承継、相続、資金繰り等経営上のお悩み (64名)

効 果	<p>昨年に引き続き「専門家による個別相談窓口」を令和4年4月から令和5年1月までの期間（曜日別に3名の専門家が対応）合計114日間、個別相談窓口を開設した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症により影響を受けている中小企業・小規模事業者に対して、事前予約により個別に相談対応していただいた。制度の内容が濃い相談に関しては、同一の事業者が複数回にわたり相談に訪れていた。</p> <p>近隣市町村の事業者も含め、【事業再構築補助金】の採択2件、【持続化補助金】の採択が8件あった。事業者の相談に対して、的確に個別対応をしていただく事により事業継続を支援した。</p>
-----	---

・受託料 8,079,709円

② 制度改正等の課題解決環境整備事業

- ・委託団体名 日本商工会議所
- ・業務の内容

働き方改革関連法などの労働法制、税制度、民法等の制度改正、新型コロナウイルス感染症に対する支援施策等による諸課題への対応やグリーン・デジタルなどの成長分野における生産性向上に向け、講習会の開催、パンフレット等による周知・広報、相談窓口の設置、企業派遣の実施、専門家の派遣等を行う事業を実施することにより、制度改正等に伴い対応が必要となる小規模事業者・中小企業等が円滑かつ適正に諸課題に対応できる環境を整備することができるよう支援する。

番号	実施内容	実績報告
1	制度改正等に関する講習会・セミナー等の開催	<p>【～小規模事業者持続化補助金対応～ 経営計画作成支援オンラインセミナー】</p> <p>開催場所：オンラインセミナー「会頭室」 参加者 8名 オンライン個別相談会「相談室」 相談者 2名 講 師：コンサルティング・シスト 代表 伊藤 慎悟</p>
2	小規模事業者・中小企業への広報	黒石商工会議所広報紙「商工くろいし」にて周知。地元新聞社に記事として掲載。
3	経営指導員等向け研修会の開催	<p>【ローカルベンチマーク実践研修】</p> <p>開催場所：「ホテル逢春」全2回、 参加職員数 各8名 講 師：(株)マネジメントパートナー・アオモリ 代表取締役 千葉 裕仁</p>

※【ローカルベンチマーク】とは

人の「健康診断」が、定期的に自分の健康状態を確認することで病気の予防や早期発見に役立てるものであるように、企業も同様に定期的に「健康診断」を行い、早期の課題発見・具体的支援につなげていくことを期待する「診断ツール」。

『経済産業省』

・受託料 865,003円

③ 事業復活支援金

- ・委託団体名 中小企業庁
- ・業務の内容

申請希望者が事業を実施しており、かつ給付対象等を正しく理解しているか等を事前に確認する「登録確認機関」として、会員事業所を対象に支援金事務局が定める形式的な確認を実施した。

- ・事前確認事務受託料 344,000円
(全部確認@2,000×2件=4,000円、一部確認@1,000×340件=340,000円)

④ 小規模事業者持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金事業

- ・委託団体名 日本商工会議所
- ・業務の内容

a 小規模事業者持続化補助金

小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するために取り組む販路開拓等の取組の経費の一部を補助することにより、地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とする。

補助金額：＜通常枠＞50万円

補助率：＜通常枠＞3分の2

【令和4年度中の申請数と採択数について】

＜通常枠＞

申請数合計：7件 採択数合計：6件 ※審査中1件

＜創業枠＞

申請数合計：1件 採択数合計：1件

＜卒業枠＞

申請数合計：1件 採択数合計：1件

【採択事業所の取り組み事例】

機械等導入、パンフレット制作、看板制作、チラシ作成・新聞折込、ホームページ開設、店舗改装

- ・形式審査受託料

令和4年分 39,600円 (@2,200円×18件)

b ものづくり補助金（ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金）

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するもの。

補助金額：＜通常枠＞１００万円～１，２５０万円 ※従業員規模による

補助率：＜通常枠＞２分の１ ※小規模事業者は３分の２

・令和４年度中の申請数と採択数について

申請数合計：１件 採択数合計：１件

c 事業再構築補助金

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売上の回復が期待し難い中、ウィズコロナ・ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援することで、日本経済の構造転換を促すことを目的とする。

補助金額：＜通常枠＞１００万円～８，０００万円 ※従業員規模による

補助率：＜通常枠＞２分の１ ※小規模事業者は３分の２

・令和４年度中の申請数と採択数について

申請数合計：４件 採択数合計：２件 ※審査中２件

8. 登 録

(1) 法定台帳

① 作成（又は訂正）年月日

着手の時期 令和4年4月 1日

完成の時期 令和5年3月31日

② 該当基準

従業員の数が20人以上（商業・サービスは5人以上）又は資本金が300万円以上の事業所

③ 登録業者数

区 分	業者数
個 人	
法 人	185事業所
合 計	185事業所

(2) 法定台帳の運用

法定台帳を商取引のあっせん、信用調査その他商工会議所の事業の実施に有効適切に活用

9. 会館・事務所等

(1) 土 地

所有地 黒石市大字市ノ町5ノ2 面 積 923.21㎡

(2) 建 物

黒石市産業会館（黒石市市ノ町5ノ2）二階フロア（290㎡）及び四階の一部（55㎡）を黒石市より借り受け使用。

(3) 施 設

二階フロアの概要

区 分	室 数	面 積	備 考
事 務 室	1	144.5㎡	
会 頭 室	1	79.5㎡	役員室
ミーティングルーム	1	17.5㎡	
相 談 室	3	31.5㎡	
更 衣 室	2	17.0㎡	男女各1
計	8	290.0㎡	

ミーティング ルーム	更衣室	更衣室	男 トイ レ	階 段	会 頭 室 (役 員 室)
事 務 室				E V ホール	会 員 サ ロ ン
相 談 室 A	相 談 室 B	相 談 室 C	湯 沸	女 トイ レ	階 段
				湯 沸	婦人研修室 (和室)

10. 関係団体の加入及び連携

(1) 日本商工会議所

- ① 会頭が令和4年10月31日まで産業経済委員会委員、中小企業委員会委員、税制委員会委員となっている。また、令和4年11月17日から産業経済委員会委員、中小企業委員会委員、税制委員会委員となっている。
- ② 意見具申、調査等連携をとって随時指導を受けている。事業の委託・共催・後援を得て、運営の強化をはかっている。
- ③ 会議出席状況

開催日	名 称	開催場所	出席者
4月26日	中小企業デジタル化支援のためのキックオフセミナー	オンライン	工藤専務理事他
5月19日 ～20日	第74回全国商工会議所専務理事・事務局長会議	オンライン	工藤専務理事他
7月29日	第9回商工会議所経営指導員 全国研修会(支援力向上全国フォーラム) (特定商工会議所中小企業相談所直面問題会議)「経営指導員支援ノウハウ・事例発表会」～日本商工会議所創立100周年関連事業～	オンライン	古川課長
9月15日	日本商工会議所創立100周年記念「第135回通常会員総会」	帝国ホテル	糸田副会頭他
16日	日本商工会議所創立100周年記念式典	東京国際フォーラム	糸田副会頭他
11月 1日・2日・8日	2022年度「文書読解力・作成技術向上研修」～「伴走支援に資するスキルアップ研修シリーズ」第4弾～	オンライン	古川課長
17日	日本商工会議所臨時会員総会	オンライン	工藤専務理事
3月16日	第136回通常会員総会	帝国ホテル	糸田副会頭他

(2) 東北六県商工会議所連合会

- ① 専務理事が幹事となっている。
- ② 運営について指導を受けているほか、事業推進強化のため連携をとっている。
- ③ 会議出席状況

開催日	名 称	開催場所	出席者
6月 6日 ～7日	2022年度東北六県商工会議所連合会「新人職員研修会」	㈱あきた芸術村	大平主事
22日 ～23日	2022年度東北六県商工会議所連合会「共済担当職員研修会」	ホテルニューキャッスル	小笠原係長他
7月12日 ～13日	東北六県商工会議所連合会定期総会	八戸グランドホテル	新岡会頭他
9月 2日	第55回北海道・東北商工会議所連絡会議	函館国際ホテル	糸田副会頭他
12月 8日 ～9日	2022年度東北六県下商工会議所中小企業相談所長会議及びブロック別中小企業支援先進事例普及研修会	八戸グランドホテル	古川課長
2月 9日 ～10日	2022年度商工会議所東北ブロック会議・運営研究会	グランド平成	工藤専務理事

(3) 青森県商工会議所連合会

- ① 会頭が理事、専務理事が幹事となっている。
- ② 運営について指導を受けているほか、事業推進強化のため連携をとっている。
- ③ 会議出席状況

開催日	名 称	開催場所	出席者
4月 6日	県連幹事会	オンライン	工藤専務理事
5月23日	青森県珠算連盟臨時常任理事会	オンライン	山口囑託職員
6月21日	令和4年度青森県商工会議所連合会役員会・総会・第69回会員大会	ホテルニューキャッスル	新岡会頭他
7月 3日	2022年そろばんグランプリ・青森	リンクステーションホール青森	山口囑託職員
8月26日	第32期日商議員選挙 青森県連候補者推薦に係る書面決議	書面決議	
30日	県連共済制度担当者連絡会議	オンライン	小笠原係長他
9月 5日	中小企業相談所長及び補助金担当者会議	青森商工会議所	古川課長他
15日	令和4年度共済制度担当者県外研修	長野商工会議所他	三上事務局長他
～16日			
10月18日	県連幹事会	十和田商工会議所	工藤専務理事
11月 1日	青森県商工会議所連合会役員退任に伴う新役員選任	書面表決	
12月16日	県連事務局長会議	青森商工会議所	三上事務局長
26日	県連共済制度担当者連絡会議	オンライン	小笠原係長他
1月16日	令和5年度生命共済・福祉制度県下統一キャンペーン	書面表決	
16日	県内商工会議所中小企業相談所長会議	青森商工会議所	古川課長
2月 1日	県連幹事会	ホテル青森	工藤専務理事
1日	令和4年度第2回「知事と商工三団体との懇談会」	ホテル青森	新岡会頭他
13日	県連共済事業に関する専務理事会議	ホテル青森	工藤専務理事
13日	青森県商工会議所連合会「経理担当職員研修会」	青森商工会議所	小笠原係長他
～14日			
3月 7日	定期航空路線を活用した交流推進事業	神戸商工会議所・白鶴酒造(株)	新岡会頭他
～8日			
20日	令和4年度県連生命共済統一キャンペーンおよびBWC福祉制度キャンペーン表彰式	ホテル青森	工藤専務理事他
22日	県内商工会議所中小企業相談所長会議	青森商工会議所	鳴海係長

(4) (一社)東北経済連合会

- ① 商工会議所は産業経済委員会、地域政策委員会委員となっており、随時連携をとって事業推進強化を図っている。
- ② 会議出席状況

開催日	名 称	開催場所	出席者
1月26日	津軽地区会員懇談会	アートホテル弘前シティ	糸田副会頭

(5) その他の諸会議等

開催日	名 称	開催場所	出席者
4月13日	(一社)黒石地区労働基準協会第1回役員会(理事会)	富士見館	工藤専務理事
15日	令和3年度小規模事業経営支援事業費補助金実績ヒアリング	青森県庁	古川課長他
21日	(一社)青森県発明協会令和4年度第1回臨時総会	書面議決	
24日	令和4年度黒石市青少年少女発明クラブ企画運営委員会	黒石市スポーツ交流センター	工藤専務理事
5月10日	令和4年度第1回青森県事業承継ネットワーク会議	ホテル青森	工藤専務理事他
16日	令和4年度第1回黒石市中心市街地活性化協議会	黒石市産業会館	新岡会頭他
18日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第1回理事会・第62回通常総会	ウエディングプラザアラスカ	工藤専務理事
19日	(一社)黒石地区労働基準協会令和4年度定時会員総会	グリーンパレス松安閣	工藤専務理事
20日	第57回津軽3市共済担当者連絡会議	黒石市産業会館	小笠原係長他
20日	黒石つゆやきそば伝紹会令和4年度会員総会	黒石市産業会館	豊巻課長補佐
24日	新規高等学校卒業予定者に係る早期採用活動	黒石市産業会館	新岡会頭他
26日	弘南鉄道利用促進部会監査	黒石市産業会館	古川課長
24日	(一財)黒石市観光開発公社第17回評議員会	黒石市役所	工藤専務理事
6月1日	令和4年度青森県鉄道整備促進期成会総会	書面協議	
3日	青森県火災共済協同組合令和4年度第1回理事会	青森県火災共済会館	新岡会頭
7日	アクサ生命保険㈱青森支社BWC・SCIキャンペーン中間KOM	オンライン	工藤専務理事他
7日	黒石地区エネルギー問題懇談会理事会	黒石市産業会館	新岡会頭他
7日	津軽港利用促進協議会「幹事会」	鯉ヶ沢町山村開発センター	工藤専務理事
7日	中小企業支援担当者等研修専門研修	中小企業大学校東京校	鳴海係長
～9日			
10日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第1回業務推進委員会	オンライン	西沢係長
10日	弘南鉄道活性化支援協議会利用促進部会 令和4年度第1回ワーキンググループ	弘南線平賀駅構内 車両	豊巻課長補佐
16日	青森県火災共済協同組合令和4年度第69回通常総代会	ホテル青森	新岡会頭
16日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第1回労働災害保険委員会	オンライン	西沢係長
24日	令和4年度第1回小規模事業者経営改善資金 推薦団体連絡協議会	弘前商工会議所	古川課長他
27日	青森県珠算連盟臨時常任理事会	オンライン	山口囑託職員
27日	令和4年度労働保険事務組合事務担当者研修会	オンライン	寺山囑託職員
27日	黒石こみせまつり実行委員会総会	黒石市産業会館	新岡会頭他
27日	黒石地区エネルギー問題懇談会令和4年度定時総会	グリーンパレス松安閣	新岡会頭他
28日	令和4年度第1回小企業者記帳指導協議会	黒石税務署	古川課長他
30日	令和4年度第1回経営指導員等研修会	ホテル青森	古川課長他
～7月1日			
7月6日	令和3年度黒石りんごまつり実行委員会総会	黒石市産業会館	新岡会頭他
6日	令和5年3月新規高等学校卒業予定者企業説明会	グリーンパレス松安閣	寺山囑託職員
6日	令和4年度青森県産業教育振興会中南地区協議会総会	弘前商工会議所	工藤専務理事
7日	ベストウイズクラブ「第37回優良商工会議所 三重県連視察」	四日市市文化会館	工藤専務理事
～8日			
14日	令和5年3月新規高等学校卒業予定者企業説明会	青森県武道館	寺山囑託職員
14日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第1回労働保険未手続事業一掃推進員研修会	オンライン	西沢係長
20日	令和4年度青森空港国際化促進協議会定例総会	書面決議	
20日	令和4年度第1回創業支援セミナー 創業計画 書の作り方	オンライン	古川係長
21日	(公社)黒石法人会 インボイス制度と電子帳簿 保存法改正セミナー	スポカルイン黒石	後藤主事他
21日	第16回弘南鉄道活性化支援協議会総会	JA津軽みらい会館	三上事務局長

21日	令和4年度創業・起業座談会及び支援制度説明会	黒石市産業会館	古川係長
22日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 黒石地区協議会通常総会	つがるの食彩 野田	新岡会頭他
25日	青森県高規格道路建設促進期成会令和4年度総会	書面開催	
28日	第80回国民スポーツ大会黒石市準備委員会 設立発起人会	黒石市役所	新岡会頭
29日	令和4年度黒石地区暴力追放推進協議会総会	書面議決	
29日	令和4年度第1回黒石市健康づくり推進協議会	黒石市産業会館	糸田副会頭
8月 5日	(一社)青森県発明協会令和4年度第2回臨時総会	書面決議	
5日	令和4年度第1回黒石市地域ケア推進会議	黒石市産業会館	厚生福祉部会 副部会長 八木橋旬一 糸田副会頭他
25日	弘前、黒石、五所川原の3市3商工会議所及び日本 公庫弘前支店「事業承継支援に関する覚書」締結式	弘前商工会議所	
26日	第58回津軽3市共済担当者連絡会議	弘前商工会議所	小笠原係長他
29日	商工会議所の皆さま向け研修会BWCキャンペーン Part2に向けて～	オンライン	小笠原係長他
29日	～事業再構築補助金～認定支援機関向け説明会	オンライン	古川課長
30日	弘前・黒石・五所川原商工会議所中小企業相談所 小規模事業者支援に関わる情報交換会	弘前商工会議所	古川課長他
9月 6日	労働保険事務組合担当者並びに委託事業所に 対する「働き方改革関連法等」のセミナー	黒石市産業会館	寺山囑託職員他
8日	黒石地区エネルギー問題懇談会令和4年度施設見学会	澄川地熱発電所	新岡会頭他
10月 1日	第28回宮古市産業まつり	宮古市民総合体育館	後藤主事
～2日			
5日	四商工会議所専務理事懇談会	ホテルニューグリーン	工藤専務理事
7日	青森県主催 第三者承継フォーラム	アピオあおもり	豊巻課長補佐他
9日	第50回久慈地方産業まつり	アンバーホール	後藤主事
～10日			
11日	令和4年度黒石りんごまつり実行委員会臨時総会	黒石市産業会館	新岡会頭他
12日	(一社)黒石地区労働基準協会第2回役員会(理事会)	レストラン御幸	工藤専務理事
14日	共済福祉制度懇談会	レストラン御幸	工藤専務理事他
25日	令和4年度第2回小規模事業者経営改善資金 推薦団体連絡協議会	弘前商工会議所	古川課長他
26日	令和4年度第1回黒石市中心商店街空き店舗対策 事業補助金交付に係る審査委員会	黒石市産業会館	工藤専務理事他
11月 7日	アクサ生命保険(株)青森支社BWC・SCIキャンペーン中間KOM	オンライン	工藤専務理事他
7日	事業再構築補助金説明会	オンライン	古川課長
9日	黒石地区税務関係団体協議会令和4年度総会	書面表決	
17日	黒石税務署 年末調整説明会	スポカルイン黒石	小笠原係長他
17日	地域商業機能複合化推進事業(地域の持続的発展の ための中小事業者等の機能活性化事業)説明会	オンライン	古川課長
22日	第59回津軽3市共済担当者連絡会議	弘前商工会議所	小笠原係長他
28日	令和5年度黒石よされ実行委員会通常総会	黒石市産業会館	新岡会頭他
29日	令和4年度第2回経営指導員等研修会	ホテルサンルート五所川原	古川課長他
～30日			
12月 6日	令和4年度補助員等研修会	こみせの宿 ホテル逢春	豊巻課長補佐他
7日	令和4年度青森県産業教育振興会中南地区協議会生徒発表会	弘前商工会議所	新岡会頭
8日	年金委員・健康保険委員事務研修会	オンライン	寺山囑託職員
14日	日本政策金融公庫 令和4年度第2回創業支援セミナー	オンライン	古川課長
20日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 黒石地区協議会令和4年度事務担当者研修会	富士見館	西沢係長他
20日	令和4年度第2回青森県事業承継ネットワーク会議	ホテル青森	工藤専務理事
21日	東北税理士会弘前支部と中南地区各商工会等との 連絡協議会	ホテルニューキャッスル	鳴海係長

23日	東奥日報黒石販売店読者懸賞抽選会の立会	東奥日報黒石小山内販売店	三上事務局長
1月 5日 ～10日	黒石物産協会 東京都台東区「ふるさと交流 ショップ台東」出店事業	ふるさと交流ショップ台東	後藤主事
8日	令和4年度黒石市二十歳の集い会場後片付け作業	スポカルイン黒石	古川課長他
12日	青森県火災共済協同組合令和4年度第3回理事会	ホテル青森	新岡会頭
13日	中小企業庁職員による事業再構築補助金セミナー	ウエディングプラザアラスカ	鳴海係長
25日	令和4年度第3回小企業者記帳指導協議会	黒石税務署	鳴海係長他
2月 2日	令和4年度第2回黒石市食育推進委員会	黒石市産業会館	三上事務局長
4日	黒石ねふた祭り懇談会	黒石市産業会館	新岡会頭
7日	新しくなった【商圏レポートMieNa(ミーナ)】活用セミナー	オンライン	古川課長
9日	第80回国民スポーツ大会黒石市準備委員会 第2回常任委員会	黒石市産業会館	新岡会頭
16日	令和4年度第2回労働保険事務組合事務担当者 研修会並びに労働保険未手続事業一掃推進員研修会	オンライン	寺山嘱託職員
20日	第60回津軽3市共済担当者連絡会議	五所川原商工会議所	小笠原係長他
24日	労務管理実務対応講座	スポカルイン黒石	寺山嘱託職員
3月 2日	くろいし健康マイレージ景品抽選会	黒石市役所	生活文化商業部会 部会長 後藤英輝
10日	令和5年度労働保険年度更新事務説明会	オンライン	寺山嘱託職員
10日	令和4年度黒石市事業承継セミナー	黒石市産業会館	古川課長
14日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第2回業務推進委員会	オンライン	西沢係長
15日	CCI&AXA トップマネジメントカンファレンス	ザ・プリンスパークタワー東京	糸田副会頭他
17日	(一社)全国労働保険事務組合連合会青森支部 令和4年度第2回理事会	ウエディングプラザアラスカ	工藤専務理事
22日	令和4年度青森県観光国際戦略推進本部総会	オンライン	工藤専務理事
27日	(一財)黒石市観光開発公社第18回評議員会	黒石市役所	工藤専務理事
30日	令和4年度第1回黒石市農産物等輸出促進協議会	黒石市産業会館	工藤専務理事

1 1. 関係団体との関係

(1) 提携団体

団 体 名	団 体 名
黒石よされ実行委員会	黒石税務署管内青色申告会連合会
黒石こみせまつり実行委員会	好日会
黒石りんごまつり実行委員会	アクサ生命保険（株）
黒石地区雇用対策協議会	（一社）黒石観光協会
（一社）全国労働保険事務組合連合会青森支部 黒石地区協議会	津軽こみせ（株）
黒石商店街（協組）	黒石ロータリークラブ
十日会	黒石物産協会
黒石地区エネルギー問題懇談会	黒石市自衛隊協力会
黒石地区税務関係団体協議会	黒石地酒をたしなむ会
黒石珠算連盟	南黒燃焼器具整備協会
青森県火災共済（協組）	黒石つゆやきそば伝紹会
（一社）黒石地区労働基準協会	輝く黒石りんご市の会
（公社）黒石法人会	黒石小売酒販組合
黒石青色申告会	（特非）横町十文字まちそだて会

(2) 商工会議所又は会頭・副会頭等が委嘱及び選任されている団体

団 体 名	役 職 名
黒石市都市計画審議会	会 長
黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会	委 員
黒石市景観づくり審議会	委 員
黒石市中心市街地活性化協議会	会 長
黒石市緑化推進協議会	委 員
黒石市健康づくり推進協議会	委 員
黒石市食育推進委員会	委 員
黒石市地域ケア推進会議	委 員
黒石市六次産業化・地産地消推進協議会	委 員
黒石市少年少女発明クラブ	監 事
黒石市商店街空き店舗対策審議会	委 員
黒石市中心商店街空き店舗対策事業補助金審査委員会	委 員
黒石市小さなまちかど博物館選定委員会	委 員
黒石地区暴力追放推進協議会	委 員
黒石市農産物等輸出促進協議会	事 務 理 事
青森県火災共済（協組）	理 事
青森県企業暴力対策協議会	会 員
青森県原子燃料サイクル推進協議会	理 事
青森県高規格道路建設促進期成会	会 員
青森県産業教育振興会	理 事
青森県産業教育振興会中南地区協議会	副 会 長
青森県鉄道整備促進期成会	会 員
（一財）青森県社会保険協会津軽支部	理 事
（一社）青森県工業会	賛 助 会 員
（公社）青森県シルバー人材センター連合会	賛 助 会 員
（一社）青森県発明協会	会 員
青森空港国際化促進協議会	理 事
（一社）全国労働保険事務組合連合会青森支部	理 事
（一社）全国労働保険事務組合連合会青森支部黒石地区協議会	協 議 会 長
（一社）黒石地区労働基準協会	理 事
東京青森県人会	賛 助 会 員
弘南鉄道活性化支援協議会	委 員
津軽港利用促進協議会	会 員
（公財）日本電信電話ユーザ協会	理 事
（一財）黒石市観光開発公社	評 議 員
黒石地区雇用対策協議会	会 長
黒石地区エネルギー問題懇談会	会 長
黒石よされ実行委員会	実 行 委 員 長
黒石こみせまつり実行委員会	実 行 委 員 長
黒石りんごまつり実行委員会	実 行 委 員 長

令和4年度 収 支 決 算 書

目 次

収支決算書総括表	1
一般会計収支決算書	2
中小企業相談所特別会計収支決算書	5
収益事業特別会計収支決算書	7
特定退職金共済事業特別会計収支決算書	9
労働保険事務組合一般会計収支決算書	10
労働保険事務組合特別会計収支決算書	11
議員選挙及び選任に伴う特別会計収支決算書	12
正味財産増減計算書	13
総合貸借対照表	14
特定退職金共済事業特別会計貸借対照表	15
財産目録	16
付属明細表	18

令和４年度収支決算書総括表

自 令和 4年 4月 1日から
至 令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

会 計 別	繰 越 金	収 入	支 出	収支残高	繰入金 (支出は△)	差引収支残高	備 考
一 般 会 計	27,900,744	35,210,446	44,774,172	18,337,018	9,020,468	27,357,486	収支剰余金 次年度へ繰越
中小企業相談所 特 別 会 計	0	44,506,690	40,786,869	3,719,821	△ 3,719,821	0	
収 益 事 業 計 特 別 会 計	13,419,483	21,883,968	19,873,461	15,429,990	△ 3,342,678	12,087,312	収支剰余金 次年度へ繰越
特定退職金共済事業 特 別 会 計	0	33,442,859	33,555,657	△ 112,798	112,798	0	
労働保険事務組合 一 般 会 計	0	1,890,304	232,982	1,657,322	△ 1,657,322	0	
労働保険事務組合 特 別 会 計	0	19,447,116	19,447,116	0	0	0	
議員選挙及び選任に伴う 特 別 会 計	0	1,100,002	686,557	0	△ 413,445	0	
合 計	41,320,227	157,481,385	159,356,814	39,031,353	0	39,444,798	

令和4年度一般会計収支決算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	摘 要
1 会	費	14,892,000	14,961,000	△ 69,000	
	1 個人会費	3,279,000	3,330,000	△ 51,000	1,093口(551件)
	2 法人会費	4,962,000	4,980,000	△ 18,000	827口(351件)
	3 役員会費	4,105,000	4,105,000	0	696,000×1 180,000×2 132,000×19 102,000×3 55,000×1 30,000×6
	4 議員会費	2,540,000	2,540,000	0	60,000×39 25,000×8
	5 過年度会費	6,000	6,000	0	
2 事業収入		2,713,068	2,840,000	△ 126,932	
	1 検定収入	461,744	600,000	△ 138,256	簿記、珠算
	2 資料頒布収入	0	0	0	
	3 青年部事業収入	1,654,480	1,600,000	54,480	
	4 女性会事業収入	581,044	620,000	△ 38,956	
	5 その他事業収入	15,800	20,000	△ 4,200	
3 交付金		15,025,781	14,915,528	110,253	
	1 補助金	4,580,050	4,580,050	0	黒石市、日本商工会議所
	2 助成金	1,000,000	1,000,000	0	青森県商工会議所連合会
	3 委託費	9,445,731	9,335,478	110,253	日本商工会議所、中小企業庁、 黒石市中心市街地活性化協議会
4 事務受託料		1,430,000	1,430,000	0	
	1 事務受託料	1,430,000	1,430,000	0	11団体
5 雑収入		1,149,597	1,100,000	49,597	
	1 諸負担金	389,000	400,000	△ 11,000	総会、会員大会会費他
	2 雑収入	760,597	700,000	60,597	コピー代、広告料、祝儀、 団体定期保険配当金他
6 積立金		0	0	0	
	1 財政調整積立金取崩	0	0	0	
	2 青年部運営積立金取崩	0	0	0	
	3 女性会運営積立金取崩	0	0	0	
7 繰入金		9,213,445	9,213,445	0	
	1 中小企業相談所会計	3,800,000	3,800,000	0	
	2 議員選挙特別会計	413,445	413,445	0	
	3 収益事業特別会計	5,000,000	5,000,000	0	
8 繰越金		27,900,744	27,900,744	0	
	1 繰越金	26,303,648	26,303,648	0	
	2 青年部繰越金	1,104,388	1,104,388	0	
	3 女性会繰越金	492,708	492,708	0	
合 計		72,324,635	72,360,717	△ 36,082	

支出の部

(単位：円)

款	項	目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1	事	業 費	20,576,910	20,928,317	△ 351,407	
	1	一 般 事 業 費	10,814,903	11,160,000	△ 345,097	
		1 商 工 振 興 費	2,009,863	1,950,000	59,863	部会委員会事業費、県連事業分 担金、各種団体会費他
		2 検 定 事 業 費	129,273	160,000	△ 30,727	簿記、珠算
		3 調 査 事 業 費	529,015	550,000	△ 20,985	特定商工業者、通行量調査他
		4 広 報 費	1,250,176	1,200,000	50,176	商工くろいし他
		5 会 員 関 係 費	1,525,113	1,550,000	△ 24,887	会員大会他
		6 労 務 対 策 費	375,123	400,000	△ 24,877	永年勤続従業員表彰他
		7 観 光 事 業 費	2,371,144	2,600,000	△ 228,856	こみせまつり、 Instagram開設他
		8 税 務 対 策 費	18,000	20,000	△ 2,000	税務関係団体他会費他
		9 金 融 対 策 費	0	30,000	△ 30,000	金融懇談会他
		10 青 年 部 事 業 費	1,891,114	2,050,000	△ 158,886	
		11 女 性 会 事 業 費	716,082	650,000	66,082	
	2	委 託 ・ 補 助 事 業 費	9,762,007	9,768,317	△ 6,310	
		1 事業環境変化対応型支援事業	7,345,190	7,345,190	0	
		2 サービス券付き市内飲食店 パンフレット作成事業	1,287,250	1,287,250	0	
		3 制度改正等の課題解決環境整備事業	786,367	788,677	△ 2,310	
		4 伴走型小規模事業者支援推進事業	343,200	347,200	△ 4,000	
2	管	理 費	21,581,463	21,437,068	144,395	
	1	給 与 費	12,579,241	12,567,110	12,131	
		1 給 料	7,169,400	7,170,000	△ 600	基本給3人分
		2 諸 手 当	912,731	900,000	12,731	通勤手当、超過勤務手当他
		3 期 末 手 当	2,097,110	2,097,110	0	
		4 役 員 報 酬	2,400,000	2,400,000	0	常勤役員報酬
	2	福 利 厚 生 費	2,258,797	2,309,958	△ 51,161	
		1 福 利 厚 生 費	2,258,797	2,309,958	△ 51,161	社会保険料、労働保険料他
	3	旅 費 交 通 費	504,310	480,000	24,310	
		1 旅 費 交 通 費	504,310	480,000	24,310	各種会議出席旅費他
	4	事 務 費	3,037,535	2,880,000	157,535	
		1 通 信 費	680,422	650,000	30,422	電話料、切手他
		2 消 耗 品 費	761,159	650,000	111,159	事務用品他
		3 印 刷 費	270,910	300,000	△ 29,090	総会資料他
		4 賃 借 料	126,312	130,000	△ 3,688	コピー機リース料他
		5 備 品 費	302,500	300,000	2,500	事務機器
		6 広 告 費	217,800	250,000	△ 32,200	新聞広告料他
		7 雑 費	678,432	600,000	78,432	一般廃棄物処分料、 イベント保険他

支出の部

(単位：円)

款	項	目	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
	5	会 議 費	417,190	400,000	17,190	
	1	会 議 費	417,190	400,000	17,190	総会、常議員会他
	6	渉 外 費	555,790	550,000	5,790	
	1	交 際 費	459,790	450,000	9,790	祝儀、各種行事協賛金他
	2	慶 弔 費	96,000	100,000	△ 4,000	香典、お祝い
	7	公 課 分 担 金	2,228,600	2,250,000	△ 21,400	
	1	公 課 分 担 金	2,228,600	2,250,000	△ 21,400	日商、東北連、県連会費、消費税、固定資産税他
3		退 職 給 与 金	485,680	485,680	0	
	1	退 職 給 与 金	485,680	485,680	0	
	1	特 退 金 共 済	459,000	459,000	0	
	2	退 職 給 与 引 当 金	26,680	26,680	0	
4		積 立 金	2,130,119	2,130,000	119	
	1	積 立 金	2,130,119	2,130,000	119	
	1	財 政 調 整 積 立 金	2,000,112	2,000,000	112	
	2	青 年 部 運 営 積 立 金	100,006	100,000	6	
	3	女 性 会 運 営 積 立 金	30,001	30,000	1	
5		繰 出 金	192,977	210,000	△ 17,023	
	1	中 小 企 業 相 談 所 特 別 会 計 繰 出 金	80,179	100,000	△ 19,821	
	1	中 小 企 業 相 談 所 特 別 会 計 繰 出 金	80,179	100,000	△ 19,821	
	2	特 定 退 職 金 共 済 事 業 特 別 会 計 繰 出 金	112,798	110,000	2,798	
	1	特 定 退 職 金 共 済 事 業 特 別 会 計 繰 出 金	112,798	110,000	2,798	
6		予 備 費	0	27,169,652	△ 27,169,652	
	1	予 備 費	0	27,169,652	△ 27,169,652	
	1	予 備 費	0	27,169,652	△ 27,169,652	
		支 出 合 計	44,967,149	72,360,717	△ 27,393,568	
		収 支 剰 余 金	27,357,486	0	27,357,486	一般会計 26,262,069円 青年部会計 767,748円 女性会会計 327,669円
		合 計	72,324,635	72,360,717	△ 36,082	

令和4年度中小企業相談所 特別会計収支決算書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

収入の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	摘 要
1	県 補 助 金	38,026,590	38,026,590	0	
	1 給 料 及 び 諸 手 当	21,337,200	21,337,200	0	
	2 期 末 手 当	6,534,280	6,534,280	0	
	3 超 過 勤 務 手 当	980,695	980,695	0	
	4 福 利 厚 生 費	2,271,976	2,271,976	0	
	5 旅 費	289,840	289,840	0	
	6 事 務 費	139,674	139,674	0	
	7 福 利 環 境 整 備 費	1,704,300	1,704,300	0	
	8 指 導 事 業 費	621,105	621,105	0	
	9 研 修 事 業 費	58,360	58,360	0	
	10 小規模企業振興委員活動費	107,120	107,120	0	
	11 特定会議所直面問題会議旅費	0	0	0	
	12 経営・技術強化支援事業費	60,000	60,000	0	
	13 小規模事業施策普及費	122,040	122,040	0	
	14 商工会等指導環境推進費	3,800,000	3,800,000	0	
	15 若手後継者等育成事業費	0	0	0	
	16 むらおこし総合活性化事業費	0	0	0	
2	情報化推進事業費	0	50,000	△ 50,000	
	1 情 報 化 推 進 事 業 費	0	50,000	△ 50,000	
3	繰 入 金	80,179	100,000	△ 19,821	
	1 繰 入 金	80,179	100,000	△ 19,821	一般会計より
4	手 数 料 収 入	6,349,200	6,500,000	△ 150,800	
	1 手 数 料 収 入	6,349,200	6,500,000	△ 150,800	記帳代、決算料
5	雑 収 入	130,900	150,000	△ 19,100	
	1 雑 収 入	130,900	150,000	△ 19,100	企業共済手数料他
	合 計	44,586,869	44,826,590	△ 239,721	

支出の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	摘 要
1	経営改善普及費	42,456,541	42,567,828	△ 111,287	
	1 給料及び諸手当	21,757,200	21,757,200	0	経営指導員3名、補助員2名 記帳専任職員3名
	2 期末手当	6,534,280	6,534,280	0	
	3 超過勤務手当	1,007,767	980,695	27,072	青申決算、講習会他
	4 福利厚生費	4,596,779	4,563,952	32,827	社会保険料、労働保険料
	5 旅 費	295,300	291,360	3,940	指導旅費、研修旅費
	6 事 務 費	1,074,852	1,260,978	△ 186,126	消耗品費、調査費、通信費他
	7 福利環境整備費	2,281,486	2,281,486	0	退職積立金
	8 指導事業費	668,625	683,625	△ 15,000	講習会開催費、金融指導費
	9 研修事業費	93,332	93,332	0	中小企業大学校研修費
	10 小規模企業振興委員活動費	107,120	107,120	0	振興委員謝金他
	11 特定会議所直面問題会議旅費	0	0	0	
	12 経営・技術強化支援事業費	63,800	63,800	0	
	13 小規模事業施策普及費	176,000	150,000	26,000	パンフレット他
	14 商工会等指導環境推進費	3,800,000	3,800,000	0	一般会計繰出
	15 若手後継者等育成事業費	0	0	0	
	16 むらおこし総合活性化事業費	0	0	0	
2	情報化推進事業費	0	0	0	
	1 情報化推進事業費	0	0	0	
3	一般事業費	782,044	813,400	△ 31,356	
	1 商業活性化対策費	0	0	0	
	2 金融指導対策費	9,720	15,000	△ 5,280	マル経審査会費用他
	3 税務指導対策費	44,000	44,000	0	税務支援謝金
	4 労務指導対策費	0	0	0	
	5 記帳機械化等対策費	4,400	4,400	0	ソフト購入費
	6 経営対策費	128,000	150,000	△ 22,000	研修会負担金他
	7 情報化施設整備費	145,924	150,000	△ 4,076	パソコン、フレッツ光使用料他
	8 青年部・女性会活動推進費	450,000	450,000	0	
4	一般管理費	1,348,284	1,445,362	△ 97,078	
	1 人 件 費	60,824	100,000	△ 39,176	補助対象外超過勤務手当
	2 福利厚生費	60,570	70,000	△ 9,430	健康診断料他
	3 旅 費	234,440	250,000	△ 15,560	補助対象外旅費
	4 交 際 費	5,301	30,000	△ 24,699	
	5 会 議 費	54,400	50,000	4,400	所内会議費用他
	6 修 繕 費	0	150,000	△ 150,000	
	7 退職給与引当金	0	0	0	
	8 雑 費	113,469	150,000	△ 36,531	名刺、振込料金、灯油他
	9 予 備 費	819,280	645,362	173,918	各種備品他
	合 計	44,586,869	44,826,590	△ 239,721	

令和4年度収益事業 特別会計収支決算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減(△)	摘 要
1	地 代 料 収 入	5,208,396	5,208,396	0	
	1 地 代 料 収 入	5,208,396	5,208,396	0	黒石市
2	分 担 金 収 入	1,584,000	1,584,000	0	
	1 分 担 金 収 入	1,584,000	1,584,000	0	アクサ生命保険㈱
3	会 議 所 共 済 収 入	13,957,558	15,000,000	△ 1,042,442	
	1 会 議 所 共 済 収 入	13,957,558	15,000,000	△ 1,042,442	生命共済、大型版共済、 医療保険、個人年金等
4	火 災 共 済 収 入	623,311	630,000	△ 6,689	
	1 火 災 共 済 収 入	623,311	630,000	△ 6,689	取扱い手数料
5	労働保険事務組合収入	1,657,322	1,751,676	△ 94,354	
	1 労働保険事務組合収入	1,657,322	1,751,676	△ 94,354	国の報奨金、事務取扱い手数料
6	販売促進事業収入	21,564	500,000	△ 478,436	
	1 どこでも物産展事業収入	0	300,000	△ 300,000	
	2 くろもの事業収入	21,564	200,000	△ 178,436	
7	雑 収 入	489,139	431,000	58,139	
	1 雑 収 入	489,139	431,000	58,139	アカジ・ヤパ・ホールディング㈱配当金他
8	繰 越 金	13,419,483	13,452,929	△ 33,446	
	1 繰 越 金	13,419,483	13,452,929	△ 33,446	
	合 計	36,960,773	38,558,001	△ 1,597,228	

支出の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 事	業 費	1,437,024	1,941,000	△ 503,976	
	1 共 済 給 付 金	791,000	700,000	91,000	祝金、見舞金
	2 支 払 手 数 料	234,734	380,000	△ 145,266	掛け金振替手数料
	3 募 集 推 進 費	270,489	300,000	△ 29,511	募集用ノベルティ等
	4 どこでも物産展事業費	0	270,000	△ 270,000	
	5 くろもの事業費	140,801	291,000	△ 150,199	
2 会	館 管 理 費	7,526,399	7,602,644	△ 76,245	
	1 支 払 家 賃	7,222,644	7,222,644	0	産業会館(2階、4階)
	2 水 道 光 熱 費	303,755	280,000	23,755	電気料
	3 修 繕 費	0	100,000	△ 100,000	修理代
3 給	与 費	7,639,286	7,797,300	△ 158,014	
	1 給 料	5,878,800	5,878,800	0	基本給3人分
	2 諸 手 当	341,916	499,930	△ 158,014	通勤手当、超過勤務手当他
	3 期 末 手 当	1,418,570	1,418,570	0	
	4 人 件 費	0	0	0	
4 福	利 厚 生 費	1,235,245	1,254,645	△ 19,400	
	1 福 利 厚 生 費	1,235,245	1,254,645	△ 19,400	社会保険料、労働保険料
5 事	務 局 費	1,511,232	1,660,000	△ 148,768	
	1 通 信 費	110,446	100,000	10,446	切手他
	2 リ ー ス 料	51,150	60,000	△ 8,850	労働保険コンピューターシステム
	3 消 耗 品 費	143,043	100,000	43,043	事務用品他
	4 渉 外 費	122,140	250,000	△ 127,860	祝儀、各種行事協賛金他
	5 研 修 費	302,970	250,000	52,970	職員研修旅費
	6 図 書 費	311,326	320,000	△ 8,674	新聞代他
	7 印 刷 費	239,067	250,000	△ 10,933	総会資料、封筒他
	8 備 品 費	184,800	300,000	△ 115,200	事務機器
	9 雑 費	46,290	30,000	16,290	労保組合事務分担金他
6 退	職 給 与 金	524,275	505,000	19,275	
	1 特 退 金 共 済	442,000	444,000	△ 2,000	
	2 退 職 給 与 引 当 金	82,275	61,000	21,275	
7 繰	出 金	5,000,000	5,000,000	0	
	1 一 般 会 計 繰 出	5,000,000	5,000,000	0	
8 予	備 費	0	12,797,412	△ 12,797,412	
	1 予 備 費	0	12,797,412	△ 12,797,412	
支 出 合 計		24,873,461	38,558,001	△ 13,684,540	
収 支 剰 余 金		12,087,312	0	12,087,312	
合 計		36,960,773	38,558,001	△ 1,597,228	

令和4年度特定退職金共済事業 特別会計収支決算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1	共済事業掛金収入	20,888,000	21,960,000	△ 1,072,000	
	1 保 険 料	20,052,480	21,081,600	△ 1,029,120	
	2 事 務 費 収 入	835,520	878,400	△ 42,880	
2	契約給付金受入	12,554,854	20,000,000	△ 7,445,146	
	1 給 付 金 受 入	12,554,854	20,000,000	△ 7,445,146	
3	雑 収 入	5	0	5	
	1 雑 収 入	5	0	5	利息
4	繰 入 金	112,798	110,000	2,798	
	1 繰 入 金	112,798	110,000	2,798	一般会計より
	合 計	33,555,657	42,070,000	△ 8,514,343	

支出の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1	事 業 費	30,000	30,000	0	
	1 募 集 推 進 費	30,000	30,000	0	
2	共済事業給付金	12,554,854	20,000,000	△ 7,445,146	
	1 退 職 金	12,554,854	20,000,000	△ 7,445,146	32件
3	管 理 費	918,323	954,500	△ 36,177	
	1 給 与 費	540,000	540,000	0	
	2 諸 手 当	193,500	193,500	0	
	3 福 利 厚 生 費	120,162	121,000	△ 838	
	4 旅 費	0	5,000	△ 5,000	
	5 通 信 運 搬 費	8,400	10,000	△ 1,600	
	6 消 耗 品 費	38,031	50,000	△ 11,969	
	7 印 刷 費	0	10,000	△ 10,000	
	8 会 議 費	0	5,000	△ 5,000	
	9 支 払 手 数 料	18,230	20,000	△ 1,770	振込手数料他
4	支 払 保 険 料	20,052,480	21,081,600	△ 1,029,120	
	1 共 済 事 業 積 立 金	19,632,200	20,642,400	△ 1,010,200	
	2 運 用 委 託 手 数 料	420,280	439,200	△ 18,920	
5	予 備 費	0	3,900	△ 3,900	
	1 予 備 費	0	3,900	△ 3,900	
	合 計	33,555,657	42,070,000	△ 8,514,343	

令和4年度労働保険事務組合 一般会計収支決算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 事務手数料	748,000	775,500	△ 27,500	事務取扱手数料
2 報 奨 金	1,114,800	1,143,300	△ 28,500	青森労働局より
3 雑 収 入	27,504	74,715	△ 47,211	労働保険調査説明費・成功報酬費、全国労働連労働災害保険手数料、預金利息
合 計	1,890,304	1,993,515	△ 103,211	

支出の部

(単位：円)

款	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 事務分担金	1,657,322	1,751,676	△ 94,354	収益事業特別会計へ
2 消耗品費	0	5,000	△ 5,000	
3 通信運搬費	51,220	44,105	7,115	切手代、振込手数料
4 公課分担金	181,762	185,644	△ 3,882	労保連青森支部会費、労保連黒石地区協議会会費等
5 予 備 費	0	7,090	△ 7,090	
合 計	1,890,304	1,993,515	△ 103,211	

令和4年度労働保険事務組合 特別会計収支決算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 徴収労働保険料	19,459,056	17,333,685	2,125,371	受託事業所より
2 徴収一般拠出金	18,060	19,307	△ 1,247	受託事業所より
合 計	19,477,116	17,352,992	2,124,124	

支出の部

(単位：円)

款	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1 納付労働保険料	19,403,427	17,162,229	2,241,198	青森労働局へ
2 納付一般拠出金	18,060	19,307	△ 1,247	青森労働局へ
3 還 付 金	55,629	171,456	△ 115,827	労働保険料還付金
合 計	19,477,116	17,352,992	2,124,124	

議員選挙及び選任に伴う 特別会計収支決算書

自 令和 4年 8月 1日

至 令和 5年 3月 31日

収入の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1	選挙負担金	1,050,000	1,050,000	0	
	1 選挙負担金	1,050,000	1,050,000	0	1号議員15,000×36=540,000 2号議員20,000×18=360,000 3号議員25,000×6=150,000
2	雑収入	50,002	0	50,002	
	1 雑収入	50,002	0	50,002	臨時議員総会懇親会負担金等
	合 計	1,100,002	1,050,000	50,002	

支出の部

(単位：円)

款	項	本年度決算額	本年度予算額	比較増減 (△)	摘 要
1	議員総会費	314,440	450,000	△ 135,560	
	1 議員総会費	314,440	450,000	△ 135,560	臨時議員総会懇親会食事代等
2	部会会議費	11,388	70,000	△ 58,612	
	1 部会会議費	11,388	70,000	△ 58,612	
3	印刷費	20,680	100,000	△ 79,320	
	1 印刷費	20,680	100,000	△ 79,320	選挙日程表印刷代
4	広告費	66,000	20,000	46,000	
	1 広告費	66,000	20,000	46,000	
5	消耗品費	55,889	100,000	△ 44,111	
	1 消耗品費	55,889	100,000	△ 44,111	封筒代等
6	通信運搬費	218,160	250,000	△ 31,840	
	1 通信運搬費	218,160	250,000	△ 31,840	会議開催案内切手代等
7	人件費	0	40,000	△ 40,000	
	1 人件費	0	40,000	△ 40,000	
8	予備費	0	20,000	△ 20,000	
	1 予備費	0	20,000	△ 20,000	
9	繰出金	413,445	0	413,445	
	1 一般会計繰出	413,445	0	413,445	
	合 計	1,100,002	1,050,000	50,002	

正味財産増減計算書

自 令和 4年 4月 1日から
至 令和 5年 3月31日まで

(単位：円)

内 容			金 額		
増加の部	固定資産増加額	什器備品	1,207,800		16,870,393
		財政調整積立預金	2,000,112		
		青年部運営積立預金	100,006		
		女性会運営積立預金	30,001		
		退職給与引当預金	585,441	3,923,360	
	固定負債減少額	退職給付金準備金	12,947,033	12,947,033	
	増加額合計				
減少の部	資金減少額	当期収支差額	1,875,429	1,875,429	16,297,822
	固定資産減少額	什器備品減価償却額	889,919		
		保険料積立金	12,947,033	13,836,952	
	固定負債増加額	退職給与引当金	585,441	585,441	
	減少額合計				
当期正味財産増加額					572,571
前期正味財産額					88,394,243
期末正味財産額					88,966,814

総合貸借対照表

令和5年3月31日

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 資 産 の 部 】		【 負 債 の 部 】	
流 動 資 産	55,459,021	流 動 負 債	16,014,223
現金及び預金	52,110,562	預 り 金	1,039,789
未 収 会 費	396,000	預 り 掛 金	13,625,746
未 収 金	2,589,609	前 受 会 費	24,000
前 払 金	347,850	未 払 金	578,188
仮 払 金	15,000	未払消費税	746,500
固 定 資 産	336,255,282	固 定 負 債	286,733,266
〔有形固定資産〕	31,131,914	退職給与引当金	15,845,402
什 器 備 品	3,131,914	退職給付金準備金	270,887,864
土 地	28,000,000	負 債 計	302,747,489
〔その他の固定資産〕	305,123,368	【 正 味 財 産 の 部 】	
投資有価証券	2,405,140	積 立 金	15,910,462
出 資 金	74,500	財 政 調 整 積 立 金	15,300,414
財政調整積立預金	15,300,414	青年部運営積立金	400,019
青年部運営積立預金	400,019	女性会運営積立金	210,029
女性会運営積立預金	210,029	剰 余 金	
退職給与引当預金	15,845,402	固 定 財 産	33,611,554
保 険 料 積 立 金	270,887,864	一般会計収支剰余金	27,357,486
		収益事業特別会計 収 支 剰 余 金	12,087,312
		正味財産計	88,966,814
合 計	391,714,303	合 計	391,714,303

重要な会計方針

- 1. 資金の範囲
資金の範囲は、貸借対照表の流動資産および流動負債としている。
- 2. 有価証券の評価基準及び評価方法……移動平均法による原価法
- 3. 固定資産の減価償却方法……有形固定資産について法人税法による定率法
- 4. 退職給与引当金の計上基準……当商工会議所の退職金規程に基づき計上しており、その計上額は期末自己都合要支給額を計上している。
- 5. 消費税等の会計処理……消費税等の会計処理は税込方式

令和4年度特定退職金共済事業特別会計貸借対照表

令和5年3月31日

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	200,000	流動負債	200,000
普通預金	200,000	仮受金	200,000
固定資産	270,887,864	固定負債	270,887,864
保険料積立金	270,887,864	退職給付金準備金	270,887,864
合 計	271,087,864	合 計	271,087,864

(注) 保険年度（令和4年1月1日～令和4年12月31日）における保険料積立金等の状況

1. 保険年度期首残高	267,837,570	
2. 本年度払込	20,294,400	(共済事業掛金収入相当額)
3. 本年度取崩	19,499,848	(共済事業給付金支払相当額)
4. 運用実績	1,156,874	
5. 保険年度期末残高	269,788,996	
6. 保険年度期末要支給額	269,095,628	
7. 積立差益（5－6）	693,368	

財産目録

令和5年3月31日

(単位:円)

資産の部				
科 目		摘 要	金 額	
流 動 資 産	現 金	期末手元有高	0	
	預 金	みちのく銀行黒石支店当座預金	10,883,084	52,110,562
		東奥信用金庫黒石支店当座預金	379,997	
		青森銀行黒石支店普通預金	16,504,512	
		東奥信用金庫黒石支店普通預金	15,582,061	
		みちのく銀行黒石支店普通預金	5,381,752	
		東奥信用金庫温湯支店普通預金	54,632	
		青森県信用組合黒石支店普通預金	2,105,515	
		青い森信用金庫黒石支店普通預金	645,783	
	東奥信用金庫黒石支店定期預金	573,226		
未 収 会 費	役議員会費	396,000	396,000	
未 収 金	地代料	434,033	2,589,609	
	商工くろいし広告料	88,000		
	女性会年会費(令和4年度分)	15,000		
	火災共済保険料手数料	3,620		
	簿記検定料	2,756		
	決算手数料等	2,046,200		
前 払 金	特定退職金共済掛金	212,000	347,850	
	イベント保険料	135,850		
仮 払 金	特定退職金共済保険料	15,000	15,000	
固 定 資 産	什 器 備 品	応接セット、ファクシミリ、パーソナルコンピューター他	3,131,914	
	土 地	産業会館敷地 923.21㎡(279.7坪)	28,000,000	
	投 資 有 価 証 券	(株)みちのく銀行	22,540	2,405,140
		(株)ソフトアカデミーあおもり	500,000	
		アクサ保険ホールディング(株)	132,600	
		津軽こみせ(株)	1,750,000	
	出 資 金	東奥信用金庫	5,500	74,500
		青い森信用金庫	10,000	
		青森県火災共済(協)	59,000	
	積 立 預 金	財政調整積立預金	15,300,414	15,910,462
青年部運営積立預金		400,019		
女性会運営積立預金		210,029		
退職給与引当預金			15,845,402	
保 険 料 積 立 金			270,887,864	
資 産 合 計			391,714,303	

負債の部			
科 目		摘 要	金 額
流動負債	預 り 金	源泉所得税(一般、収益、中企特別会計)	123,121
		社会保険料・雇用保険料	916,668
		(一般、収益、中企特別会計)	1,039,789
	預 り 掛 金	共済掛金	13,625,746
	前 受 会 費	法人2件(令和5年度分)	24,000
	未 払 金	消耗品費	439,778
		リース料	4,400
福利厚生費		134,010	
未 払 消 費 税	消費税確定分	746,500	
固定負債	退 職 給 与 引 当 金		15,845,402
	退職給付金準備金		270,887,864
負 債 合 計			302,747,489
差 引 正 味 財 産			88,966,814

付属明細表

令和5年3月31日

1. 積立金明細表

(単位：円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
【一般会計】					
財政調整積立預金	13,300,302	2,000,112	0	0	15,300,414
青年部運営積立預金	300,013	100,006	0	0	400,019
女性会運営積立預金	180,028	30,001	0	0	210,029
合計	13,780,343	2,130,119	0	0	15,910,462

2. 固定財産明細表

科目	期首残高 (A)	当期増加額 (B)	当期減少額 (C)	当期減価 償却費(D)	期末残高 (A + B - C - D)
【一般・相談所・収益会計】					
1. 固定資産					
什器備品	2,814,033	1,207,800	0	889,919	3,131,914
土地	28,000,000	0	0	0	28,000,000
投資有価証券	2,405,140	0	0	0	2,405,140
出資金	74,500	0	0	0	74,500
退職給与引当預金	15,259,961	585,441	0	0	15,845,402
2. 固定負債					
退職給与引当金	△ 15,259,961	△ 585,441	0	0	△ 15,845,402
固定財産計(1)	33,293,673	1,207,800	0	889,919	33,611,554
【特定退職金共済事業特別会計】					
1. 固定資産					
保険料積立金	257,940,831	21,238,154	8,291,121	0	270,887,864
2. 固定負債					
退職給付金準備金	△ 257,940,831	△ 21,238,154	△ 8,291,121	0	△ 270,887,864
固定財産計(2)	0	0	0	0	0
固定財産計(1)～(2)	33,293,673	1,207,800	0	889,919	33,611,554

令和4年度
監 査 報 告 書

監 査 意 見 書

定款第31条5項の規定により、一般会計、収益事業特別会計、特定退職金共済事業特別会計、議員選挙及び選任に伴う特別会計、中小企業相談所特別会計について、令和4年9月26日、令和5年1月25日、令和5年4月24日に監査したところ適正に処理されていることを認めました。

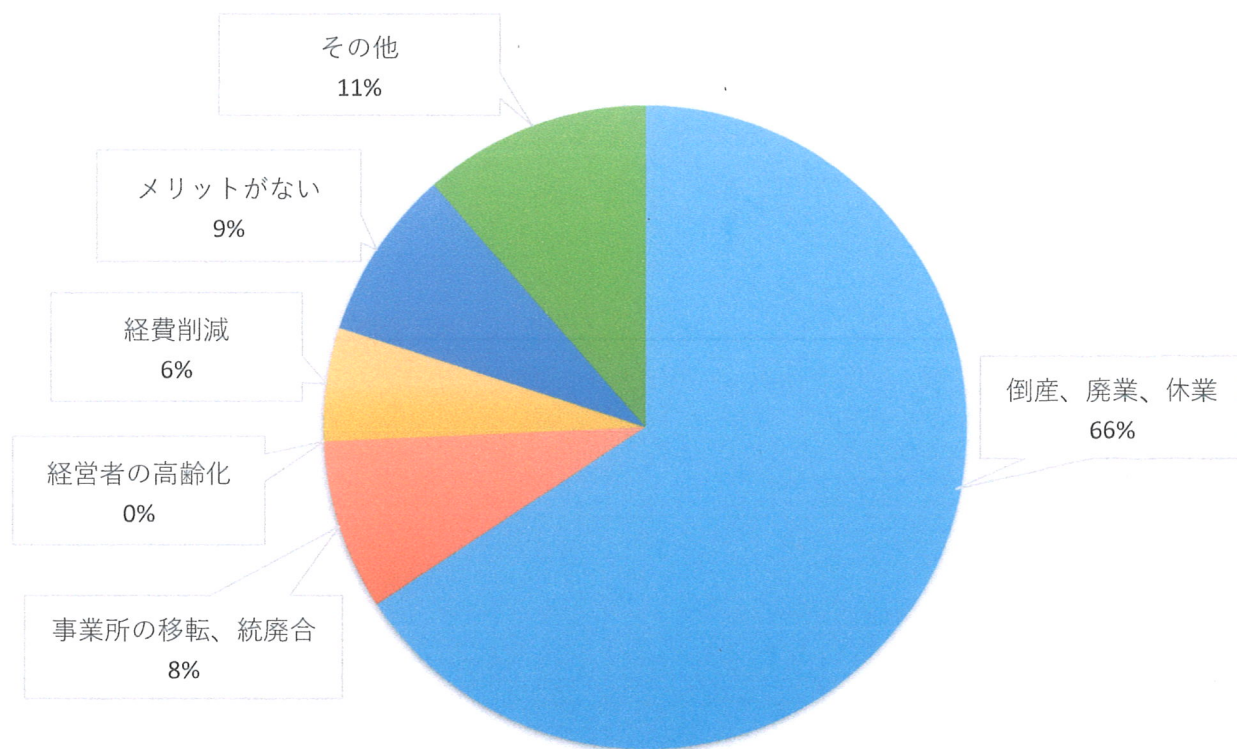
令和5年5月9日

監 事 中 澤 和 行

監 事 村 岡 寿 一

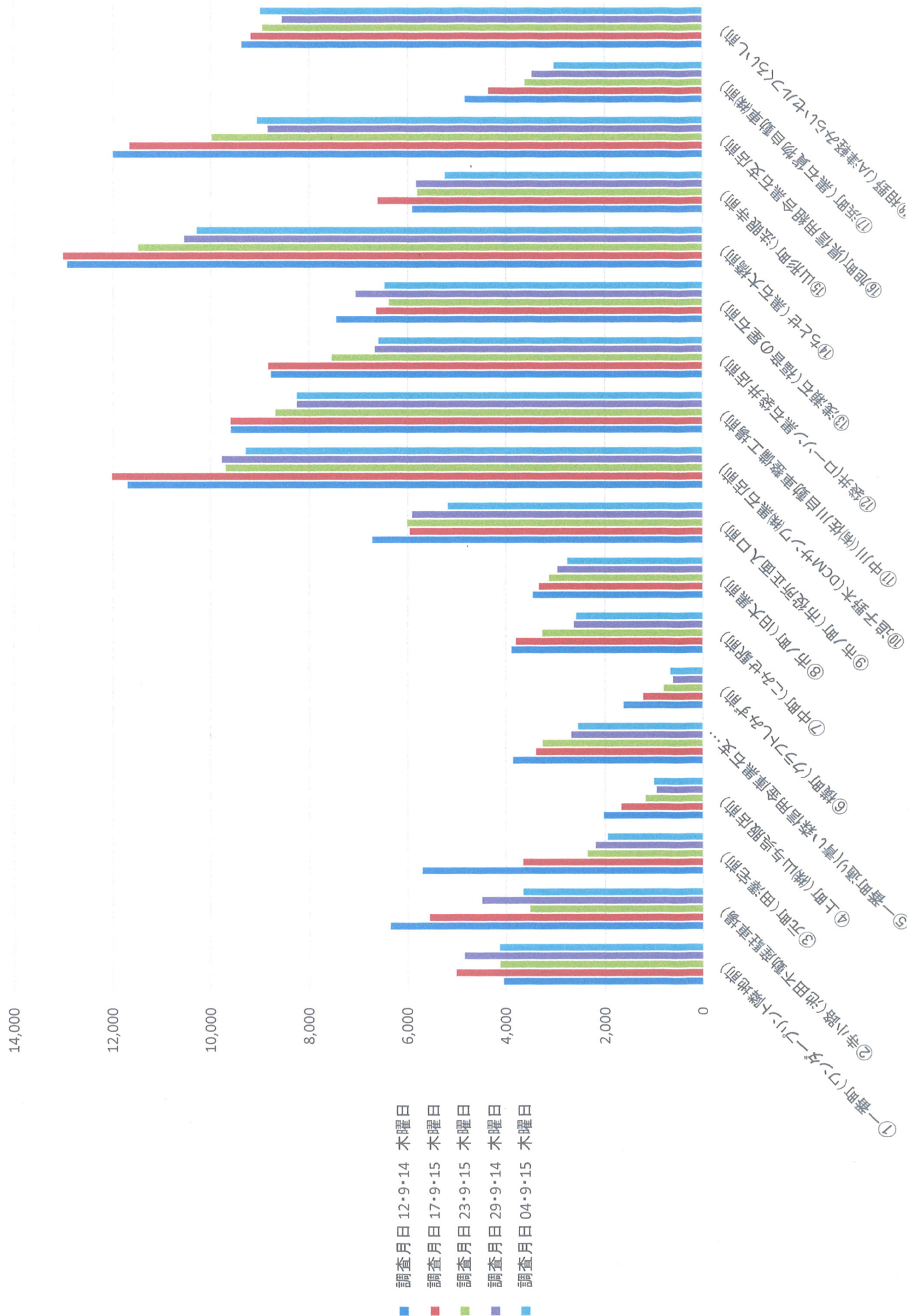
監 事 飯 田 大 貴

令和4年度黒石商工会議所退会理由について



退会理由	事業所数
倒産、廃業、休業	23
事業所の移転、統廃合	3
経営者の高齢化	0
経費削減	2
メリットがない	3
その他	4
合計	35

車両交通量(平日)



車両交通量(日曜日)

16,000

14,000

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

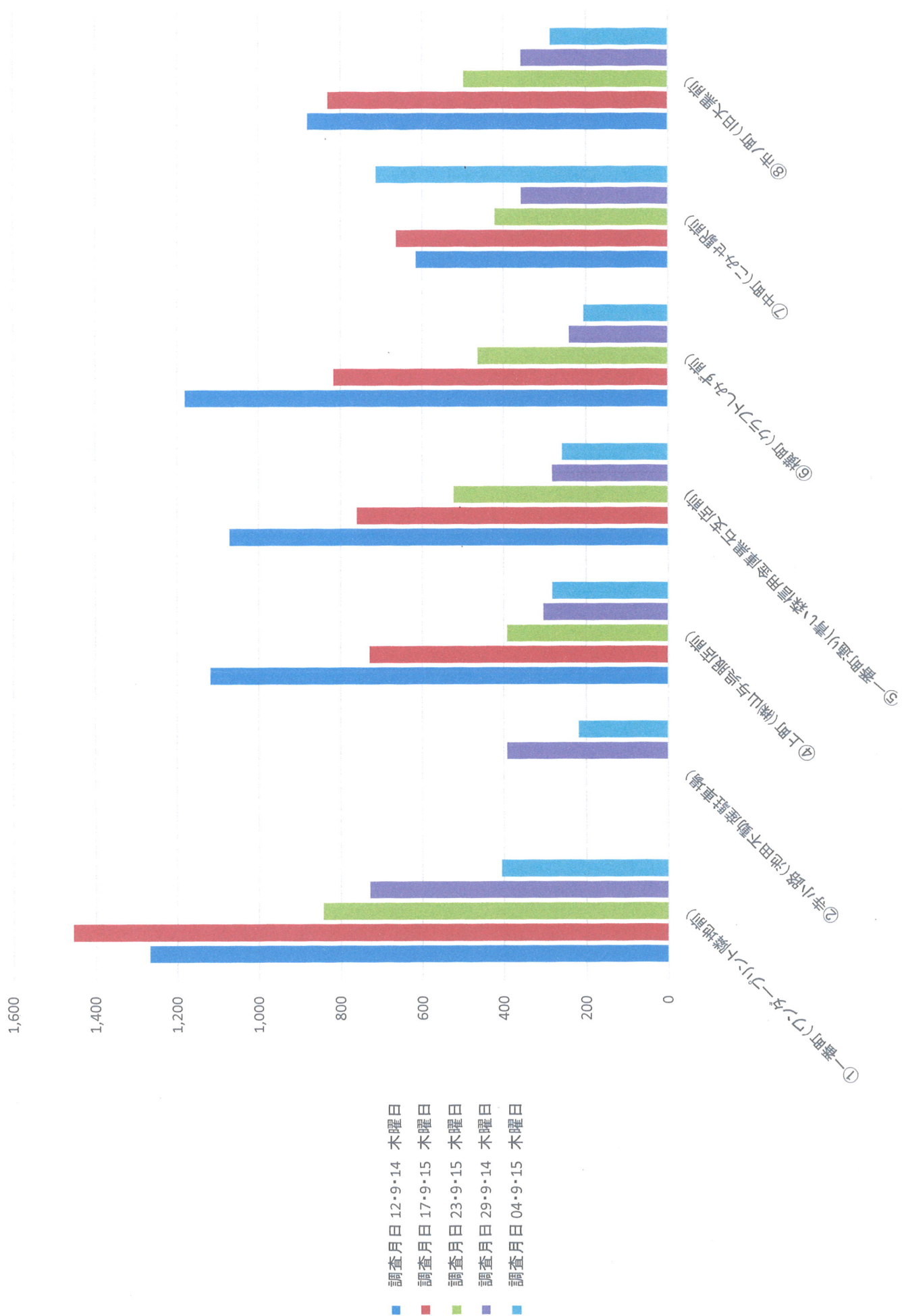
2,000

0

- 調査月日 12・9・17 日曜日
- 調査月日 17・9・18 日曜日
- 調査月日 23・9・18 日曜日
- 調査月日 29・9・17 日曜日
- 調査月日 04・9・18 日曜日

- ①一帯町(ツタ-ツリト陸地)
- ②寺小路(池田不動産駐車場)
- ③元町(田澤宅前)
- ④上町(姥山与呉服店前)
- ⑤一番町通り(青い森信用金庫黒石支店前)
- ⑥横町(ウツリみず前)
- ⑦中町(こみせ駅前)
- ⑧市ノ町(市役所正面入口前)
- ⑨追子野木(DCMサ-ツウ黒石店前)
- ⑩中川(南佐川自動車整備工場前)
- ⑪釜井(ロー-ン黒石釜井店前)
- ⑫浅瀬石(福吉の里前)
- ⑬とせ(黒石大橋前)
- ⑭山形町(法眼寺前)
- ⑮旭町(奥信用組合黒石支店前)
- ⑯浜町(黒石奥物自動車検前)
- ⑰相野(A津軽みらいビル3F前)

歩行者量(平日)



歩行者量(日曜日)

